

第九十回 帝國議會 貴族院 戰時補償特別措置法案特別委員會會議事速記録第三號

付託議案

○戰時補償特別措置法案

○金融機關再建整備法案

○特別和議法案

○大藏省預金部等損失特別處理法案

○厚生年金保險法及び船員保險法特例案

○企業再建整備法案

○財産稅法案

○財産稅等收入金特別會計法案

○企業整備資金措置法を廢止する等の法律案

○帝國鐵道會計又は通信事業特別會計

○自來水會計又は通信事業特別會計

○復興金融公庫及び産業復興機關出資

○拂込金支拂のための公債發行に關する法律案

○自作農創設特別措置特別會計法案

昭和二十一年十月九日(水曜日)午前

十時二十四分開會

○委員長(三土忠造君) ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、片岡直方君

○片岡直方君 昨日大河内委員及び橋

本委員カラ非常ナ詳細ナ御質問ガアリ

シテ、池田主税局長カラ又詳細ナ御

答辯ガアリマシタノデ、殆ド私ノ質問

スルコトガナクナツタヤソナ次第デア

リマシガ、併シ少シ角度ヲ變ヘマシ

テ、少シク理窟張ルカモ知レマセヌ

ガ、財産稅ニハ無論關係ガアルト思ヒ

マスカラ、サウ云フ見地カラ御質問シ

タイノト、ソレカラ同ジ質問デモ少シ

掘下ゲテ伺ヒタイ點ガアルト思フノデ

アリマス、其ノ點ハ御了解願ヒタイ、

先ツ第一ニ物納ノ處分方法、時期ノ間

題デアリマス、大體財産稅收入ト云フ

モノハ、大部分ガ物納デ、全收入ノ何

割カノ豫定ニナツテ居ルト、昨日大體

御説明ガアリマシタカラ、アレ以上ノ

御説明ハ出來ナイト思ヒマスガ、主税

局長如何デアリマスカ、モウ少シ御説

明願ヘマセヌカ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ノ物

納ニ付キマシテハ、昨日大體御説明申

上ゲタノデゴザイマスガ、今少シ詳

シク申上ゲタイト思ヒマス、即チ財産

稅收入額四百三十五億圓ノ中、現金、

或ハ第一封鎖預金デ納入ニナリマス見

込九十二億圓ト計算致シテ居リマス

ス、又舊勘定預金カラ納入ニナリマス

モノヲ七十五億圓ト見込シテ居リマス

ス、其ノ他ガ物納デゴザイマシテ、全

體デ二百四十七億圓見込シテ居ルノデ

ゴザイマス、此ノ内譯ガ國債ガ二十七

億圓、株式ガ七十二億圓、地方債及ビ

社債ガ八億圓、土地、建物及ビ動産ヲ

含メマシテ、百四十億圓ト計算致シテ

居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 昨日私ハ之ヲ表ニシ

テ皆ニ配ツテ戴クヤウニ要求致シテ置

キマシタガ、其ノ點委員長ノ方カラ

○政府委員(池田勇人君) 是ハ多分財

産稅等特別會計ノ内譯ニ載ツテ居ルト

思ヒマスガ、若シ豫算表ニ載ツテ居リ

マセヌケレバ、午後表ニ致シマシテ

○委員長(三土忠造君) ソレカラ先ニ

言ウタ稅率ノ適用ノヤツモ

○政府委員(池田勇人君) ソレデハ午

後表ニシテ提出致スコトニ致シマス、

是ハ單ニ本當ノ「ラフ」ナ見積リデゴ

ザイマシテ、斯ウ云フ風ニ土地、建物

ガ百四十億ニモナルコトハ我々トシテ

ハ希望シテ居ナイノデアリマスガ、大

體ノ見込トシテハ此ノ程度デハナイカ

ト考ヘテ居リマス

○片岡直方君 次ニ御伺ヒシタイノ

ハ、此ノ物納ト云フノハ、政府ノ財政

面カラ言ヘバ、一應之ヲ短期公債ヲ發

行スルトシテモ、出來ルダケ早ク處分

シテ金銭化スルト云フコトヲ政府トシ

テハ考ヘナケレバナラヌカト思フノデ

アリマス、併シ非常ナ大ナ物納ニナ

リタモノノ一度ニ之ヲ賣リ出スト云フ

コトニナレバ、價格ハ非常ニ暴落ス

ル、政府ハ豫期シテ居ツタ所ノ財産稅

ノ收入ガ得ラレナイト云フコトニナ

ル、ソレナラバ徐々ニ之ヲ處分シタラ

ドウカ、サウスルト一體處分完了迄ハ

何年掛ルカト云フコト、之ヲ伺ヒタイ

ノデアリマス、實ハ豫算第一分科會デ

御尋ね致シマシタ際ニ、政府委員ノ御

答辯ニ依ルト、是ハ四、五年掛ル、斯

ウ云フ御答辯ガアツタノデアリマス

ガ、其ノ通り政府委員ハ御認メニナル

カドツカ、此ノ點モ伺ヒタイ、ソレカ

ラ民間ノ通貨收縮ガ行ハレズシテ、政

府ノ財政支出ノミ一方ニ續ケテ行キト

云フコトニナリマシタ、此ノ爲ニ行キ

フレノガ拍車ヲ掛ケラレト云フコト

ハ、是ハ問題ナシニ譯デアリマス、又生

産方面カラ申シマシタモ、今ハ極力物

ビサセテ置クト云フヤウナ考デアルカ

ドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマ

ス、更ニ此ノ國有財産トシテ、只今モ

御説明ガチヨツトアリマシタガ、斯ウ

云フヤウナ多クノ土地、家屋ト云フモ

ノガ此ノ財産稅並ニ農地調整法ノ關係

カラ非常ニ増加シテ來ルト云フヤウ

ニ思フノデアリマス、此ノコトハ結局

地租、家屋稅ノ減少ヲ來スノデハナイ

カ、結局地方財政ニ相當ナ影響ガアル

ノデハナイカト云フコトヲ考ヘマスノ

デ、是等ニ付アノ政府ノ對策、ドウ御

考ニナツテ居ルカ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 非常ニ多額

ノ物納ガ豫想サレノデアリマスル

ガ、之ヲ一時ニ賣却スルト云フコトニ

ナルト、價格ノ低下ヲ來シ、歲入ニモ

影響ヲ來スノデハナイカ、斯ウ云フ御

話デゴザイマシタ、御尤モデゴザイマ

シテ、物納ニナリマシタ財産ニ付キマ

シテハ、個々ノ財産、即チ田畑ハドウス

ルカ株券ハドウスルカ、所謂各種ノ財

産ニ依リマシテ、處分方法ハ異ナルト

思フノデアリマスルガ、出來ルダケ早

イ機會ニ賣リマスル共ニ、又市場ノ狀

況等モ考ヘテ行カナケレバ相成ラヌト

思フノデアリマス、ソレデ此ノ物納財

産ノ處分ガ何年位掛ルカト云フコトニ

付キマシタハ、是ハ財産稅徵收後ノ經

濟界ノ狀況、其ノ他生産ノ狀況等ヲ考

ヘテ決メナケレバナラヌノデゴザイマ

スルガ、大體整理シテシマヒマス迄ニ

ハ、五、六年ヲ要スルノデハナイカト

思ツテ居リマス、尙此ノ機會ニ申上ゲ

ニハ、徵稅シテ居リマセヌノデ、斯ウ

云フ方ニ相當ノ購買力ガアルノデハナ

イカ、所謂下層階級ノ方ニ相當物納財

産ガ買受ケラレノデハナイカト云フ

コトヲ想像致シテ居リマス、不動産ガ

國有財産ニナツタ場合、地方ノ財政收

入ニ、所謂地租、家屋稅等ノ財政收入

ニ影響ヲ及シ、地方財政ヲ危殆ニ瀕セ

シメナイカト云フ御質問デゴザイマス

ルガ、此ノ田畑ニ付キマシテハ、農地

調整法ノ精神ニ依リマシテ、小作人ニ

早急ニ賣却出來ルト考ヘテ居リマス、

又家屋、宅地ニ付キマシテモ、家屋ノ

不足ノ現況カラ考ヘマシテ、相當早ク

賣却スルノデハナイカ、ソレガ非常ニ賣

レ残リガアルト云フコトニナリマスル

ト、或程度地方財政ニ影響ヲ及スコト

ハ考ヘナケレバナリマセヌガ、大體ニ

於キマシテ不動産ハ相當早ク賣却レテ

タノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザ

イマス

○片岡直方君 ソレカラ次ノ問題ニ入

リマスガ、私ノ次ニ質問シタイコト

ハ、債務ト第二封鎖預金ノ關係ヲ御尋

ネシタイノデゴザイマス、是ハ財産稅

法ノ第五十五條、此ノ規定ニ關シテ

問題デアリマスガ、結局第二封鎖預金

ハ所謂上積ノ計算トシテ、之ニ對スル

財産稅ハ第二封鎖預金カラ支拂ヲ認メ

ルト云フ御趣意デアルト解シテ居ルノ

デゴザイマスガ、私ハ此ノ場合ニ於キ

マシテ、債務ガアツタラドウ云フ關係

ニナルカト云フコトニ付當局ノ御説

明ヲ煩シタイノデアリマス、即チ第五

十五條第一項ノ後段ニ參リマス、納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

納

</

税務署者は、その納付すべき財産税額と、課税格から算出た財産税の額とを比較し、その差額に相當する税額について、舊勘定預金等による納付を申請することである。斯ウ云フコトが書イテアリマス、先ツ此ノ納税義務者ノ納付致シマスル財産税ノ金額ト云フノハ、勿論此ノ財産税法ノ第十二條ニ依リマシテ、課税ノハ省略致シマスガ、之ニ依リマシテ財産ノ價額カラ債務金額ト云フモノヲ控除シテ課税價格ヲ本ニシテ決定サレルコトハ當然デアルト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシマシテ課税價格カラ舊勘定財産ノ價額ヲ控除シマシタ金額ト云フ文句、ソレカラ此ノ課税價格ト云フ概念ハ既ニ債務ヲ控除シタモノデナケレバナラナリ理由カラ致シマシテ、此ノ場合ニ債務ノ金額ハ先ツ舊勘定財産、即チ第二封鎖預金以外ノ財産カラ全額控除サレタモノデアリ、斯ウ解釋シテ宜シイカ、此ノ點ヲ分リ易ク御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ通りデゴザイマス、財産ノ計算ニ當リマシテハ、積極財産カラ債務ヲ控除シタモノヲ課税財産價格ト致シテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ舊勘定預金ノ財産ハ別ニ致シマシテ、債務ガ外ニアリマスレバ、舊勘定預金以外ノ財産カラ債務ヲ控除シタモノガ、茲ニ規定致シテ居リマス舊勘定財産ノ價額ヲ控除シタ金額ニ相成ルノデゴザイマス

○片岡直方君 實ハ地方ノ稅務署ニ於キマシテハ、此ノ點ニ付キマシテ少シ徹底シテ居ラヌヤウニ思ヒマス、ソレハ斯ウ云フコトデアリマス、所々ニ依ツテ命令ガ徹底セヌカラサナルノダト思ヒマスガ、此ノ負債額ト云フモノ

ハ第二封鎖預金、舊勘定ト、ソレカラ第一封鎖勘定トニ按分サレノダト、斯ウ云フ解釋ヲシテ居ルノガアリマシタ、サウ云フコトモ聽キマシタ、今ノ局長ノ御説明デ明瞭ニナリマシタガ、サウ云フ間違ヲ考ヘテ持ツテ來ルト非常ニ迷惑シマスガ、斯ウ云フコトハ當局ニ於テハツキリト能ク分ルヤウニシテ戴キタイ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、其ノ次ニ御伺ヒシタイノハ、是ハ昨日モ御質問ガアリマシタガ、財産税ニ對スル評價ノ問題デアリマシテ、是ハ少シ角度ヲ變ヘマシテ伺ヒタイノト、モウ少シ具體的ニ伺ヒタイノデアリマス、或ハダブルカモ知レマセヌガ、御イ承願ヒタイノデアリマス、大體私ノ考ヘマスルノニ所得税、營業税、法人税ト云フヤウナ法律ガゴザイマシテモ、總テ中心トナリマスモノハ課税ノ價格ト云フモノト税率、此ノ二ツガ何時デモ對象ニナツテ居ル、然ルニ此ノ財産税法ヲ見マシタルト云フニ、税率ノコトハ二十三條ニ明確ニ規定シテアリマス、處ガ課税價格ト云フコトニナリマス、頗ル曖昧ニナツテ居リマシテ、財産税ニ於テ課税價格ハ、詰リ財産ノ評價ト云フノデアリマスガ、此ノ評價ノ點ハ、全部命令ニ委任サレテ居ルノデアリマス、私共ガ此ノ法律案ニ賛成致シマシテモ、實質的内容ト云フモノガ後デ命令デドウデモ左右サレタルト云フコトハ非常ニ國民ハ迷惑致シマス、凡ソ民意ト違フタ所ニナツテ行クノデヤナイカ、此ノ法律ヲ見マシテ、私共今ノ時代ニ合ハナリ、民意ヲ無視シタ一方ノ法律デアリマシテ、斯ウ云フ風ニ言ヘルヤウニ思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ、政府ハ評價ノ方法ヲモット詳細ニ法律ニ何故規

定シナイカト云フコトヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(池田勇人君) 先程ノ稅務署ノ解釋ガ區々ニナルト云フ御話ハ御尤モデゴザイマシテ、只今各財務局ノ其ノ擔當ノ係官ヲ集メマシテ、財産税法並ニ戰時補償特別措置法ニ付キマシテ、十分打合セテ致シマシテ、區々ニナラナイヤウニ出來ルダケノ努力ヲ續ケテ行キタイニ思ヒマス、次ニ評價ノ問題デアリマス、是ハ實ハ財産税ノ基本ヲ成スモノデゴザイマス、之ヲ出來ルダケ明確ニ規定スルコトガ最も必要デアルト考ヘルノデゴザイマス、唯出來ルダケ其ノ點ハ努メタノデゴザイマスルガ、今此處デ勅令ニ讓ツテ居リマスモノハ、極ク例外ノ場合デゴザイマシテ、又財産價額ノ割ニ少イモノデゴザイマシテ、其ノ他ノモノハ概ネ是デ賄ヒ得ルト考ヘテ居リマス、尙御手許ニ配ツテ居リマス命令案要綱ニ於キマシテ、大體所謂最高最低ノ決メテ居リマスノデ御イ承願ヒタイト思フデアリマス、保險料ノ計算ニ付キマシテハ昨日申上ゲタノデゴザイマス、是ガ主ナル點デゴザイマシテ、年金額ニ付キマシテハ、大體最高最低ハ命令案ニ書イテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○片岡直方君 私モ此ノ財産税法ノ命令案要綱ヲ能ク拜見致シマシタ、只今ノ局長ノ御示シナル通り條項ニ付テハ能ク調ベマシテ書イテアリマス、此ノ郵便年金、生命保險、ソレカラ使用品、在外ノ財産、是ハ皆決メテアルノハ能ク分リマシタ、伺ヒタイノハ三十五條ニ前條ニ斯ウ云フ風ニ規定シテアルマシタ以外ノ財産ノ評價ト云フモノハ、矢張り調査時期ニ於ケル時價ニ依

ルト謳ツテアリマスガ、ソコデ皆ズツト列舉シテアリマス各評價規定ハ例外ノモノデアリマセウカ、ソレトモ此ノ三十五條ノ規定カラ類推シテ、右ニ舉ゲテアル各規定ノ財産評價ト云フモノモ、時價主義デアルノカ、即チ評價ト云フノハ時價主義デ一貫シテ居ルノカ、ソレトモ時價トソレ以外ノ評價トノ二本建テアルノカドウカ、此ノ點伺ヒタイ

○政府委員(池田勇人君) 各種ノ財産ニ付キマシテ評價方法ヲ決メマスコトハ、餘程困難デゴザイマス、「ドイッ」ノ財産税法ニ於キマシテハ、評價法ト云フ特別ノ法律ヲ設ケマシテ、非常ニ細カニ規定致シテ居リマス、我ガ國ニ於キマシテハ經濟事情ガチヨツト違ヒマスノデ、事細カニ財産税各種ニ付キマシテ、評價法ヲ決メタルト云フコトハ非常ニ至難デアリマシテ、主ナル財産ニ付キマシテ二十五條カラ三十四條迄ニ、斯ウ云フ評價ノ方法ヲスルノダト云フコトヲ決メマシタ、二十五條以下三十四條迄ニ掲ゲマシタモノ以外ノモノニ付キマシテハ、原則トシテ調査時期ノ時價ニ依ルト、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、出來ルダケノ評價方法ハ一應掲ゲテ置キマシタ、三十五條ノ適用ヲ受ケマスモノハ、概ネ動産ト云フコトニ相成ルト思フノデゴザイマス

○片岡直方君 別ノ所カラ御伺ヒシタイノデアリマスガ、只今ノ説明デ分ツテ居ルヤウデアリマスガ、政府ノ言ハレル時價ト云フモノハ、何ヲ基準トシタノデアリマスカ、詰リ關稅價格トカ、或ハ公定價格トカ、或ハ統制價格トカ、取引價格ト是トハドウ云フ違ヒガアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 所謂公定價格ニ依ツテ計算致スコトニ致シテ居リマス、サウシテ又動産等ニ於キマシテハ、所謂中古品等ガゴザイマスノデ、サウ云フモノハ減價價却ヲ見テ後ノ價額ニ依リタイト思ヒマス

○片岡直方君 ソレデハモウ一ツ此ノ問題ニ關聯シテ評價ノ問題ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、昨日御説明ガアリマシタ家屋ニ對スル税率ハ、新ラシイ家屋ト古イ家ニ對シテハ税率ガ違フノデアルガ、家屋ノ基準ハ三十年ガ原則デアルガ、新ラシク建テラレタ家ノ税率ト、古ク年數ノ經ツタ家屋ノソレニ對スル税率ト云フモノハ、少シ斟酌ヲスルタト思ヒマスガ、何カ之ニ付テ御説明願ヘマセヌカ

○政府委員(池田勇人君) 家屋ニ付キマシテハ、調査時期ノ狀況ニ依リマシテ決メマスノデ、新ラシイ家屋ト古イ家屋ニ付キマシテ、税率ガ異ナルト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、是ハ財産モ全部集メマシテ、サウシテ二十三條ノ超過累進税率ヲ適用致スノデゴザイマシテ、其ノ財産ノ内容種類ニ依リマシテ、個々ニ税率ヲ適用スルト云フコトハゴザイマセヌ

○片岡直方君 ソレデ次ノ問題ニ移リマス、大體財産税ヲ今度御取リニナツタ趣意カラ申シマス、法案ノ一番仕舞ヒノ所ニ理由ガ書イテアツテ、之ヲ拜見シマス、國庫ノ收入ヲ確保スル、富ノ均衡化ト云フ二ツヲ謳ツテ居ラレルノデゴザイマス、サウ致シマス、財産税ヲ初メ御取リニナル前々ノ所ハ、公債ノ償還スルコト云フ意味デアルカラ、「インフレ」防止ト云フ意味デアツタノガ、サウ云フ風ニ變ツテ來テ、富ノ再

分配、ソレカラ歳入不足ヲ填補スル、斯ウ云フ風ニ變テ來タト云フ風ニ見ラレリノデアリマスガ、政府ニ於テハ此ノ二ツノミヲ御考ニナツテ、「インフレ」防止ト云フコトニ付テハ、何等考ヘテ居ラレヌカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

ジマスルト、ドウシテモ勞働問題トカ、色々ナ問題モ關聯致シマシテ、費用ガ段々ト嵩ンデ、要スルノ例ヘバ新ラシク炭坑ヲ開クト云フヤウナコトデアリマシテモ、サウ簡單ニハ開ケヌノデアリマスノデ、數年間ハ掛ルノデアリマス、ソレヲ著手致シマシテモ、數年間ノ日子ヲ要スルト云フコトデアリマスカラ、其ノ間ニハドウシテモ惡性「インフレ」ノ傾向ヲ迎ルト思フノデアリマス、ソコデ大藏大臣ノ御説明ニ依ルト、通貨ノ膨脹ガ只今六百五十億位ト思ヒマスガ、是ハ恐ル、不足ラナイノダト云フ御説明デアリマスガ、結局矢張り通貨ト云フモノハ段々殖エテ參リマシテ、産業ガ開カレナケレバ財産稅ヲ御取リニナルト云フコトデアリマス、其ノ歳入ノ填補ニスルノダト云フコトニナレバ、ドウシテモ是ハ惡性「インフレ」ニナルヤウニ思フカラ、只今ノ御説明ニ依ルト防止ニナルト云フコトモ含マレルト云フ御話デアリマスルケレドモ、此ノ點私ハ了解出來ナイノデ、モウ一遍重ネテ御説明願ヒタイノデアリマス

ラバ、是ハ或程度ノ通貨ノ吸收ガ出來ル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、今回ノ財産稅ハ通貨收縮、即チ「インフレ」防止ノ或程度ノ役割ヲ爲シ得ルモノト期待致シテ居ル次第デアリマス

アリマスガ、是モ或ハ大藏大臣ニ御尋ネシタラ宜イカモ知レマセヌガ、實ハ私、豫算總會デモ大藏大臣ニモ御尋ネシマシタシ、又總理大臣ニモ御尋ネシマシタ問題デアリマスガ、一年据置ノ預金ニ對スル控除ノ問題デスガ、委員長、是ハ矢張り大藏大臣ニ御尋ネシマセウカ

財産稅ガゴザイマス、今回ノ財産稅ハ元本ヲ侵蝕スル財産稅デゴザイマシテ、是ハ實質的財産稅ト云ハレテ居リマス、名目的財産稅トハ、先年、昭和十一年ニ、馬場財政ノ時ニ計畫致シマシタ、所謂所得カラ支拂ハレルヤウナ、非常ニ低率ノ、低稅率ノ財産稅、此ノ名目的財産稅ハ、是ハ毎年デモ出來ルモノデアリマス、所得稅ノ補完稅ト致シマシテ、此ノ名目的財産稅ヲ施行シテ居リマス國ハ多アルノデアリマス、ソレデ今御話ノ法人稅ノ中ニ、其ノ資本金ニ對シマシテ千分ノ三デ徵收致シテ居リマス資本ニ對スル法人稅ハ、是ハ一種ノ財産稅デ、名目的財産稅ト言ヒ得ルト思ヒマス、沿革の申シマシテモ、昭和十一年馬場財政ノ時ニハ、千分ノ一・五ノ稅率デ法人ノ財産稅トシ、又個人ノ方ニモ財産稅ヲ課ケル計畫デ居リマシタガ、個人ノ財産稅ハ取止メニナリマシタ、今日法人ノ資本ニ對スル名目的財産稅ガ今殘ツテ居ルノデアリマス、ソレデ大藏大臣ガ、財産稅ハ一回限リデ、二度トハヤラナイト仰シタルコトハ、是ハ實質的財産稅、即チ今回ノ財産稅ハ二度ヤラナイト、斯ウ云フ御話デアリマス、ソレデ又實際ヤラウト思ヒマシテモ、斯ウ云フ「ドラスティック」ナ財産稅ハ、是ハモウ到底永久ニヤルベキモノデハナイト自分モ考ヘテ居ル次第デアリマス、唯名目的財産稅ニ付キマシテハ、是ハ所得稅ノ補充稅ト致シマシテ採用スルト云フコトハ、稅制ノ根本的改革ノ時ニハ、一ツノ研究題目ト相成ルト思ヒマス、併シ是ハ飽ク迄名目的ノ財産稅デ、其ノ稅率ハ非常ニ低イ、所得ノ補充稅トシテ、所謂所得カラ拂ハレルヤウナ財産稅デナケレバナラヌト思フノ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ヲ施行致シマシタ場合ニ於キマシテハ、尙此ノ目的以外ニ矢張り「インフレ」防止ノ「インフレ」防止等ニモ、相當役立チ得ルト云フコトヲ期待致シテ居リマス

○片岡直方君 ソレデハ伺ヒマスガ、其處ノ所ガ、私共ドウモ了解出來ナイノデゴザイマス、何トナレバ先程モ御質問申シタ通りニ、提案ノ理由ノ二ツノ條項デアレバ分ルノデアリマスガ、「インフレ」防止ニ役立ツト云フコトハ、實質上アリ得ヌコトデヤナイカト、只今ノ御説明ニナリマシタ通り、物納ガ五、六億アルノダト、是ハソレデ宜イノデアリマスガ、提案ノ理由ノ一ツノ、歳入ノ填補ヲ圖ルノダト云フコトニナツテ參リマス、ドウシテモ一方ニ於テ、大藏大臣ノ始終言ハレマスル生産再開ト云フモノガ、實質上擬ツトシテ、寧ロ石炭ナドハ段々減ツテ行クト云フ憐レナル狀態デアリマス、外國カラ、度々御質問申シタノデスガ、石炭ハ一切入ラナイノダト云フ狀況デアリマスノデ、大藏大臣ノ一番御考ニナツタ石炭ノ問題ハ、是ハ生産ノ再開ヲ圖ルノダカラ、價格ヲ上ゲテモ宜イト云フ風ニ言ハレテ居リマスルケレドモ、實質上生産再開ガ出來ナイ、ソレカラ戰時補償打切りニ伴ヒマシテ、色々ナ法案ガ出ル、段々企業ガ追詰メラレテ行ツテ、色々ナ狀態ガ段々惡クナリツツアルヤウナ狀態デアリマス、サウ致

○片岡直方君 是ハ或程度ノ通貨ノ吸收ガ出來ル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、今回ノ財産稅ハ通貨收縮、即チ「インフレ」防止ノ或程度ノ役割ヲ爲シ得ルモノト期待致シテ居ル次第デアリマス

○片岡直方君 ソレデヤサウ云フコトニサシテ戴キマス、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、財産稅トシテノ意見ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、今、現在、法人稅ト云フモノガ千分ノ三掛ツテ居ルノデアリマス、是ハ資本ニ對シテ掛ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ自分ノ我流ノ考デアリマス、是ハ一ツノ財産稅デアルト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ何回モ大藏大臣ニ御尋ネ致シマス、是ハ財産稅ハ一回限リデアル、取ラナイノデアル、斯ウ云フ御説明ガアリマス、併シ是モモウ一遍重ネテ、財産稅ニ付テハ大藏大臣ハサウ云フ風ノ御答辯デアリマシタガ、政府委員ハ本當ニ財産稅ハ一回限リカドウカ、ソレカラ現ニ今、只今申上ゲマシタ通りニ、法人稅ト云フモノハ一種ノ財産稅ダト私ハ解釋スル者デアルガ、是ガ間違ツテ居ナケレバ、サウ云フノデ實行サレテ居ルノデアリマスカラ、矢張り將來ニ於テハ法人財産稅ハ、更ニ財政ガ窮屈ニナレバ御取リニナルヤウナ基礎ガモウ出來テ居ルノデヤナイカ、更ニ御取リニナル機會ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 御承知ノ如ク、財産稅ニハ名目的財産稅ト實質的

○政府委員(池田勇人君) 「インフレ」防止ニ生産ノ增強ガ絶對的デアルト云フコトハ、御話ノ通りデゴザイマス、唯、今回ノ財産稅ハ、前内閣デ發表致シマシタ財産稅ヨリハ餘程性格ガ變ツテ來テ居リマシテ、直接ニ「インフレ」防止ノ役割ヲ持ツテ居リマセヌ、特ツテ居リマセヌガ、通貨ノ吸收ト云フコトニ付キマシテハ、相當ノ役割ガ期待出來ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、先程モチヨット申上ゲマシタヤウニ、十萬圓以下ノ方々ノ預貯金或ハ現金ガ、物納ニナリマシタ財産ニ向ツテ行クナ

○政府委員(池田勇人君) 「インフレ」防止ニ生産ノ增強ガ絶對的デアルト云フコトハ、御話ノ通りデゴザイマス、唯、今回ノ財産稅ハ、前内閣デ發表致シマシタ財産稅ヨリハ餘程性格ガ變ツテ來テ居リマシテ、直接ニ「インフレ」防止ノ役割ヲ持ツテ居リマセヌ、特ツテ居リマセヌガ、通貨ノ吸收ト云フコトニ付キマシテハ、相當ノ役割ガ期待出來ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、先程モチヨット申上ゲマシタヤウニ、十萬圓以下ノ方々ノ預貯金或ハ現金ガ、物納ニナリマシタ財産ニ向ツテ行クナ

○片岡直方君 ソレデヤ今ノハ大藏大臣ニ

○委員長(三土忠造君) 保留致シテ置イテ

○片岡直方君 ソレデヤ、サウ致シマス、ソレデハ、是ハ前ニ御質問申上ゲマシテ、未ダニ私ハ承服出來ナイ點デ

デアリマス、最後ニ、法人ニ對シテ財産稅ヲ課稅スルカト云フ御質問デゴザイマス、其ノ財産稅ハ實質的財産稅ノ意味ト考ヘマス、今回法人ニ對スル財産稅ヲ止メマシタノハ、戰時補償打切りニ依リマシテ、大部分ノ法人ハ相當痛手ヲ蒙ツタ、從ツテ強ヒテ斯ク云フ實質的財産稅ヲ施行スルニ及バナイ、又モウツハ、個人、法人ニ財産稅ヲ課稅致シマス、二重課稅ニナラナイカ、又第三ニハ、法人ニ實質的財産稅ヲ課稅致シマス、生産ノ障礙ニナリハシナイカ等ヲ考ヘマシテ、取止メタノデゴザイマス、併シ補償打切りノ措置ヲ講ジマシタ後ニデス、或法人ノ中デハ非常ニ含ミ資産ヲ持ツテ居ル、非常ニ擔稅力ガアル者ガ相當アリマス、今後ノ財政狀況ニ依ツテ考ヘラレナイ問題デモナイと思ツテ居リマス

○片岡國方君 ソレデヤ政府委員ニ對スル質問ハ是レ終リマシテ、大藏大臣ガ見エマシタラ、質問ヲ繼續致シマス

○片倉兼太郎君 私ハ此ノ財産稅法ノ申告トカ、納付ト云フコトダケニ付テ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、昨日物納ニ依ル取扱方法ニ付テハ、順位其ノ他、橋本委員ノ御質問ニ付テ御答辯ニナツテ能ク分リマシタガ、延納ノ場合ニ對シマシテ、財産稅トシテ利子ナドヲ徵ルト云フ御見込デアリマセウカ、如何デスカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ノ延納ヲ申込マシタ場合ニ付キマシテハ、利子ヲ徵收スルコトニ相成ツテ居リマス、六十五條ニ規定致シテ居リマス、其ノ利子額ハ年百分ノ十デ計算スルコトニ相成ツテ居リマス

○片倉兼太郎君 此ノ財産稅ニ對シテ、萬已ムヨリ得ナイノデ納付ガ出來ナイト云フヤウナ者ニ利子ヲ認メルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、是非非常ニ考慮ヲ要スルコトト存ズルノデアリマス、之ニ付テモサウ云フ風ニ六十五條デ出來テ居リマスナラバ、是ハ又別デアリマスガ、是非餘程考ヘテ行カナケレバ私ハムツカシイと思フノデアリマス、第二ハ普通ノ個人ガ自己ノ家庭ノ者或ハ親族ナドデ拵ヘマシタ合名會社、合資會社ナドハ、殆ド全財産ヲ投ジテ、サウシテ事業ノ經營ニ從事シテ居ル者ガ澤山アルト思ヒマス、此ノ合名會社トカ合資會社トカ云フモノノ出資ニ對スル御取扱ヒ、或ハ其ノ方ガ土地ヲ持ツテ居ルトカ、家屋ヲ持ツテ居ルトカ、或ハ他ノ有價證券ナドヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマシタナラバ、納稅ガ容易デアルト思ヒマス、スケレドモ、斯ク云フモノハ有價證券ト看做スノデアリマス、或ハ物納ノ對象トナルノデアリマセウカ、伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ノ延納ヲ認メマスコトハ、是ハ例外的ノ場合デゴザイマス、金錢デ納メテ戴ク、又物納シテ戴クト云フコトガ非常ニ困難ナ場合、例外的ニ延納ヲ認メテ居ルノデゴザイマス、其ノ延納ヲ認メマシタ場合ニ付キマシテハ、矢張り相當程度ノ利子ヲ附シタガ、負擔ノ權衡カラ言ツテモ適當デアルト考ヘテ居リマス、殊ニ或程度物價ガ騰ルト云フ風ナコトガ考ヘラレマス時ニハ、矢張り百分ノ十程度ノ利子ヲ附スト云フコトガ適當デナイカト考ヘテ居リマス、次ニ出資ガ物納ノ對象ニナルカト云フ問題デゴザイマス、無限責任社員等ノ出資ニ付キマシテハ、餘程考慮ヲ

要スルノデアリマシテ、斯カル場合ハ、矢張り納稅義務者ガ同族會社ノ出資デケダト云フ風ナ場合ニ付キマシテハ、納稅ノ爲ニ減資ナスツテ、サウシテ納メテ戴クノガ、兩者トモ一番便利デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○片倉兼太郎君 サウシテ又御承知ノ通り、事業ノ經營ニ從事致シテ居ル者ハ、或ハ株式會社ナドデ社長トナリ、其ノ經營ヲ擔當シテ居ル者トシマス、其ノ會社ガ金ノ必要ナ時ニ、萬已ムラ得ナイカラ自己ノ資産デアアル有價證券ナドヲ會社ニ貸付ケルト申シマス、應答ヲシタ關係上、其ノ會社ガ擔保ヲ以テ銀行カラ金ヲ借入レタヤウナ場合ガ澤山アルト思フノデアリマス、斯ク云フ場合ニ於テ、其ノ會社自體ガ非常ニ補償打切りニ依リマシテ逆境ニ陥ツテ、殆ド其ノ擔保ト云フモノガ返ツテ來ナイト云フヤウナ場合モ非常ニ多イデラウト思フ、サウ云フ場合ハ、此ノ申告ニ對シテ、ソレヲ貸付ノ有價證券トシテ計上スベキモノデアルカ、或ハ其ノ實際會社ノ價値カラ見テ、其ノ株式ガ到底返ラストアレバ、ソレヲ無價値トシテ申告スルノデアリマス、カ、斯ウ云フコトニ付テ一應伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 戰時補償特別稅法課稅ニ依リマシテ、會社ガ非常ニ損失ヲ蒙リ、資産内容ガ餘程惡クナツタト云フ場合ニ付キマシテハ、企業再建整備法ノ規定ニ依リマシテ整備ヲ致シマス、其ノ整備致シマシタ後ノ狀況デ株價ヲ決メタイ、其ノ株價ヲ決メマス場合ニ付キマシテハ、株價評定委員會ト云フモノヲ大藏省或ハ財務局ニ置キマシテ、個々ノ會社ニ付キマシテ、財産稅ノ課稅價格ハ是々ダ

ト云フコトヲ決定シ、官報其ノ他デ報告致シタイと思ツテ居リマス

○片倉兼太郎君 此ノ質問中上デタノハ、ソレトハ少シ意味ガ違フト思フノデアリマス、謂ハバ私ガ或會社ノ社長ヲシテ居リマシテ、其ノ會社ガ金融ヲシナケレバナラスト云フコトノ爲ニ、自己ノ所有スル所ノ有價證券ヲ其ノ會社ニ持ツテ行ツテ、其ノ會社デ擔保ニ提供シテ銀行カラ金ヲ借りタト云フ場合ガアルノデアリマス、其ノ會社ガ今度補償打切りニ依ツテ非常ニ痛手ヲ蒙ツテ、到底資本金デモ之ヲ賄フコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ニアレバ、其ノ擔保ニ提供シタ所ノ有價證券ハ銀行デ之ヲ賣買ニ付シテ、銀行ノ收入ニナルベキモノデアルカ、私ガ貸シタ其ノ有價證券ト云フモノハ無價値ダト思フ、其ノ會社ニ對シテ貸シタト云フコトノ帳簿上ノ計算ハ附キマセウケレドモ、恐ラクサウ云フヤウナ時ニハ、銀行デハ其ノ擔保ニ提供シタ株式ヲ賣却シマシマフノデアリマス、其ノ貸シタ有價證券ハ無價値デアアル、併シナガラ其ノ提供シタ有價證券ハ立派ナ有價證券デアツテ、今日十分ナル價値ガアルモノデアリマス、併シナガラ實質的ニハ無價値ニナルベキモノデアリマス、サウ云フモノニ對シテ、財産ノ申告スル時ニ如何取扱フベキモノデアリマス、御伺ヒ致シタイノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 納稅者ノ財産ノ評價ハ、三月三日現在デ參リマス、三月三日現在ニ既ニ其ノ株價會社ニ議決シテ居ラレト云フ風ナ場合ニ付キマシテハ、是ハ債權トシテ評價スルノデゴザイマス、其ノ債權ガ三月三日現在ニドレダケノ價値ガアツ

タカト云フコトニ依ルヨリ外ニ仕方ガナイと思ヒマス、最近ニ於キマシテ、サウ云フ財産ガ非常ニ惡クナツタ、價値ガ少クナツタト申シマシテモ、法律的ニハ三月三日ノ現在ニ依ルヨリ外ニハ致シ方ナイと思ヒマス

○片倉兼太郎君 ドウモ私ノ申上ゲルコトト少シ違フト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 三月三日ノ現在ニ依リマスノデ、其ノ後、斯ウ云フ措置ニ依リマシテ財産ガ非常ニ減失シタ、或ハ減額致シタト云フ場合ニ於キマシテモ、控除ハ致シマセス

○片倉兼太郎君 此ハ補償打切りト云フコトガ、三月二日前ニベキモノデアリマス、或ハ財産稅ヲ決定シタ後ニ補償打切りヲナサルモノデアリマス、若シ三月二日ノ時ニ補償打切りト云フコトニスレバ、ソレガ爲ニ生ジタ會社ノ詰リ減損ト云フモノ、其ノ會社ヘ金ヲ貸シタ貸付ト云フモノハ、殆ド只ト見テ申告スベキモノデアリマセウカ如何カト云フコトヲ御伺ヒシタノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 三月三日ニ其ノ方ガ、補償打切りニ依リマシテ非常ニ價値ノ下ツタ株式ヲ御持チデアツタナラバ、株價ノ評定ニ付キマシテハ、補償打切り後ノ狀況ニ依ツテ評定致シマス、其ノ評定價格ヲ三月三日ノ財産ト致シマス

○片倉兼太郎君 ドウモ私ノ申上ゲルコトガ、少シ局長ニ御分リニナラスト思フノデス、私ハ斯ウ申スノデアリマス、假ニ甲ト云フ立派ナ有價證券ガアルノデアリマス、是ハ三月二日デアラウガ八月十一日デアラウガ今日デモ、立派ナ有價證券トシテ價格ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ價格ヲ持ツ

タカト云フコトニ依ルヨリ外ニ仕方ガナイと思ヒマス、最近ニ於キマシテ、サウ云フ財産ガ非常ニ惡クナツタ、價値ガ少クナツタト申シマシテモ、法律的ニハ三月三日ノ現在ニ依ルヨリ外ニハ致シ方ナイと思ヒマス

テ居ル有價證券ヲ、三月二日以前ニ、會社運籌ノ爲ニ、其ノ會社ノ經營ヲ擔當シテ居ルト云フ關係上、其ノ會社ヘ其ノ有價證券ヲ貸付ケタノデアリマス、其ノ貸付ケタ有價證券ヲ、其ノ會社ハ金融上已ムヲ得ナイカラ、擔保ニ提供シテ銀行カラ金ヲ借りタノデアリマス、其ノ銀行カラ借りタ會社ガ、所謂戰時補償特別措置法案ノヤウナコトノ爲ニ、非常ナ惡イ結果ニナツタ結果、其ノ有價證券ヲ貸シタ所ノ、經營シテ居ルモノガ取戻スコトガ出來ナイノデアリマス、何故ナラバ銀行ハソレヲ競賣シテ自分ノ貸付ノ收入ニシテシマフノデアリマスカラ出來ナイノデアリマス、サウナリマスルト云フト、其ノ貸シタ人ハ、貸シタコトハ事實デアリマスガ、貸シタ金ハ取レナイノデアリマス、會社カラ其ノ取レナイモノニ對シテモ、申告ハ甲ト云フ立派ナ會社ノ株式ヲ持ツテ居ルカラ、其ノ株式ニ對シテ申告ヲ、矢張り其ノ時ノ、三月二日ノ時價デアリマスガ、三月二日ニ所有シテ居ル所ノ價格ニ依ツテ届出ラスベキモノデアリマセウカ、斯ウ云フコトヲ御伺ヒシタ譯デアリマス

○政府委員(池田勇人君) 御答へ申上ダマスガ、價值ノアル有價證券ヲ自分ノ關係會社ニ御貸シタル、ソシテ單ニ有價證券ヲ貸シタト云フコトダケデ、銀行カラノ債務ニ付テ連帶ノ責任、或ハ保證ノ責任ガナイ場合ヲ考ヘマスルト、斯カル場合ニ付キマシテハ、其ノ株ハ矢張り三月三日其ノ納税者ノ所有ニ掛ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ價格デ申告ササルノガ至當ダト考ヘマス

○片倉兼太郎君 是ハ私ト考ヘ方ダ違フノデアリマスルカラ、ドウモ是以上

致シ方ガナイト思ヒマス、御質問ヲ申上ダテモ同ジダト思ヒマスガ、唯若シカ、私ガ株式以外ニ何モ持ツテ居ナイヤウナ場合ニ於テ、其ノ株式ヲ、全財産外ニ貸セヤツタヤウナ場合ニ於テハ、財産稅ノ納税ノ方法ハナイモノデ、私ハ思フ、其ノコトダケハ御考ヘ置キ戴キタイ、何レ各委員ノ方デ、私ト同意見ノ方ガアリマシタラ、其ノ方カラ御質問ヲ願ハナケレバ、私ドウモ申上ダルトコトガ下手デアリマスルカ、ドウ云フ關係デアリマスルカ、意味ガ分ラナイヤウナ氣ガ致シマスルノデ、私ハ此ノコトハ、是以上申上ダマセヌガ、假ニ此處ニ一ツ斯ウ云フ例ガアリマスシテ、是ハ如何取扱ツタラ宜シウゴザイマスガ、戰災保險金ガ二十萬圓アツタトシテ、此ノ二十萬圓ヲ銀行ノ借入金ト、昨年ノ八月十五日以前ニ

決済シタモノガアルト致シマス、是ハ無論決済致シマシテモ、措置法案ニ依リ切リノ對象ナルコトハナイ、詰リ其ノ二十萬圓ハ濟シテ居ツタト云フ譯ニハ參ラヌト思ヒマス、此ノ場合、個人トシテ控除金ガ五萬圓アリマスカラ、其ノ殘額ノ十五萬圓ト云フモノハ、保險金ヲ取ツタモノニ百「パーセント」ノ税金ガ賦課サレルノデアリマス、然ラバ此ノ十五萬圓ハ財産稅申告ノ時ニ、借入金十五萬圓計上スベキモノデアリマスルカ、或ハ銀行ノ方デ其ノ場合申告ササルモノデアリマスルカ、ソレヲ一ツ誰ガスルカ、サセルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 只今御話ノ決済ト云フノガ問題デゴザイマスルガ、昨年八月十五日以前ニ特殊預金ガ現金化シテ居ツタ、銀行ニ債務ヲ支拂フ爲ニ現金化シテシマツタト云フ場合

ニ付キマシテハ、措置法第一條第一號ノ規定ニ依リマシ、戰時補償特別稅ハ課税ニナリマセヌ、ソレガ單ナル決済デ、所謂企業整備資金措置法第五條ノ規定ニ依リマシテ、特殊預金トシマダ殘ツテ居ツタト云フ場合ニ付キマシテハ、今回ノ措置法ニ依リマシテ、其ノ方ハ十五萬圓課税ニナリマスカラ、是ハ其ノ分ハ三月三日ノ財産價格カラ引クコトニ致シテ居リマス

○片倉兼太郎君 サウスルト銀行ノ、早イ話ガ借入金ト決済シタ額デアリマス、其ノ銀行ヨリノ借入金ト決済シタ額ガ、銀行デソレヲ現金化シタカシナイカハコトヲデハ分ラナイノデアリマスガ、銀行デ現金化シタアレバ課税ノ對象ニハナラス、ナケレバ課税ノ對象ニナルト心得宜シウゴザイマス

○政府委員(池田勇人君) 昨年ノ八月十五日以前ニ保險金等ガ現金化シテ居リマス場合ニハ、今回ノ課税ノ對象ニハナリマセヌ、現金化サレズニ特殊決済ノ預金證書ヲ持ツテ居ツタ場合ニハ、八月十五日以後ニ現金化シタ場合ニハ、課税ノ對象ニナルコトヲ措置法第一條ニ規定シテ居ルノデアリマス

○片倉兼太郎君 是ハ現金化シタカ、シナイカ知リマセヌガ、今言ツタ二十萬圓ノ戰災保險金ヲ持ツテ居ツタ、去年八月十五日以前ニ銀行ニ二十萬圓ノ借入金ガアツタ爲ニ、其ノ二十萬圓デ銀行ハ拂ヒツシ、銀行カラ詰リ借入レシタ所ノ證書ヲコツチデ戴イテシマツタノデアリマス、ソレニ對シマシテ、税金ガ掛リマスガ、掛リマセヌカ、私ハ現金化シタカドウカト云フコトハ不敏ニシテ分リマセヌガ、ソレハドウナリマスガ、平易ニ伺ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 斯カル場合ニ付キマシテハ、戰時補償特別措置法第一條ノ第一號ノ既ニ特殊預金等、即チ二頁ノ終ヒカラ二頁目ノ方デ決済のため設定された政府特殊借入金、債務者特殊借入金、特殊預金、特殊金銭信託その他命令で定める債權について、同日以前に、即チ八月十五日以前ニ償還、拂戻若しくは解除又は混同に因る消滅があつた金額に相當する部分を除く。此ノ部分ハ課税外デゴザイマス、從ツテ二十萬圓ノ銀行カラノ借入金ガアツテ、保險ニ付キマスル特殊預金ヲ二十萬圓貫ツテ、銀行ニソレヲ提供致シマシテ、所謂混同ニ依リマセヌ、是ハ昭和二十年八月十五日以前ノモノデ、所謂現金化シタモノト見テ課税ニナリマセヌ

○片倉兼太郎君 能ク分リマシタガ、尙家庭用ノ動産以外ノ「ト」云フノ此處ニアリマスル、三十六條デアリマス、三十六條ノ中ニ斯ウ云フコトガアルノデアリマス、二十萬圓以下ノ者については、その家庭用動産の價額は、「ト」書イテアリマスカラ、家庭用動産デモ税金ヲ御徴リニナルヤウデアリマスガ、是ハ如何デアリマセウカ、又五十萬圓以上ノモノハ、ドウ云フ御處置ヲ御執リニナルカ、伺ヒタイト思ヒマス、第十條デ見マスルト、私ハ斯ウ云フヤウニ思フノデアリマスガ、第十條ノ一項ニ、「生活に通常必要な家具、什器、衣服その他の動産で命令で定めるもの」ト書イテアリマス、ソレニ依リマシテ、三十六條ノ五十萬圓以下ニ對シマシテハ五「パーセント」トカ申シマスルモノヲ家庭用動産ノ對象トシテオ課ケニナルノデアリマスガ、家

庭用動産以外ノ價額トシテ御認メニナツテオ課ケニナルノデアリマスガ、

○政府委員(池田勇人君) 三十六條ノ「家庭用動産」ト云フノハ、所謂家庭用ノ動産ニ課税スルノデゴザイマシテ、是ハ十條ニ規定シテ居リマス生活ニ通常必要ナ家具、什器ヲ除イタ家庭用ノ動産デゴザイマス、其ノ除キマスコトハ第十二條ニ、「第四條第一項又は同條第三項の規定に該當する者については、調査時期において有してゐた財産」全部ノ財産デゴザイマス、サウシテ括弧シテ「第十條に掲げる財産を除く。」ト斯ウヤツテ居リマスカラ、十條ニ規定シテ居リマス生活ニ通常必要ナル家具、什器、衣類ヲ除キマシタ其ノ他ノ家庭用動産デゴザイマス

○片倉兼太郎君 五十萬圓以上ノコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 申シ遅レマシタガ、五十萬圓以上ノ方ニ付キマシテ、即チ正確ニ申シマスルハ、家庭用動産以外ノ財産ガ五十萬圓以上ノ方ニ、五十萬圓ヲ超エル方ニ付キマシテハ三十六條ノ規定ニ依ラズニ、個々ニ計算シテ申告サシテ戴クコトニナツテ居リマス

○片倉兼太郎君 次ニ財産稅ノ徵收ニ付テハ、種、ノ順位ガアルノデアリマスガ、徵收モ無論問題ニナリマセウガ、所謂財産額ヨリ順次昨日ノ御話ノヤウニ物納シマス、殘リマスルモノハ非常ニ換金價値ノナイモノニナツテシマヒ、今後ノ事業トカ仕事ノ上ニ於テ差支ヲ生ズルコトハ當然ト思ヒマスシ、又戰災ニ依ツテ家屋ヲ燒失シタ者デ、家財、什器、衣類等ヲ燒失シタ者ニ付テハ、一人五千圓財産價額ヨリ引クコト云フコトダケハ非常ナル無理

ダト私共ハ思フ、罹災セザル者ト罹災シタ者トニ雲泥ノ差異ト申シマスカ、非常ニ遠ヒノアルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、此ノ國民生活ニ差支ヘルコトハ當然出テ來ルと思フデアリマス、此ノ場合、ドウカ取扱ノ稅務署ノ方ニ温情アル取扱ヒ、所謂國民ガ生活ノ出來得ルヤウニ一ツ御取扱ヒ願フテ、相當ノ斟酌ヲセラルルヤウニ特ニ御願ヒシマシテ、私ハ此ノ質問ヲ切切リマス

○政府委員(池田勇人君) 戰災者ノ控除ニ付キマシテハ、御話誠ニ御尤モデゴザイマシテ、課稅ニ當リマシテハ十分注意致シタイト考ヘテ居リマス

○委員(三土忠造君) 五十萬圓以下ト以上ト區別シタルハドウ云フ譯デスカ、金額デ五分ナラ五分ト云フ風ニシタル宜イデヤナイデスカ

○政府委員(池田勇人君) ソレハ五十萬圓以上トナルト金額ガ大キナリマスカラ、一千萬圓ダト五十萬圓、五百萬圓ダト二十五萬圓ト云フ風ニ比例のニ行カナイと思ヒマスノデ、是ハ何處迄モ拙速主譯デス

○子爵瀧岡光光君 私質問致シタイコトハ、昨日ト今日ト殆ド終ツテ居リマスノデ、後ノ方ニ御譲リ致シマス

○板谷順助君 此ノ動産、不動産ノ調査時期、申告ノ時期、徴收ノ時期ガ大體豫定サレテ居ルと思フデアリマスガ、ソレヲ御知ラセ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 申告ノ時期ハ只今ノ處、一月十五日ト豫定致シテ居リマス、納期限ハ一箇月後ト云フコトニナツテ居リマスカラ二月ノ十五日ニナルト思ヒマス、デ、只今ノ處一番問題ニナリマスノハ、不動産ノ預貯金、或ハ有價證券等ハ、臨時財産調査令デ

三月三日現在デ分ツテ居リマス、サウシテ評價ノ基準ヲ、議會ヲ通過致シマシタラ、直チニ專門委員會ニ掛ケマシテ決メテ發表致シタイト思フテ居リマスガ、唯株價ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ評價基準ヲドウスルカ、未拂込ノ問題ハドウナルカ、是ガ餘程重大ナ問題デゴザイマシテ、此ノ整理ガ出來ルダケ早ク着クヤウニ、關係方面ニモ言ツテ居リマスルガ、如何ニ早クテモ十一月以前ニ決ルト云フコトハ、ナカノムヅカシイト思ヒマス、我々ノ方デハ大體ノ評價基準ヲ作リマシテ、今年ノ七月頃カラ各會社ニ付キマシテ、一應ノ調査ヲ今進メツ、アリマス、評價基準ガ決リマシタラ、ソレニ基キテ、我々ノ見タ所ノ格上スルトカ格下スルト云フコトニ依ツテ、十一月一杯デ評價基準ガ決リ準備ガ出來レバ、今年中十二月末迄ニハ、各會社ノ株價ヲ財産稅ノ課稅價格ト致シマシテ決メタイと思フテ居リマス、今年中ニソレガ決ラナイト云フコトニナリマス、先程申上ゲマシタ一月十五日ノ申告ハナカノムヅカシイノデアリマス、之ヲ延シマスト今年度ノ歳入ニナリマセヌノデ、其處ガ一月十五日ノ申告ノ非常ナ悩ミノ點デアリマス、出來ルダケ早ク關係方面トモ折衝致シマシテ、評價基準ヲ決メテ會社ノ資産ヲ定メル手配ヲ執リタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 ソレカラ納稅ノ順序、ソレハ昨日モ御話ガアツタヤウデアリマスガ、十分呑ミ込メマセヌノデ、例ハ公債ヲ三月三日以後ニ所有シタモノハ勅令ニ依ツテ定メルト云フヤウナルコトモアリマシテ、之ヲモウ一遍ハツキリ説明シテ戴キタイ

○政府委員(池田勇人君) 物納財産ノ種類類ニ納稅シ得ル範圍デアリマスルガ、物納財産ハ現金、預貯金デ以テ納稅スルコトガ困難ナ場合ニハ

○板谷順助君 我ハ御尋ネシニ居ルノハサウ云フ意味デアリマセヌ、先ヅ第一ニ、現金、第一封鎖、ソレカラ公債、ソレカラ第二封鎖ガ順序ニナルノカ、或ハ又三月三日以後ニ所有シタ公債ガドウ云フ順序デ納マルコトニナルカ、ソレヲ仰シヤツテ戴キタイト云フ意味デス

○政府委員(池田勇人君) 第二封鎖預金ハ別ニ考ヘマシテ、第二封鎖預金ニ課稅ニナリマシタ財産稅ハ第二封鎖預金カラ別個ニ納稅致スコトニシテ居リマス、サウシテ第二封鎖預金ヲ除キマシタ財産ニ付キマシテハ、三月三日ニ所有ナサツテ居ラレル國債、不動産等ガ納稅ニ充テラレルノデゴザイマス、調査時期後ニ取得サレマシタ財産ヲ以テノ物納ハ原則トシテ認メナイコトニ致シテ居リマス

○板谷順助君 サウスルト、今ノ御話ニ依ルト三月三日以後ニ所有シタ其ノ公債ハ一切認メナイ、斯ウ云フ御話デスカ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、唯議院命令ニ依リマシテ、政府ガ交付シタ公債ハ是ハ三月三日ノ財産ガ公債ニ變ツタノデゴザイマスカラ、是ハ認メテ行キタイと思ヒマスガ、一般市場デ御買ニナリマシタ公債ハ、財産稅ノ物納ニハ充テナイト云フヤウニ致シタイと思フテ居リマス

○板谷順助君 第二封鎖預金ハドウ云フ順序ニナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 第二封鎖預金ハ別個ニ第二封鎖預金ニ課稅ニナリ

マス分ヲ、第二封鎖預金カラ納メル、即チ第二封鎖預金ガ五十萬圓ゴザイマス

ト、其ノ五十萬圓ヲ上積ミニ致シマシテ、課稅金額三十萬圓ト云フ時ニハ五十萬圓ノ中カラ三十萬圓ノ小切手ヲ切リマシテ納稅ニ充テル、外ノ財産トハ別個ニ取扱ヒタイと思フテ居リマス

○板谷順助君 只今ノ御説明ニ依ルト、先ヅ第一ニ現金、第一封鎖預金デ九十億圓ヲ豫定サレテ居ルヤウデアリマスガ、御承知ノ通り第一封鎖一萬五千圓ト云フモノハ、生活費ノ意味ニ於テ

是ハモウ別ニナツテ居ル、後ハ第二封鎖ニナツテ居ル、ソレカラ又現金ト言ヒマシテモ、三月三日以後新圓ヲ持ツテ居ル者ハ、恐ラクハ十萬圓以上ノ財産ヲ持ツテ居ル人々ニハ、サウ大シタ現金所有ノ方ハナイと思フ、所謂新圓ヲ現在持ツテ居ルノハ農民、漁民或ハ商人、是ガ大體デス、又貸金係給者ノ人達モ、恐ラクハ十萬圓以下ノ納稅者デアルトスレバ、大體此ノ九十二億ヲ豫定サレタノハ、ドウ云フ御見送シテ豫定サレタノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ガドウ云フ財産デ納マルカト云フコトハ、先程申上ゲマシタヤウニナカノ困難ナ問題デゴザイマス、一應私ガ斯ウ云フ風ニ見込ラ致シマシタノハ、現金モ或程度十萬圓以上ノ方モ御持チデセウ、又封鎖預金モ一萬五千圓ト云フノハ、一銀行デアリマスカラ、或ハ三ツ、四ツノ銀行ト取引ガオアリノ御方モアリマセウ、又サウ云フモノヲ大體平均的ニドノ位御持チダラウカト云フコトヲ想像致シマシテ、此ノ程度ノ金ハ入ツテ來ルノデハナイカ、又別ニ此ノ財産ノ評價ニ付キマシテ、重大ナ關係ガアルノデゴザイマスルガ、非常ニ不動

産ヲ澤山持ツテ居ラレル、殊ニ家屋ヲ澤山持ツテ居ラレル方ハ、大藏省ノ不動產評價委員會ノ評價ガドウ程度ニナルカ、ソレガ非常ニ低カツタ場合ニハ、物納ヲ致シマスト非常ナ損ニナル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ノ下ニ、或程度財産ヲ處分セラレツ、アル傾向ガ見エルノデゴザイマス、サウ云フ點ヲ勘案致シマシテ、又家屋ノ課稅價格ハ幾ラニ決ルカ分リマセヌカラ、兎ニ角相當財産納付ノ爲ニ財産ノ處分ガ行ハレツツアル等ヲ想像致シマシテ、斯ク見込

ンダ次第デゴザイマス

○板谷順助君 恐ラクハ、アナタノ見込ハ私ハ外レルト思ヒマス、兎ニ角一萬五千圓ノ生活費トシテ第一封鎖ニ政府ガ認メテ居ル此ノ金ハ、何ト云ツテモ放ス譯ニハ行カナイ、之ヲ納メロト云ツタラ明日カラ食フコトガ出來ナ

イ、サウ云フ問題ガ起ルノデアリマスカラ、第一封鎖ノ預金此ノ納稅ニ充テルト云フコトハ私ハ無理ダと思フ、從ツテ結局物納ト云フコトニナル、物納ト云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ點ニ付、サツキ株式ノ問題ガアリマシタノデ、恐ラクハ三月二日ニハボロ株價値ノナイヤウナ株モ、是ハ屆ケ

ケタ者ガアルト思フ、又其ノ後ニ於テ株價ガ大變動ガアツタト云フコトハア

ナタモ御承知ノ通り、補償切リ、其ノ他ノ關係ニ於キマシテ、先程ノ御答辯ガ私ハハツキリシナカツタノデアリ

マスルガ、要スルニ調査時期ト云フコトガ此ノ注文ニアリマスル以上ハ、調査時期ニ於テ其ノ株價ガ幾ラノ値ガアルカト云フコトノ御計算ニナルノガ當然デナイカト思フノデスガ、如何デスカ、ドウ御考ヘニナツテ居リマスカ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、唯議院命令ニ依リマシテ、政府ガ交付シタ公債ハ是ハ三月三日ノ財産ガ公債ニ變ツタノデゴザイマスカラ、是ハ認メテ行キタイと思ヒマスガ、一般市場デ御買ニナリマシタ公債ハ、財産稅ノ物納ニハ充テナイト云フヤウニ致シタイと思フテ居リマス

○板谷順助君 第二封鎖預金ハドウ云フ順序ニナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 第二封鎖預金ハ別個ニ第二封鎖預金ニ課稅ニナリ

マス分ヲ、第二封鎖預金カラ納メル、即チ第二封鎖預金ガ五十萬圓ゴザイマス

ト、其ノ五十萬圓ヲ上積ミニ致シマシテ、課稅金額三十萬圓ト云フ時ニハ五十萬圓ノ中カラ三十萬圓ノ小切手ヲ切リマシテ納稅ニ充テル、外ノ財産トハ別個ニ取扱ヒタイと思フテ居リマス

○板谷順助君 只今ノ御説明ニ依ルト、先ヅ第一ニ現金、第一封鎖預金デ九十億圓ヲ豫定サレテ居ルヤウデアリマスガ、御承知ノ通り第一封鎖一萬五千圓ト云フモノハ、生活費ノ意味ニ於テ

是ハモウ別ニナツテ居ル、後ハ第二封鎖ニナツテ居ル、ソレカラ又現金ト言ヒマシテモ、三月三日以後新圓ヲ持ツテ居ル者ハ、恐ラクハ十萬圓以上ノ財産ヲ持ツテ居ル人々ニハ、サウ大シタ現金所有ノ方ハナイと思フ、所謂新圓ヲ現在持ツテ居ルノハ農民、漁民或ハ商人、是ガ大體デス、又貸金係給者ノ人達モ、恐ラクハ十萬圓以下ノ納稅者デアルトスレバ、大體此ノ九十二億ヲ豫定サレタノハ、ドウ云フ御見送シテ豫定サレタノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 現金、第一封鎖預金ニ付キマシテノ收入見込ガ、度々申シマシタヤウニ本當ニ「ラフ」ヲ見込アリマシテ、私ノ見込ガ非常ニ遠フコト云フモアルカモ知レマセヌガ、私ハ大體其ノ位ハ入ツテ來ルコト云フコトヲ期待シテ居リマス、次ニ株價ノ評價ヲ三月三日ニスルノガ當然デナイカト云フ御話デゴザイマスガ、誠ニ御尤モナ御議論デゴザイマスルガ

然トハ言ヒマセヌ
○板谷順助君 三月三日ニスルノガ當然トハ言ヒマセヌ
○政府委員(池田勇人君) 其ノ原則ニ從フノガ宜イノデヤナイカ
○板谷順助君 イヤ、三月三日ニ總テノ所有株ヲ屆ケテ居ルデセウ、處ガ唯表面ヲ見レバ、所謂拂込五十圓、或ハ百圓ト云フ株ナンダ、ソレガ中ニボロ株モアリ、値ノナイ株モ政府ハ屆ケロト云フノデアルカラ、恐ラクハ納稅者ハ全部屆ケテ居ルと思フ、ダカラ此ノ株價ノ評價ニスルニ付テハ、今私ガ申シタ通り、法文ニ調査時期ト云フコトノ明文ガアリマス以上ハ、調査時期ニ於テノ實際ノ其ノ株價ヲ斟酌スルコトガ當然デナイカ、斯ウ云フ意味ノ質問ヲシテ居ルノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 此ノ株價ノ評價ニ付キマシテハ、三十條ノ第三項ニ規定ヲ致シテアリマス、正確ヲ期スル爲ニ讓シテ見マス、株式その他ノ出資ノ價額ハ、命令の定めるところにより、その取引價額、當該法人ノ資産及び收益ノ狀況、類似の他の法人ノ株式その他ノ出資ノ取引價額等を參照して定めたものによる。ト、斯ウ規定致シマシテ、調査時期トハ言ツテ居リマセヌ、而シテ此ノ「命令の定めるところにより、」ト申シマスノハ、是ハ大藏大臣ノ指定シタ期間ト云フコトニ致シテ居リマス、何故ソノナニ書イタカト申シマスルト、三月三日カラ餘程期間ガ離レテ居リマス、又其ノ間ニ事需補償打切り、其ノ他一聯ノ非常ニヒドイ施策ガ執ラレマシタ爲ニ、却テ其ノ施策後ノ狀況ニ依ツテ決メタ方ガ適當デアル、所謂納稅者ガ其ノ方ガ實際ニ即シ、納稅シ易イダラウト云フ考デ、斯ク株式ニ付キマシテ、調査時期ニ依ラナイコトニ致シタノデゴザイマス

○板谷順助君 大藏大臣ノ命令ニ依ツテ定メタ時期ト云フノガ何時デアルカ分ラヌガ、恐ラクハ私ハ今申上ゲマスル通り、三分ノ二以上ハ物納ダト思フ、又物納スル人ハ延納ヲ希望サレテ居ルト思フガ、併シ尙一割ノ利子ヲ附ケラレルノデ、斯ウ云フ馬鹿ゲタ利子ガアルベキ筋ノモノデナイと思フガ、ソレハ兎ニ角トシテ、此ノ命令ニ依リマスト云フト、延納シタ場合ニ於テハ、稅務局長ニ於テ確實ト認メタル有價證券、斯ウ云フ文字ガアル、確實ト認メタモノ、サウスルト、反對ニ考ヘルト云フト、稅務局長ガ認メナイ所ノ株ハ價ガナイ、或ハ中ニハマル切り値打ノナイモノモアルダラウシ、半額ノモノモアルダラウ、サウスルト云フト、稅務局長ガ確實ノ株デナイト云フ場合ニ於テ、株價ノ評價ガ其處ニ問題ニナル譯デアリマスガ、是ハドウ御考ニナツテ居リマスカ

○政府委員(池田勇人君) 其ノ株ニ付キマシテハ、確實ナリヤ否ヤ云フコトハ、一應財産稅ノ課稅ノ對象ニナツタ價格ノ程度ハ確實ナモノト見ルベキダト、斯ウ考ヘテ居リマス
○板谷順助君 其ノ株價ヲ決メルニ付テハ、財産評價委員會ト云フモノ

ガアルノデスガ、之ニ御掛ケニナリマスカ、是ハドレ諸機關デアリマスケモ、詰リ何デスカ、期間ニ依ツテ定メルコトニナルノデスカ、稅務局長ガ唯單ニ世間ノ事情モ分ラズシテ、此ノ株ハ是ダケノ價ト云フヤウナコトニナツタラ、非常ニ茲ニ危險ガ起ルノデアリマスガソレハドウ御考ニナツテ居リマスカ

○政府委員(池田勇人君) 株價ノ評價ニ付キマシテハ、慎重ヲ期シマシテ、大藏省ト財務局ニ株價評價委員會ヲ設ケマシテ、サウシテ定メテ行キタイ、サウシテ其ノ評價ニ當リマシテハ、民間ノ精通者ノ意見ヲ十分御聽キスル考デ居リマス
○板谷順助君 サウスルト大體審査委員會ト云フモノガ重大ナ役割ニナルコトデアリマスガ、矢張り其ノ經驗ヲ有スル者ト云フヤウナコトノ、茲ニ命令事項ノ規定ガアリマスガ、一體ドシナ風ニ構成デオヤリニナルト云フ、大體何カ腹案ガアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 只今ノ處大藏省ニ置キマスル株價評價委員會ニ付キマシテハ、是ハ資本金一千萬圓以上ノ會社ヲ大藏省デ決メタイ、而シテ其ノ場合ニ於キマシテハ、貴族兩院ノ方々、或ハ會社ニ關係シテ居ラレル方々、或ハ事業ニ精通サレタ方々、又取引ノ狀況等ニ通曉シテ居ラレル方々ニオイデラ願ヒタイと思ヒマス、又財務局ニ置キマスモノハ一千萬圓未滿ノ會社ノ株價ノ評定デゴザイマス、是ハ勿論株式會社ト本店所在地ノ財務局デ決メルノデゴザイマスガ、東京、大阪ガ殆ド大多數ヲ占メテ居リマス關係上、東京、大阪ニ付キマシテハ、只今申上ゲタヤウナ方法デ行キ、地方ノ財務局

ニ參リマス、是ハ只今申上ゲタ程度ノ方ガ、取引員ケンカモサウ居ナイ所デゴザイマスノデ、或程度構成ガ違ツテ參ルト思ヒマスルガ、飽ク迄是ハ、地方ノ實際經濟面ノ御分リニナル方、勿論貴族兩院ノ方モ御入り願フヤウニ相成ルト思ツテ居リマス
○板谷順助君 マア兎ニ角不動產ナリ、或ハ有價證券ノ評價ト云フコトハ、是ハ重大ナ問題デアリマシテ、餘程慎重ニ御取扱ニナラヌト云フト、恐ラクハ殆ド苦情百出デ、ナカノ納ラヌト思フノデアリマスガ、マア十分一ツ御注意ヲ願ヒタイ、其ノ次ニ伺ヒタイコトハ第二條ニ、財産稅ハ命令デ定メル外國人ニハ此ノ稅ヲ課サナイ、其ノ命令ナルモノハ、世界聯合ニ加入スル外國人トスルコト思ヒマスガ、サウスルト云フト朝鮮人ハ或ハ臺灣人ノ如キハ、聯合國ニ加入シテ居ラナイ臺灣ハドウカ分リマセヌガ、之ニ對シテ現在御承知ノ通り國內ニ於テ彼等ハ非常ナ財産ヲ持ツテ居ル、是ハドウ云フ風ナ御取扱ヲナサルノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ通りニ、世界聯合ニ加入シテ居リマス外國人ニハ課稅致シマセヌ、朝鮮人ニハ課稅致シマス、臺灣人ニ付キマシテモ、只今ノ折衝ノ結果デハ課稅致スコトニ致シテ居リマス、サウシテ是等ノ者ハ矢張り三月三日ニ財産ヲ申告致シテ居リマスルカラ、此ノ申告ニ依ツテ課稅シテ行キタイと思ツテ居リマス
○板谷順助君 尙序ニ伺ヒマスガ、中國人ガ東京ニ於テ支那料理屋ヤツテ、月ニ三百萬圓以上ノ商ヒヲシテ居ルト云フ例ガアリマス、是ハ無稅ダト云フ御話デスガ、其ノ通りデスカ
○政府委員(池田勇人君) 中國人ニ付

キマシテモ所得稅故ニ物品稅、遊興飲食稅ハ課稅スル建前ニナツテ居リマス、ソレハ先般聯合國司令部カラ確認セラレテ居リマス、原則ハ課稅スルノデゴザイマスガ、今チヨット、或稅ニ付キマシテ向フガ困ル、斯ウ云フノ折衝中デゴザイマスガ、孰レニ致シマシテモ、課稅スルコトハ理論上モ當然デゴザイマシテ、課稅スベク努力致シテ居リマス

○板谷順助君 先方ガ困ルカラト云ツテ、非常ナ暴利ヲ貪ツテ居ルノ、ソレヲドウモ、ドウ云フ事情ガアルカ分リマセヌガ、如何ニ收斂國ト雖モ、モツト強ク出テ、徵ルモノハオ徵リニナツタラドウデスカ、次ニ伺ヒタイノハ第七條第三十二條ノ關係ガ明カデアリマセヌガ、之ヲモウ一遍御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス、ト云フノハ第七條ニハ、「調査時期において現に存在した郵便年金契約で、その時まで」云々、「契約者がその契約に關する權利の全部を有してゐたものとみなして」ト云フコトガ書イテアル、三十二條ニハ、郵便年金或ハ生命保險契約デ、「その時迄にまだ保險事故が發生してゐなかつたもの」に關する權利の價額は、調査時期までに拂ひ込まれた掛金又は保險料の合計額に、命令で定める割合を乗じて算出した金額による。ト云フヤウニナツテ居ルノデスガ、例ヘバ一例ヲ申上ゲマスルト、兎ニ角三月二日ノ時期ニ三萬圓ノ保險ヲ掛ケテ居ツタ場合ニ於テ、三萬圓ノ届出ヲシテ居ル、處ガ、保險ノ年限ガマダ長イ關係カラ、今後受取ル場合ニ於テハ、保險協會ノ話デハ恐ラク三割位ハ引カレララウ、ソレカラ又三月二日以後ニ於キマシテ、三萬圓ヲ契約シタ者ガ途中デ解

七

約シタ場合ニ於キマシテハ、殆ど半分モ取レナイ、斯ウ云フ問題ガアルノデスガ、是ハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 此ノ七條ハ保險契約ノ場合ニ、誰ノ財産カ、斯ウ云フコトヲ決メルノガ第七條デゴザイマス、斯カル場合ニ、其ノ評價ヲドウスルカト云フノガ三十二條ノ規定デゴザイマス、保險契約ハ三萬圓デゴザイマシテモ拂込濟保險料ガ、例ヘバ一萬二千圓ト云フ場合ニ於キマシテハ、拂込濟ノ保險料ノ六掛ヲ財産價額トシテ計算スルノデゴザイマス

○片岡直方君 議事進行ノコトデ質問シテ宜シウゴザイマス

○委員長(三土忠造君) ドウゾ

○片岡直方君 先程私、質問ヲ留保シテ居リマス件ニ付キマシテ、幣原國務大臣ノ御出席ヲ要求スルノデアリマスガ、委員長ニ於テ御取計ヒラシテ戴キタイと思ヒマス

○板谷順助君 次ニ伺ヒタイノハ、第二十五條ニ「土地又は家屋の價額は、その貨價價格に一定の倍數を乘じて算出した金額による。」ト云フコトガアリマスガ、此ノ一定ノ倍數ト云フノハ、何カ基準ガアリマスカ、次ニ土地ノ權利金、即チ借地權ノ價格モソレト同様ニ一定ノ倍數ヲ乘ジテ算出シタ金額ニ依ル、例ヘバ一例ヲ申上ゲマス、東京都ノ銀座方面ニ於キマシテ權利金ヲ一坪一萬圓乃至ソレ以上モ取ツテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマス、斯ウ云フモノハドウ云フヤウナ算出ヲナサル御考ヘデスカ、一定ノ所謂倍數ニ依ツテト云フ、其ノ基準ハ何處ニアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 其ノ一定ノ倍數トハ、次ノ二十六條ニ掲ゲテアリマス、即チ「前條第一項の一定の倍數は、命令で定める區域ごとに、斯ウ申シマスノハ、勅令案ノ要綱ニ規定致シテ居リマスガ、東京都デハ區、市制施行地、郡、市單位ニ決メタイと思ヒマス、」前條第一項の一定の倍數は、命令で定める區域ごとに、その區域内において標準となるべき土地又は家屋について、取引價額を參照して、政府において算定する價額の、その調査時期における貨價價格、是ハ法定貨價價格デゴザイマス、此ノ貨價價格ニ對スル倍數ヲ言ツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ全國各土地ニ付キマシテハ、法定ノ貨價價格ガゴザイマス、サウシテ一定區域ノ標準ナルベキ土地ニ付キマシテ、時價ガドウ位シテ居ルカト云フ時ニ、其ノ法定貨價價格ニ對スル時價ノ倍數ヲ決メテ、サウシテ其ノ倍數ノ狀況ノ類似シテ居ル土地ニ對シマシテ乘ジテ價額ヲ算定スル、斯ウ云フ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、御話ノ最近銀座邊デ、通りニ面シタ所ハ非常ニ高イ地代ナンカ拂ハサレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、大キイ面積ノ筆ノ中デ、極ク一部分ヲ使ツテ居ルト云フ場合ノ評價ハ、ナカノ困難ト思ヒマス、臨時的ニサウ云フヤウナ高價ヲ呼ンデ居ル價格ニ直グ因ハレテ行クト云フコトモ如何カと思ヒマス

○板谷順助君 併シ是ハ不公平ノナイヤウニ御取扱ニナラスト、東京都ノ繁華地方面ニ於キマシテハ、無法ナ所謂權利金ヲ取ツテ居ルカラ、是等ニ對シテハ實情ニ即シテ矢張り課稅ササル方ガ私ハ宜イと思フ、唯一定ノ倍數ト云ツテ見タ處ガ、之ヲ見テモ能クハツキリシマセスカラ、今御尋ネシタ譯デアリマス、ソレカラ物納シタ場合ニ於ケル土地家屋ノ處分ニ付アハ、屢々他ノ委員カラモ御質問ニナツタデアリマスガ、私ハ或ハ三年、五年掛ルト云フヤウナ御見込デアラナラバ、寧ろ勸業銀行アタリ二年賦デ以テ金ヲ借りテ政府ニ納メル、或ルベク戰爭前カラ持ツテ居ツタ家屋ハ、其ノ所有者ガ所有シ得ルヤウナ方法ヲ御執リニナルノガ當然デヤナイカと思フ、ソレニ付アハ今申上ゲルヤウニ、是ハ或ハ競賣ニ附ストカ、或ハ色々ナ問題ガ起リマシテモ、又住ンデ居ル家屋ヲ明ケ渡シスルト言ツテモ、是ハナカノ出来ハシマセモ、三年モ五年モ、今斯ウ云フ時代ニナリマシタカラ、其ノ儘私ハ皆居ルダラウト思フ、其ノ處分ナンカ出来ヤシナイ、出来ヤシナイカラ、例ヘバ株ニ致シマシテモ、不動産ニ致シマシテモ、勸業銀行アタリ二年賦銷却ヲスル、斯ウ云フ途ヲ矢張り御開キニナルノガ當然デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、御意見如何デゴザイマセウ

○政府委員(池田勇人君) 個々ノ場合ニ付キマシテハ、サウ云フ風ナ方法デ行ツタ方ガ、政府モ納稅者ノ方ニモ利益デアリ、便利デアル場合ハ多カラウト思ヒマス、斯カル場合ニ付キマシテハ、勸銀其ノ他ノ銀行カラ年賦借リ入レテ納メテ戴ク、斯ウ云フ方法ニナル場合モ相當アルと思ヒマス

○板谷順助君 斯ウ云フ方法ニナル場合モアルト云フコトデナク、進ンデ、矢張りサウ云フ方法ヲ御執リニナツタラドウカト思フ、ソレハ要スルニ大藏省ノ御考デ以テ、勸業銀行方面ニ積極的ニ之ニ對スル所ノ融資ヲヤレト云フ

○板谷順助君 先程來、政府委員ノ主稅局長ニ質問致シタデアリマス、所謂稅本位ニ國民カラ出来ルダケ稅ヲ徴リタイ、又世間ノ狀態ガ如何ナル變化ニナツテ居ルカト云フコトニ付テモ、餘リドウモ失禮ナガラ深ク御注意ヲ拂ツテオイデニナラヌヤウニ感ゼラレル、

○政府委員(池田勇人君) 船舶ノ評價ニ付キマシテハ、海運局致ニ業者ノ意見ヲ聽キマシテ、適當ニ決メタイと思ヒマス

○板谷順助君 厚生大臣デス

○委員長(三土忠造君) 厚生大臣デス

○板谷順助君 厚生大臣デス

○委員長(三土忠造君) ソレデハ、モウ時間ガアリマセスカラ、是デ休憩致シマス、午後一時カラ開會致シマス

午後一時五十三分休憩

午後一時四十一分開會

○委員長(三土忠造君) 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、板谷君、大藏大臣ニ...

○板谷順助君 先程來、政府委員ノ主稅局長ニ質問致シタデアリマス、所謂稅本位ニ國民カラ出来ルダケ稅ヲ徴リタイ、又世間ノ狀態ガ如何ナル變化ニナツテ居ルカト云フコトニ付テモ、餘リドウモ失禮ナガラ深ク御注意ヲ拂ツテオイデニナラヌヤウニ感ゼラレル、

ソコデ私ハ大藏大臣ニ質問セネバナラヌデアリマスガ、先ヅ第一ニ御尋ネシタイコトハ、今回ノ財産稅ノ徵リ方ニ付キマシテ、先程ノ御説明ニ依リマスト云フト、現金第一封鎖デ以テ九十億圓ノ豫定サレテ居ル、處ガ御承知ノ通り、二萬五千圓ハ第一封鎖ト申シマシテモ、アレハ農村漁村ハ相當ノ新圓ヲ持ツテ居リマスルカラ、新圓ニ依ツテ納メルコトハ出来ル、併シナガラ今日一般ノ財産家ト稱セラレテ居ルモノハ、新圓ノ獲得ト云フモノハ殆ド不可能デアリマス、或ハ事業ヲヤツテ居リマシテモ、株ノ配當ハナク、或程度赤字デアリマスル關係カラ、賃金、俸給其ノ他ノ支拂ト云フコトニ付テモ、是モ殆ド收支ガ其ノ方面ニ取ラレテ居ルノデアリマスルカラ、ナカノ其ノ點ハ私ハ困難ト思フノデアリマス、處デ此ノ點ニ付キマシテハ、恐ラクハ私ハ財産稅ノ納付、先程ノ御話ニ依レバ三月三日ノ公債、是ハ勿論認メル、其ノ後ニ買メタ所ノ公債ハ絕對ニ認メナイ、又第二封鎖預金ニ付キマシテモ、是モ今後如何ナル狀態ニナルカ分ラスト云フヤウナ有様デアリマスルカラ、定メシ今後ノ財産稅ノ納付ハ大部分ヲ物納ト見ネバナラス、物納ト見タ場合ニ於キマシテ、恐ラクハ延納ニナルモノガ私ハ多イト思フ、ソレガ爲ニ政府トシテハ成ルベク早く納メサセタイト云フ御考カラ、年一割ノ高利ノ利子ヲ附セルト云フヤウナコトニナツテ居リマスルケレドモ、併シナガラ例ヘバ利子ヲ納メルト云フコトニナツテモ延納ガ私ハ多イト思フノデアリマス、ソコデ問題ハ例ヘバ土地家屋ヲ物納ニ致シマシタ場合ニ於キマ

シテ、先づ第一先祖傳來多年ノ
間住居シタ家ヲ放スト云フコトハ
誠ニ心苦シイ、又空ケロト言ツテモ恐
ラクハ三年や五年ハ頑張ツテ空ケナイ
人々ガ多ク思フノデアリマス、ソコ
デ私ハ成ルベク現金其ノ他ニ依ツテ納
メサセタイト云フ政府ノ御意デアリ
マセウケレドモ、此ノ物納、所謂住宅
ニ對スル取扱ニ付キマシテハ、例ヘバ
勸業銀行其ノ他ノ銀行ヲ利用致シマシ
テ、低利資金ニ依ツテ之ヲ順調ニ納メ
得ルト云フ其ノ手段ヲ政府ガ積極的ニ
御採リニナルベキモノデハナイカト思
フノデアリマス、處ガ、先程主税局長
ノ御答辯デハ、或ハサウ云フヤウナ場
合モアリ得ルト云フヤウナ、極メテ簡
單ナ御答辯デアリマシタガ、大藏大臣
ト致シマシテハ、今日ノ世ノ中ノ變化
情勢ニ應ジテハ、之ヲ積極的ニサウ云フ
手段ヲ御執リニナルベキモノデヤナイ
カ、實ハ委員會ノ空氣ガ或程度迄但書
ヲ附ケテ修正シタラドウダト云フヤウ
ナ御意見モ相當ニアリマスルノデ、之
ニ對スル大臣ノ御答辯ヲ伺ヒタイと思
ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) ソレハ昨日
モ御答ヘシタヤウニ記憶シテ居リマス
ガ、無論御話ノヤウナ場合ガアルコト
ヲ想像シテ居リマスノデ、ソレハ豫ネ
豫ネ大藏省ノ中デ其ノ場合ニ勸業銀
行、其ノ他ノ信託會社ト云フモノノ利
用ヲ納稅者ニシテ貰フコト云フコトヲ研
究致シテ居リマス、積極的ニト云フコ
トガ、併シソレハ全ク已ムヲ得ナイ時
ノコトデアリマシテ、何デモ彼デモ貸
スト云フ、斯ウ云フコトモイカヌカト
思ヒマスガ、出來ルデハハツツサウ
デナイ方法デ納メテ行クノガ税ノ建前
カラ言ヒマシテモ、或ハ今後ノ「イン
フレ」問題ニ付キマシテモ、必要ダト
思ヒマスガ、住宅ノ如キハ確ニ御話ノ
ヤウナ困難ガアリマス、其ノ場合モ亦
十分ニ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 ソレハ大臣、委員會ノ
空氣ハ、アナタガ十分ニ御考ニナツテ
居ル、或ハ研究シテ居ルト云フ程度デ
ヤ、満足ヲ議員諸君ハ致シマセス、場
合ニ依ツテハ但書ヲ入レテ、サウシテ
所謂自分ノ先祖傳來ノ財産、或ハ自分
ノ住宅ヲ保護スル爲ニ、之ヲ積極的ニ
今申上ゲマスルヤウニ、場合ニ依ツテ
ハ但書ヲ入レルト云フ迄ノ空氣デアリ
マス、デアルカラ、今アナタガ研究ス
ルトカ、或ハ場合ニ依ツテハト云フヤ
ウナ御意見デハ満足致シマセス、若シ
サウ云フヤウナ御答辯デアルトスルト
云フト、或ハ此ノ委員會ニ於テ今申上
ゲルヤウニ、但書ヲ入レテ修正スルカ
モ知レマセス、モツトシツカリシタ御
言明ヲ願ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) イヤ、私ハ
相當シツカリシタ御返事ヲシテ居ル積
リナノデアリマス、唯具體的ニ、ソレ
デヤドウ云フ手段方法ト云フコトハモ
ウ少シ細カク研究シナケレバナリマセ
ヌカラ、ソコデ手續トカ何トカ云フモ
ノガ決ツテ居リマセヌカラ御答ガ出來
ナイノデアリマス、ソレハサウ云フ場
合ニハ、金融ノ方法ニ依ツテヤル積リ
ガアルト云フコトハ衆議院ニ於テモ、
サウ御答ヘシテ居ル譯デアリマス
○板谷順助君 他ノ委員諸君バドウ御
考ニナツテ居ルカ分リマセヌガ、兎ニ
モ角ニモ大臣ガ確カニヤルト云フ言明
デ満足ハ出來ルカドウカト云フコト
ハ、是ハ後日ノ問題ニ讓リマス、ソコ
デモウ一點伺ヒタイコトハ先程主税局
長ノ御答辯ニ依リマスト云フト、株價

ノ評價ニ付キマシテハ、三月三日ヲ基
準ニスルト云フ初メニ御話ガアツタ、
是ハ要スルニ今申シマスヤウニ、主税
局長トシテハ税ヲ徵ル本位デ御考ニナ
ツタコトト思フ、併シナガラ其ノ後ノ
更ニ御答辯ニ依ルト云フト、調査時期、
即チ所謂政府ニ於テ調査時期ニ於ケル
其ノ當時ノ評價ヲ斟酌スル、斯ウ云
フ御答辯ガアツタノデアリマスガ、三
月三日ノ政府ノ所謂有價證券ヲ届出
シタ場合ニ於キマシテハ、殆ドボロ株
同様デ、値打ノナイ、或ハ又其ノ後ニ
於ケル所ノ補償打切り、或ハ財産税ノ
徵收其ノ他ノ關係ニ於キマシテ、重大
ナ變化ガ今日來テ居ルノデアリマスル
ガ、此ノ點ニ付キマシテ、或ハ既ニ或
程度ノ御答辯ニナツテ居ルカモ知レマ
セヌガ、此ノ機會ニモウ一遍一ツ其ノ
方針ニ付テハツキ御答辯ヲ一ツ御願
ヒシタイと思ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ私カラ
モ、或ハ主税局長カラモ御答ヲ屢ニ申
上ゲテ居ルヤウニ存ジマス、基準ハ無
論三月三日デアリマスガ、併シ其ノ後
非常ニ變化シテ居リマスカラ、殊ニ私
共ガ始終今同ノ法案ニ付テハ心配シマシ
タコトハ、戰時補償特別措置ノ關係デ
アリマス、株價ト云フモノガ非常ナ變
化ヲ來シテ居ル譯デアリマス、其ノ點ハ
十分考慮シテ評價スル、斯ウ云フコ
トニナツテ居リマス
○板谷順助君 サウ致シマス、大體
政府ノ方針ハ分リマシタガ、今ノ不動
產ノ取扱ニ付キマシテハ、私ハ大臣ノ
言明デ満足ハ出來マセヌ、ガ併シ
他ノ委員諸君カラモ、又色々御意見モ
アルト思ヒマス、デ、私ハ大臣ニ對ス
ル質問ハ此ノ程度ニシテ
○片岡直方君 大藏大臣ニ御尋ネシタ

イノデアリマスガ、先刻主税局長ニ御
尋ネシマシタコトハ、此ノ財産税ノ目
的ガ奈邊ニアルカ、ソレノ御答辯ニ依
リマス、「インフレ」防止ト云フ意味
モ含マレテ居ルノデアル、私ハ色々御
話シシテ含マレテ居ルト言ウテモ、實
際ハ違ツテ居ルト思フ、ソレハ議論ダ
ツタノデ、私ハソレハ撤回致シマシ
タ、何時迄ヤツテモ切りガアリマセヌ
カラ、ソレデ、ソレナラバ此ノ理由書ニ
アリマス通り、財産税ノ終ヒニアリマ
ス通り、「緊要な國庫收入を確保する
とともに、富の均衡化」斯ウ云フヤウ
ニ書イテアルノダカラ、詰リ財産税ト
云フノハ富ノ再分配、歳入ノ不足填
補、斯ウ云フコトニ考ヘラレマスカド
ウカソレハ正ニ其ノ通りダ、斯ウ云フ
御答ガアリマシタ、ソコデソレニ關聯
シテ御尋ネシタイノデアリマス、サウ云
フ風ニナツテ參リマスルト、私が特ニ
御質問シタイコトハ、富ノ再分配ト云
フコトヲ考慮シテ居ラレト云フコト
ナラバ、特ニ是ハ重大ナコトデアリマ
スカラ、明確ニ御答ヲ願ヒタイノデア
リマスガ、將來我が國ニ於テハ貧富ノ
懸隔ト云フモノヲ絕對ニナクナスト云
フ根本的ノ御考ヘデアルノカドウカ、
ソレカラ經濟ノ民主化ト云フノハ、富
メル者ノ存在ヲ認メナイコトニナルノ
カドウカ、ソレカラ資本主義經濟ニ對
シテ、ドウ程度ノ社會主義理念ヲ織リ
込マウトスル考デアルノカ、此ノ點ハ
特ニ重大ナコトデアリマシテ、今日ノ
時代ニ於キマシテ、政府ノ御答辯ヲ拜
聽シテ居リマスルト、ドウモ明確ナ御
理想ガナイヤウニ思ヒマス、例ヘバ色
色物價ノ問題ヲ質問致シマシテモ、聞
値ト云フ間ト云フヤウナ風デ、何カ
斯ウ中間ヲ行ツテ居ルヤウナ風ニ聞エ

ルノデアリマスガ、現代ニ於キマシテ
ハ此ノ問題ハ特ニ重大デアリマスノ
デ、一ツ日本トシテ現在ノ政府トシテ
ハハツキリト明確ニ、資本主義デ行ク
ノカ、或ハ社會主義デ行クノカト云フコ
トノ明確ナ方針ヲ一ツ御示シテ願ハナ
イト、非常ニ今ノ時代ハ唯中間ヲ行ク
ノダ、兩方ヲ突キ合ハシテ行クノダト
云フコトデアハ、國民ハ納得シナイト思
フノデアリマス、モウ其處迄來テ居ル
ヤウニ私ハ考ヘマスノデ、之ヲ特ニ大
藏大臣ニ一ツ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイ
ノデアリマス、ソレカラ政府ハ、我が
國將來ノ經濟界並ニ國民生活ヲ、ドウ
云フ政治思想ノ下ニ指導シテ行クノカ
ト云フコトニ付テハ明確ナ御方針モ承
リタイ、ソレカラ又來國其ノ他ノ所謂
「デモクラシー」國家ト云フノハ、富ノ
偏在トカ不均衡ヲ是正スル爲ニドシナ
政策ヲ執ツテ居ルノカ、之ニ付テモ併
セテ明確ナ御答ヲ願ヒタイノデアリ
マス

○國務大臣(石橋湛山君) 社會ノ理想
トシテハ、貧富ノ懸隔ヲ成ルベクナク
スルト云フコトハ、是ハ理想的ナ社會
デアラウト思フノデアリマス、併シ是
ハ皆ヲ貧乏ニシヨウト云フノデアリマス、
ヲ大盡ニシヨウト云フノデアリマス、
是ハ日本ノ現狀ニ於テハ遺憾ナガラ、
國全體ノ經濟界ガ斯ウデアリマスカ
ラ、皆貧ニナツテシマフノデ困ルノデ
アリマスガ、皆貧デナク、皆富ニシナク
チヤイカス、是ハ理想デアリマス、是ハ
理想デアリマスカラ、今日明日ニ出來
ルト云フ譯デアリマセヌガ、ソレヲ目
標ニ進マナケレバナラヌト考ヘテ居リ
マス、ソレカラ資本主義ト社會主義ノ
問題ハ、ナカ／＼面倒デアリマスガ、現
在ノ政府ノ方針ハ、無論資本主義トス

ルノデアリマスガ、現代ニ於キマシテ
ハ此ノ問題ハ特ニ重大デアリマスノ
デ、一ツ日本トシテ現在ノ政府トシテ
ハハツキリト明確ニ、資本主義デ行ク
ノカ、或ハ社會主義デ行クノカト云フコ
トノ明確ナ方針ヲ一ツ御示シテ願ハナ
イト、非常ニ今ノ時代ハ唯中間ヲ行ク
ノダ、兩方ヲ突キ合ハシテ行クノダト
云フコトデアハ、國民ハ納得シナイト思
フノデアリマス、モウ其處迄來テ居ル
ヤウニ私ハ考ヘマスノデ、之ヲ特ニ大
藏大臣ニ一ツ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイ
ノデアリマス、ソレカラ政府ハ、我が
國將來ノ經濟界並ニ國民生活ヲ、ドウ
云フ政治思想ノ下ニ指導シテ行クノカ
ト云フコトニ付テハ明確ナ御方針モ承
リタイ、ソレカラ又來國其ノ他ノ所謂
「デモクラシー」國家ト云フノハ、富ノ
偏在トカ不均衡ヲ是正スル爲ニドシナ
政策ヲ執ツテ居ルノカ、之ニ付テモ併
セテ明確ナ御答ヲ願ヒタイノデアリ
マス

ガ、併シ參考トシテ御提出ニナリマシ
タ表ニ依リマスレバ、個人ノ財産總額
ハ四千三十二億圓ト見積ラレテ居リマ
ス、其ノ中十萬圓ヲ超エルモノハ千三
百五十一億圓ト云フ風ニ見積ラレテ居
リマシテ、サウシテ税額ハ四百三十五
億圓ノ收入ガアルト云フ風ニ御計算ニ
相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ總額
ハドウ云フ風ナ基礎ニ依ツテ御算出ニ
ナツタノデアリマスカ、先程申シマシ
タヤウニ、マダ住宅、土地等ニ付テ
モ、ドレ位ノ倍數ト云フコトモ分ラヌ
ト云フ御説明デアルニ拘ラズ、之ヲ御
算出ニナツテ居ルノデアリマスカラ、
恐ラクハ凡ソ賃貸價格ノ何十倍ト云フ
コトヲ標準ニシテ出サレタノデヤナイ
カト思フノデアリマス、先づ第一ニ此
ノ點ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(池田男入君) 大體最近ノ
經濟事情ヲ加味致シマシテ土地、建物
ニ付キマシテモ、各地方ニ依ツテ餘程
違ツテ居ルノデアリマスガ、只今ノ處
デハ、村落部ノ家屋ニ付キマシテハ、大
體一坪百六十圓程度、町制地ニ付キマ
シテハ、二百三、四十圓程度、市制施行
地ニ付キマシテハ三百五、六十圓程
度、斯ウ云フ風ナ全體ノ見方デ、一
應ノ計算ヲ致シテ居ルノデゴザイマ
ス、市制施行地モ只今申シマシタ數字
ハ、六大都市ヲ除イタモノデゴザイマ
シテ、六大都市ニ付キマシテハ大體是
ハ各地ニ依ツテ餘程違ツテ居リマスル
ガ、千圓位ノ見込デ一應計算致シマシ
タ、宅地ニ付キマシテモ其ノ地方々々
ニ依リマシテ、餘程倍數ハ變ツテ居リ
マス、東京都内デ申シマシテモ、例ヘ
バ昔カラ繁華デアツタ日本橋、京橋邊
ノ倍數ト、新市域即チ世田谷、杉並ノ
倍數トハ、賃貸價格ノ附ケ樣ガ、昭和

十一年ノ十年モ以前ノモノデゴザイマ
スノデ、餘程變ツテ來ルと思ヒマス、
又六大都市ノ中デモ、京都ト大阪トハ
餘程變ツテ來ルノデアリマスカラ、平
均的ニ何倍ト云フコトハ申上ゲ兼ネル
ノデゴザイマス、例ヘバ烟ニ致シマシ
テモ、黒田委員御承知ノ通りニ、烟ノ貨
賃價格ハ烟トシテ附ケテ居リマス、ソ
コ東京都内ニアリマス所謂三十五
區内ニアリマス烟モ、或ハ三多摩邊ノ
烟モ、烟トシテ利用價值デ貨賃價格
ハ出來テ居ルノデアリマスカラ、廣イ
意味ノ東京都内ノ烟ニ付キマシテモ、
或ハ百五十倍、二百倍モ時價カラ申シ
マスト附ケテ居ルバナラヌヤウナ烟モ
アルノデゴザイマス、是ハマア幸ニ烟
ハ農地調整法ノアレニ依リマシテ、一
律ニ決マリ得ルカラ、田畑ニ付テノ間
題ハゴザイマセヌガ、山林等ニ付キマシ
テハ、山林トシテノ利用價值見ル居
リマスノデ、住宅地ニナルヤウナ山林
ニ付キマシテハ、相當ノ倍數、例ヘバ
千倍位ノ倍數ヲ附ケテ居ルバナラヌ土
地モゴザイマス、又山間僻地ノ山林ニ
ナリマスト、五十倍トカ六十倍トカ云
フヤウナ倍數ニナルト思フノデゴザイ
マスガ、大體ノ基準ト致シマシテハ、
只今申上ゲマシタヤウナ全國ノ概算ヲ
總體的ニ見マシテ、少クモ評價ハ此
ノ位ニ行クノデハナイカト云フ達觀デ
決メタヤウナ次第デゴザイマス

○黒田英雄君 各地方ニ於キマシテ土
地、建物ノ貨賃價格ノ決メ方竝ニソレ
ノ倍數ノ違フコトハ御説明ノ通りデ
ラウト思ツテ、是ハ能ク承知シテ居リ
マスガ、此ノ數字ヲ出サレマシタ、起
算ノ根據ニサレタノガ何倍ニナツテ居
ルカト云フコトヲ實ハ伺ヒタカツタノ
デアリマス、然ラバソレヲ一々御話ニ

ナルノモドウカト思ヒマスノデ、御尋
ヲ變ヘマシテ、是ハ全國ヲ總メテ御算
出ニナツタノデアリマスカ、或ハ各稅
務署毎ニ、稅務署カラ凡ソ自分ノ管内
ニ是ダケアルト云フ風ニシテ、ソレヲ
財務局デ總メテ集計ナサツタモノデア
リマスカ、其ノ點ヲ先ツ

○政府委員(池田勇人君) 御答ヘ申上
ゲマスガ、各稅務署デ調査シテ數字ヲ
總メタノデハゴザイマセヌ、財務局デ
大體ノ意見、其ノ財務局管内ニ於ケル
村部ノ、例ヘバ住宅ハドノ程度カ、或
ハ町制地ハドウカ、市制施行地ハドウ
カ、斯ウ云フ意見ヲ聽キマシテ、サ
ウシテソレヲ集計シ、主稅局トシ
テノ達觀ヲ加ヘタ數字デゴザイマ
ス、デ個々ノ場合、即チ市、郡ニドウ
云フ倍數ヲ使フカト云フ問題ニ付
キマシテハ、今年ノ八月頃カラ調
査ニ取掛リマシテ、只今財務局ノ
擔當官ガ一局數名ツツ參リマシテ今月
ノ七日カラ審議ニ掛ツテ居リマス、ソ
レヲ審議致シマシテ大體大藏省ノ案ヲ
作リ、法律ニアリマスルヤウニ、各財
務局ノ不動産評價委員會ニ提出スル原
案ヲ作成シヨウ、斯ウ云フ段取りニナ
ツテ居リマス

ツテ此ノ今ノ見込ガ若シ輕キニ過ギテ
居ルモノデアルトシマスレバ、四百三
十五億圓以上ノモノガ自然ニ入ツテ來
ルコトニナリマスケレドモ、若シ其ノ
見積リガ過大デアツタトシマス、四
百三十五億圓ノ收入ヲ舉ゲマスルニ付
キマシテハ、ドウシテモ課稅價格ヲソ
レニ必要ナヤウニ引上ゲテ來ナケレ
バ、是ダケノ收入ガ入ラナイト云フ結
果ニ相成ツテ來ルと思フノデアリマス
ルガ、勿論大藏省トシテ各財務局ニ四
百三十五億圓ヲ割當テテ、是ダケノモ
ノヲ徴レト云フ風ナ御指圖ヲナサラナ
イコトハ、從來ノ大藏省ニ於テモサウ
云フコトハ決シテナカツタコトハ私ハ
承知致シテ居ルノデアリマスルガ、世
間デハサウ云フ疑モ持ツテ居ルヤウデ
アリマス、併シ今同ノ財產稅ハ初メテ
アルモノデアリ、又一時ノモノノデモア
ルノデアリマスルカラ、サウ云フ疑惑
ヲ持ツ人モ無理カラスコト思フノデ
アリマスルケレドモ、若シ此ノ見積リガ
今迄ノガ寬デアツタトスルナラバ、サ
ウ云フ結果ヲ起シハナイカト云フ心
配モ出テ來ルモノ無理カラスコト思
フノデアリマスルガ、其ノ點ハ大藏省
ト致シマシテハ、勿論サウ云フコトハ
ナク、實際ニ之ヲ適用スル上ニ於テ此
ノ算出ガ少シ大キニ失シタト云フ風ナ
結果ヲ來シタ場合ニ於テハ、此ノ稅收
入ハ減ジテモ差支ナイト云フ今御考ヘ
テアルノデゴザイマセウカ

○政府委員(池田勇人君) 四百三十五
億圓ノ收入ハ、動キマシテモ餘リ大差
ハナイト云フ確信ヲ持ツテ居リマス、
是ハ土地ニ付キマシテモ、或ハ家屋ニ
付キマシテモ、皆評價委員會デ決メマ
スモノデゴザイマスルカラ、四百三十
五億、所定ノ收入ガ足リナイカラ、大

藏省ガ割當テルトカ何ト云フコト
モ、是ハ實際的ニモ又理論的ニスベキ
モノデモゴザイマセヌ、又出來ナイ
ヤウニナツテ居ルノデアリマス、從ツ
テ各財產ニ付キマシテ私ガ一應見込シ
タ數字ハ、各種類ノ財產デハ高目ニナ
ツテ居ルモノ、低目ニナツテ居ルモノ
アルト思ヒマスルガ、大體ニ於キマシ
テハ見込ガ違ハナイト、斯ウ考ヘテ居
リマス、又見込ガ違ツタヤウナ場合ニ
付キマシテハ、是ハ人爲的ニ作爲スベ
キ筋合ノモノデハナイト思ツテ居リ
マス

○黒田英雄君 從來所得デアルトカ、
營業ノ收益デアルトカ云フモノハ、ド
ウチカト云ヘバ豫算ニ少ク見積ラレ
テ、其ノ收入ヲ多ク、所謂自然増收ガ起
ツテ來ルコトガ例デアツタヤウニ承知
致シテ居ルノデアリマスルガ、併シ今
同ノハ全ク新タナモノデアツテ、只今
御説明ノヤウニ、色々委員會モアルコ
トデアリシ、ソレデ決メラレルノデア
リマスルカラ、大藏省ノ此ノ御算出ニ
ナツテ居リマスル見込ガ、今主稅局長
ノ仰ツシヤルヤウニ極メテ正確ナモノ
デアレバ誠ニ仕合せト思フノデアリマ
ス、十分色々御研究ニナツテ御決メニ
ナツタモノデアリマスルカラ、大シタ間
違ハナイト思ヒマスルケレドモ、世間
デ心配致シマスルヤウニ、ドウシテモ
此ノ際稅收入ヲ上ゲルト云フ目標ヲ以
テ、色々課稅標準ノ上ニ無理ノナイヤ
ウニアルコト、私ハ切ニ御願スルモノ
デアリマス、此ノ點ハ先ツソレ位ニ
致シマシテ、モウ一ツ、極メテ簡單ナ
質問デアリマスルガ、稅法ノ第十六條
ノ第一號デアリマスルガ、債務ノ金額
トミナスモノガ掲ゲラレテ居ルノデア
リマスルガ、之ニ昭和二十一年度分ノ

色々ナ分類所得稅トカ、或ハ綜合所得
稅額ト云フモノガ債務ニ見ラレコト
ニナツテ居リマスガ、矢張り本年支拂
フベキモノデアツテ、第二封鎖カラ支
拂ツテモ宜イモノニナツテ居リマスル
家屋稅ナドハ債務ニ見ラレテ居リマセ
ヌヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ譯
デアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 茲ニ掲ゲテ
居リマス債務トシテ控除致シマスル租
稅ハ、前年ノ實績ニ依ツテ課稅致シマ
スル稅デゴザイマスノデ、之ヲ債務
金額トシテ控除スルコトニ致シ
マシタ、營業稅、地租、家屋稅
ハ、其ノ納付ニ當リマシテハ、
舊勘定預金カラ納付ガ出來マスルガ、
稅ノ性質ト致シマシテハ物稅デゴザイ
マシテ、實際ハ其ノ年ノ損金ニ計算ス
ルモノデゴザイマスルカラ、此ノ財產稅
カラハ建前上控除シナイノガ適當ダト
思ヒマシテ、前年ノ實績ニ依ツテ課稅
致シマス賦課稅ノ分類所得稅並ニ綜合
所得稅、臨時利得稅ニ限ツタ次第デゴ
ザイマス

ナイヤウデアリマスガ、第二封鎖預金カラ支拂ノト認メラレタ根拠ハ何處ニアルノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 今年一月カラ上ツテ居リマスル家賃、或ハ地代ガ第二封鎖ニナリ得ル場合モ考ヘラレマスノデ、第二封鎖預金カラノ支拂ヲ認メタ次第デゴザイマス

○黒田英雄君 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○委員(三土忠造君) 河西豊太郎君

○河西豊太郎君 第五十條ノ財産審査委員會ノ權限ニ付テチヨット承リタイト思ヒマス、是ハ申ス迄モナク勅令ニ依ツテ決定サレコトデアリマスルガ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ風ノ權限ヲ與ヘル構想デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、勿論勅令デアアルカラ今此處デハツキリシテ御答辯ガ出來ヌカモ知レマセヌ、少クモ構想ハオアリニナルト思ヒマス

○委員(三土忠造君) 財産審査委員會……

○河西豊太郎君 イヤ違ヒマシタ五十二條

○政府委員(池田勇人君) 今回ノ財産

税ハ、納税義務者ノ申告ニ依ツテ納税シテ數クハニ相成ツテ居リマス、其ノ申告ガ政府ノ調査ニ依リマスル課税價格ヨリモ違ツテ居ル場合、或ハ申告ガナイ場合ニ付キマシテハ、政府ハ財産調査會ニ諮問致シマシテ、決定スルコトガ出來ルコトニ相成ツテ居リマス、尙政府ノ決定致シマシタ金額ニ不服ガアリマシタ時、又ハ異議ガアル場合ニ於キマシテハ、審査ノ請求ヲ爲シ得ル規定ヲ設ケテ居ル、從ツテ此ノ審査會ヲ稅務署ノ上級官廳デアリマスル財務局ニ設ケマシテ、サウシテ稅務署

長ノ決定ニ對シマスル異議ノ申立ヲ審査致シ、稅務署長ノ決定ノ宜イカ惡イカヲ判斷スルコトニ致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ハ所得稅、營業稅、法人稅同ジヤウナ考ヘ方デ規定ヲ致シテ居リマス

○河西豊太郎君 委員會ノ構成ハドウナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 稅務署ニ財産調査會ト云フモノヲ置キマシテ、民間ノ學識經驗者ヲ調査委員ニナツテ數クコトニ致シテ居リマス、而シテ此ノ財産審査委員會ハ財務局ニ置クノデゴザイマスカラ、稅務署ノ財産調査會ノ委員ノ中カラ選任致シタイト考ヘテ居リマス、只今ノ所得稅等ノ審査委員會ニ於キマシテハ、各縣カラ一人ツツ出テ居ラレノデゴザイマスガ、今回ノ財産審査委員會ニ付キマシテハ、イマ少シク數ヲ殖ヤスノガ適當デハナイカト考ヘテ居リマス

○河西豊太郎君 次ニ御伺ヒタイト思ヒマスノハ、三十條ノ第三項、是モナカノ此ノ法律ハ文句ガムツカジイカラチヨット私共ニハウマク分リ難ネマスガ、株式その他ノ出資の價額は、命令の定めるところにより、その取引價額、當該法人の資産及び收益の狀況云々トアリマスルガ、是ハ文字ノアル通りニ解釋シテ宜イ譯デスカ、一應之ニ對スルチヨット御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 株式ノ評價ニ付キマシテハ、先程來御質問ガ度々アツタノデアリマスルガ、株式ノ所有ノ狀況ハ三月三日デ決メマス、併シ三月三日ノ株式ハドウ評價スルカト申シマスルト、此ノ三十條ノ第三項ノ只今御讀ミニナリマシタ規定ニ依ツテ決定致スノ

デゴザイマス、命令の定めるところによりト申シマス、是ハ本法案ガ通過致シマシテカラ後ノ或一定時ヲ押サヘタイト考ヘテ居リマス、戰時補償特別措置法、企業再建整備法ノ實施ニ依リマシテ餘程株價ハ動イテ來ル考ヘテ居リマス、且今回ノ一聯ノ施策ガ實行ニ移サレマシテカラ一定時ヲ提マヘマシテ、サウシテ其ノ取引價額、或ハ其ノ法人ノ資産及び收益ノ狀況、又其ノ法人ノ類似シテ居リマス他ノ法人ノ株式ノ取引價額等ヲ參酌シテ、政府ガ株式評價委員會ノ諮問ヲ經マシテ決定スルコトニ相成ツテ居リマス、尙「命令の定めるところにより」ト云フ此ノ内容ニハ、先般御話申上ゲマシタヤウニ、調査時期後、非常ニ價額ガ騰貴シテ居ルヤウナ株ガゴザイマス、其ノ場合ニ、今後ノ株價ニ依リマシテ、三月三日ノ株ノ價額ノ基準ニスルノデアリマスガ、偶々其ノ方ガ三月三日直後安ク株ヲ賣ツテシマハレタ、斯ウ云フヤウナ場合ニ付キマシテ、最近ノ狀況カラ、高イカラト云フノデソ決メテ行クコトガ困難アルト思ヒマスカ、其ノ場合ニ命令ノ定メル所ニ依ルト云フ規定ヲ使ヒマシテ、政府ガ評定シマシタ價額ヨリモ、ソレ以前ニ安ク賣ラレタ者ニハ、其ノ賣ラレタ價額ニ依ルト、斯ウ云フ規定デアアルノデアリマス

○河西豊太郎君 次ニ伺ヒマスノハ第六十四條、是ハ「政府がその報告に因つて課税價格を決定し又は更正したときは、政府は、命令の定めるところにより、その報告者に對し、課税價格の決定又は更正に因り、徴収することのできた税額の百分の二十五以下に相當する金額を」と、是ガ所謂通告制ト

云フモノト了解致シマスガ、今度新タニス様ノ簡條ヲ設ケタ理由、ドウ云フ理由ニ依ルカ、之ヲ御伺ヒタイト

○國務大臣(石橋山君) ソレハ私カラ御答ヘ申上ゲマセヌ、是ハ實ハ此ノ間モ申上ゲタカト思ヒマスガ、實ハ「アメリカ」ノ制度ニハ租稅ニ付テ極ク普通ニ採用サレテ居ルサウデアリマス、ソコデ「チャーレン」氏ガコツチニ來テ財産稅ヲ研究シ、其ノ後モ司令部側カラ色々此ノ財産稅ニ付テ「アドヴァイス」ヲシテ與レタ中ニ、矢張り此ノ一項ガアルノデアリマス、是ハ是非日本デモヤウタラ宜イ、殊ニ此ノ財産稅ト云フモノハ、斯ウ云フ項目ガナケレバ、ナカノウマク行クモノデナイト云フコトデ、ソコデコトデハ、殆ド今迄日本ニハ例ノナイコトデアリマスカ、色々大藏省トシテモ研究シ、内務省、司法省トモ研究シ、是ガ租稅ノ爲ニ良クテモ、他ニ惡イ影響ヲ及スコトガナイカト云フノデ、慎重ニ研究シマシタガ、結局此ノ程度ノコトハアツタ方ガ宜イト云フコトデ加ヘマシタ次第デアリマス、ト云フノハ、色々最近ノ隱匿物資ノ問題ニ付テモ分リマスガ、財産稅ニ付キマシテハ、又色々ノ「デマ」ヲ飛バヌ者ナドモ出テ來ルノデハナイカ、却テソレデ皆ガ迷惑ヲスルト云フコトガ起リハシナイカ、サウ云フ時ニ、斯様ニ公ニ法律ノ上デ以テ、何か疑ガアルナラバ、稅務署ニ通告シタラ宜イジヤナイカ、其ノ通告スル途ヲ開イテ居ルト云フ方ガ、却テ社會的ニサウ云フ好マシクナイ狀況ヲ防グ途ニモナルダラウ、斯ウ云フ點、ソレカラ、併シナガラ通告者ニ必ズ謝禮ヲ出スト云フコトハ、是ハドウモ日本ノ事情トシテハ不適當デアアル、「アメリカ」

ノ事情ヲ聞イテ見ルト、規定ハアルケレドモ、殆ド出シタ例ハナイト云フコトデアリマス、是ハ率直ナ話ヲ聞キマス、通告者ガ稅務署ニ通告スル場合ニ、イヤソシナコトハ疾クツテ稅務署ガ知ツテ居ル、オ前ガ通告ヲシテ呉レナクテモ、稅務署ハサウ云フコトヲ知ツテ居タト云フコトデ、事實ハ「アメリカ」ニハ禮ヲ出シタト云フ例ガナイサウデアリマス、ソレニシマシテモ報償金ヲ出スト云フコトハ日本トシテハ變ツタコトデアリマス、ソコデ是ハ出シ得ル、ソレカラ特ニ此ノ間主稅局長カラ申上ゲマシタヤウニ、全ク其ノ通告ノ爲ニ大變ナ效果ガアルト云フコトガ明白ナ場合ニハ、大藏大臣ノ考デ謝禮ヲ出シ得ル、併シ其ノ最高限ハ其ノ爲ニ増加シタ稅ノ二十五パーセント、金額ニスレバ十萬圓止リト云フコトデアレバ、禮ヲ出シテモ宜シイト云フコト止メテ置カウト、同時ニソレガ惡用サレテ詰ラナイ通告ヲヤルト云フコトヲ防グ爲ニ罰則ヲヤル、ソレカラ又之ニ口實ヲ藉リテ、人ノ所ヘ脅迫スルカ、或ハ押込シテ何か調ベスルカ言フモノハ、ソレハ現在ノ刑法デ取締リ得ルノデアリマス、ソレヲ嚴重ニ取締リタイ、斯ウ云フ理解ノ下ニ此ノ條項ヲ加ヘタノデアリマス

○河西豊太郎君 只今大臣ノ御説デ分リマシタガ、是ハ今御話ニ「アメリカ」ニハ此ノ制度ガアルガ餘リ用ヒタコトガナイト云フ、我が國ノ今日ノ現狀、殊ニ私が痛感致シマスノハ、今日ノ如キ現狀ニ於テ、若シ此ノ法律ガ實際ニ行ハレルト云フヤウナ場合ニ、固ヨリ財産ノ隱匿ヲシ、申告ヲシナイ、財産ガアツテモ申告ヲシナイ、サウ云フ惡イ人ヲ相當ノ處分ヲシ、之ヲ摘發スル

デゾイマス、命令の定めるところに「ト云フ」此ノ法律ハ文句ガムツカジイカラチヨット私共ニハウマク分リ難ネマスガ、株式その他ノ出資の價額は、命令の定めるところにより、その取引價額、當該法人の資産及び收益の狀況云々トアリマスルガ、是ハ文字ノアル通りニ解釋シテ宜イ譯デスカ、一應之ニ對スルチヨット御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 株式ノ評價ニ付キマシテハ、先程來御質問ガ度々アツタノデアリマスルガ、株式ノ所有ノ狀況ハ三月三日デ決メマス、併シ三月三日ノ株式ハドウ評價スルカト申シマスルト、此ノ三十條ノ第三項ノ只今御讀ミニナリマシタ規定ニ依ツテ決定致スノ

デゾイマス、命令の定めるところに「ト云フ」此ノ法律ハ文句ガムツカジイカラチヨット私共ニハウマク分リ難ネマスガ、株式その他ノ出資の價額は、命令の定めるところにより、その取引價額、當該法人の資産及び收益の狀況云々トアリマスルガ、是ハ文字ノアル通りニ解釋シテ宜イ譯デスカ、一應之ニ對スルチヨット御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 株式ノ評價ニ付キマシテハ、先程來御質問ガ度々アツタノデアリマスルガ、株式ノ所有ノ狀況ハ三月三日デ決メマス、併シ三月三日ノ株式ハドウ評價スルカト申シマスルト、此ノ三十條ノ第三項ノ只今御讀ミニナリマシタ規定ニ依ツテ決定致スノ

ト云フコトハ、是ハ當然ノコトデ、尤
モノコトデアリマスルガ、唯、是ガ實
際以上二用ヒラレル虞ガ多分ニアルノ
デヤナカ、今日ノ如キ場合ニ於テ社
會不安ヲ惹キ起ス云フヤウナ懸念モ
相當アルノデヤナカト云フコトヲ心
配スル一人デアリマス、何レハ之ヲ決
定サレルコトトハ存ジマスルガ、斯ウ
云フ法律ヲ實際ニ行フト云フヤウナ時
ニ於テハ、今大臣ノ御話ノ如ク十分價
重ニモ慎重ノ御取扱ヒニナツテ、混亂
ヲ招カヌヤウニ御願ヒシタイと思ヒマ
ス、尙ホ此ノ終ヒニ「又は不法の行為
に因リ知得た事實に基くものである
場合もまた同じ。」ト、是ハ今御話ノ罰
則ト思ヒマスガ、此ノ「不法の行為」ト
云フコトハドウ云フ程度ヲ指シマス
カ、是ハ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 通報シマシ
タ事實ガ不法行為ニ依ツテ知得シ得タ
場合、例ヘバ家宅侵入罪ニ問ハレルヤ
ウナ行為ヲ致シマシテ、サウシテ事實
ヲ知ツテ通告シタ、此ノ場合ニ付キマ
シテハ、家宅侵入罪トシテ罰セラル
コトハ勿論デアリマスガ、サウ云フ不
法ノ行為ニ依リマシテ課税價格ノ脱
漏、或ハ不申告ヲ通告シテモ、是ハ報
償金ヲ出サナイト、斯ウ云フ規定デゴ
ザイマス

○河内重太郎君 是モ政府委員ニ御伺
ヒシタイト思ヒマスガ、財産申告ノ場
合ニ於テ、書畫、骨董其ノヤウナモノ
ヲ申告致シマス場合、是ガ評價ハ勿論
評價委員ニ依ツテ評價サレルコトト存
ジマスルガ、其ノ選任ハドウ云フ風ノ
コトニナリマスルカ、申ス迄モナク物
品ニ依ツテ眞偽モアリ、ソレカラ又鑑
定ヲスル人トソレカラ評價ヲスル人ト

ハ自ラ異ナツテ居リマス、書畫ノ鑑定
ヲスル人ハ鑑定委員デスカ、ソレカラ
評價ヲスル人ハ評價委員、斯ウ云フ風
ニ分ケテ御取扱ヒニナリマスルカ、是ハ
ドウナルノデゴザイマスカ

○政府委員(池田勇人君) 書畫骨董物
ノ評價ハ非常ニ困難ナ問題デゴザイマ
シテ、只今研究致シテ居ルノデゴザイ
マスルガ、是ハ他ク迄申告納税主義ヲ
貫キマシテ、其ノ所有者カラ書畫骨董
ニ付キマシテ、出來レバ一品毎ニ所謂
品物ヲ屈ケテ載キタイ、ソレガ先祖代
代ノモノデアリマスルナラバ、取得價
額等モ分リマセス、自分ノ代ニナツテ
御買ヒニナリマシタヤウナ場合ニ付キ
マシテハ、買得價額ヲ申告シテ載クコ
トニナリマス、買得價額ノナイ祖先カ
ラノ傳來ノモノニ付キマシテハ、納税
義務者ガ大體是位ノモノダト云フ自分
デ評價ヲナスツテ申告シテ載キタイト
思ヒマス、唯自分ガ申告ヲスル場合
ニ、他ノ専門家ノ御意見ヲ納税義務者
ガ御聽キニナルコトハ是ハ適當デハナ
イカト思ヒマスルガ、専門家ニ致シマ
シテモ書畫骨董ノ價格ニ付キマシテ
ハ、確定的ノ値段ハ附ケニクイト思ヒ
マス、又稅務署ニ於キマシテモ、ナカナ
カ評價ハ實際問題トシテ出來ニクイト
云フ狀況デ、今非常ニ私モ困ツテ居ル
ノデアリマスルガ、申告納税ノ趣旨ヲ
徹底致シマシテ、納稅者カラ出來ルダ
ケ細カニ、自分ノ見積ツテ居ラレル價
額ヲ申告シテ載ク、稅務署ト致シマシ
テハ出來レバ一品毎ニ調査ハ致シタイ
ノデゴザイマススケレドモ、實際問題ト
シテナカ、其ノ域マデ行ク譯ニハ行
カナイト思ヒマスルカラ、大體ノ品目
ヲ皆達觀シテ、其ノ納稅義務者ノ申告
ガ妥當ナリヤ否ヤ、全體的ニ評價ヲ致

シタイト思フノデアリマス、是ハ土地
トカ何トカト違ヒマシテ、財産稅徵收後
ニサウ云フ書畫骨董ガドン値段取
引サレルカト云フコトハ、丁度今頃値
段ヲ定メルコトガ困難デアリ、ヨリ以
上ニ困難ナル問題デゴザイマス、從ヒ
マシテ私ハ骨董ノ評價ニ付テノ基本的
考ヘ方、又書畫骨董ノ所在ガドウ云フ
方面ニアリドウ云フ方ガドウ程度持ツ
テ居ラレルト云フ風ナコトヲ、出來ル
ダケ澤山ノ方ニ御聽キシタイと思
ヒマシテ、只今サウ云フ専門家ノ方ニ
自分自身デテヨイ、當リツ、アルノ
デゴザイマスルガ、今ノ骨董物ニ對ス
ル評價、又所在等ニ付キマシテハ適當
ナ機關ヲ非公式ニ設ケマシテ、今少シ
ク研究致シタイト思ヒマス

○河内重太郎君 元來財産稅ト云フ問
題ハ非常ニムツカシイ問題ダト思ヒマ
ス、先般來、委員諸君カラ御話ガアツ
タヤウニ、孰レヲ見テモナカ、困難
デ、殊ニ今細カニ書畫、骨董ノ如キハ
尙更ムツカシイ問題ダト思ヒマスガ、
是等ニ對シテハ慎重ニ御取扱ヒノ上デ
遺憾ノナイヤウニ御願ヒ致シタイと思
ヒマス、今政府委員ノ御話、誠ニ結構デ
アリマス、ドウカソレヲ十分ニ徹底ス
ルヤウニ致シテ載キタイト思ヒマス、
今一ツ伺ヒタイノハ二十五條ノ土地建
物ノ評價ノコトデアリマス、是ハ勿論
先般來各委員諸君カラ御質問ガアツテ
御答ニナツテ居リマスルガ、其ノ内細
カイ問題ノヤウデアリマスルガ、例ヘ
バ祖先傳來持ツテ居ル土地建物、ソレ
カラ最近ニ於テ、昨年トカ一昨年トカ
ニ買入レタ土地建物、是ハ評價スル上
ニ付テ何等カノ手心ト云フカ、何ト
言フカ、御取扱ヒニ異ナツタ點ヲ附
ケニナリマスルカ、ナリマセヌカ、其ノ

點ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(池田勇人君) 賃賃價格ニ
對スル一定ノ倍數ヲ定マルモノデゴザ
イマスルカラ、其ノ家屋ガ祖先傳來ノ
家屋デアリマセウモ、又最近ニ買入
レマシタ家屋、或ハ建築シタ家屋デア
リマシタモ、差別ヲ設ケマスルコトハ
技術的ニ不可能ガ伴ツテ參リマス、從
ツテ差別ハ設ケマセヌ

○河内重太郎君 私人宜シウゴザイ
マス
○慶松勝左衛門君 御伺ヒ致シタイ
ト思フコトハ、今迄各委員カラ御尋ニ
ナリマシタ條項ノ中デアリマスガ、併
シ質問ノ性質ヲ異ニスルト思ヒマスノ
デ、或ハ重複ニナル點ガアルカモ知レ
マセヌガ、政府委員カラ御答辯サツ
テ宜イヤウナ問題デアリマスガ、御伺
ヲ二、三シタイト思フノデアリマス、
先づ第一ハ二十五條ノ只今御話ニナツ
タ土地建物ノ届出デアリマスガ、是ハ
勿論御示シノ如ク、三月三日所有ノ
モノヲ届出ル、私ハ主トシテ移動シタ
財産ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス
ガ、三月三日以後假ニ家屋ガアツタモ
ノヲ賣ツタト致シマス、サウシマス
ト、御承知ノ如ク、登記所デ以テ賣買
價格ヲ認可シマシテ、ソレニ對シテ最
近、名前ハ忘レマシタガ、讓渡稅ト申
シマシタデスカ、隨分重大ナ課稅ヲ致
スコトニナツテ居ルノデアリマス、確
カ十萬圓ニ付テ三萬圓以上デスカ、其
ノ以上ハ五割ト云フヤウナ重大ナ讓渡
稅ガ課カルノデアリマス、ソレデ以テ
既ニ家屋ノ賣買ト云フモノニ對スル納
稅ノ義務ハ、財産稅ト同ジ位ノ程度ノ
重稅ヲ課セラレテ居ルモノデアリマス
ガ、第一ニ伺ヒタイノハ、重稅ヲ課セ
ラレタ其ノ稅ダケヲ引イタモノヲ尙財

產ノ一部トシテ届出ルト云フコトハ、
何ダカ私ハ二重課稅ヲ受ケルヤウナ氣
持ニナリマスガ、其ノ點ニ付テ一ツ局
長カラ御答辯願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ通り
ニ、不動産、船舶等ノ賣買ニ付キマシ
テハ、本議會デ協賛ヲ經マシテ、從來
臨時利得稅ニアリマシタ不動産ニ對ス
ル讓渡所得ヲ所得稅法ニ規定ヲ致シタ
ノデゴザイマス、而シテ讓渡利得ノ計
算ニ付キマシテハ、三月三日ノ財産稅
ノ評價基準ニナリマス價格ト、サウシ
テ其ノ後ニ御買リニナツタ價格トヲ比
較シマシテ、三月三日ノ價格ヨリモ高
ク賣ラレタ場合ニ付キマシテハ、五千
圓ノ控除ヲ致シマシテ、相當キツイ讓
渡利得ガ課カリマス、而シテ財産稅ノ
方ハ、三月三日ノ價格ヲ基準ニ致シマ
スノデ、二重課稅ニハナラナイノデゴ
ザイマス、三月三日ノ價格ト同ジ程度
デ御買リニナレバ、讓渡利得ハ課カリ
マセヌ、三月三日ノ價格以下デ以テ御
賣リニナレバ價格カラナイノハ當然デゴ
ザイマス、其ノ越エタ價格ガ五千圓ヲ
越エル場合ニモ課稅致スノデゴザイ
マスカラ、二重課稅ト云フコトニハ相
成ラヌト考ヘテ居リマス

○慶松勝左衛門君 其ノ三月三日以後
ニ賣リマシタ場合ニ、事實ハ登記所ニ
於テ賣買ノ價格ト云フモノヲ認可シマ
シテ、ソレニ依ツテ今御話ノ讓渡稅ト
云フモノハ決ルノデアリマスガ、其
ノ登記所ニ於テ決ツタ賣買價格
ト、ソレカラ此ノ二十五條ニア
ル所ノ賃賃價格ニ「エックス」ヲ
乗ジタ結リ認定價格ト申シマスカ、
ソレトノ相違ガアツタ場合、現ニ登記
所ガ認可シタ賣買價格ト云フモノハ既

第四部第三十一類 戰時補償特別措置法案特別委員會會議事速記第三號 昭和二十一年十月九日【貴族院】

一三

定ノ事實デスガ、ドチヲ以テ標準トシタラヤイノデアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 財産税ノ計算ニ付キマシテハ、此ノ法案ニ規定致シテ居リマス貸賃價格ニ御話「エックス」ヲ乗ジテ價格ニ依ルノデゴザイマス、登記所ノ價格ハ其ノ後ニ於キマス價格デゴザイマスカラ、財産税ノ課税ノ價格トハ關係ハゴザイマセヌ

○慶松勝左衛門君 其ノ問題ハ分リマシタガ、次ニ先程御伺ヒスルト、國債ハ、三月三日ニ届出タモノノ以外ハ、物納ニ對シテモ御取リニナラヌト云フコトデアリマスガ、其ノ理由ハ何處ニアルノデセウカ、均シク國債デアル以上ハ、三月三日以後ニ一ツノ賣買ノ形式ニ於テ國債ト云フモノハ相當ニ取引サレルモノト思ハレマス、或ハ國債ノ價格ノ上ニ付テ三月三日迄ナラバ、或ハ其ノ額面價格デアルトカ、或ハ賣渡價格デテヤレルカシ宜イガ、實際ノ市場ノ價值ガ非常ニ少クナツテ居ルカラ、サウ云フモノヲ持ツテ來テ値ノ高イ代價、物納ニスルノハイカヌカラ、國債ハ取ラヌト云フ御趣旨デアリマセウカ、然ラバ、若シコレナラバ、株式ト同ジヤウニ委員會ノヤウナモノデ國債ノ市場價值ヲ評定シテ、サウシテ物納ニ國債ト云フモノガナリ得ルト云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、何ガ故ニ三月三日ニ届出タ國債以外ハ物納ニハナラヌノデアリマセウカ、私共ノ考デハ立派ニ國債ハ市場性ガアリ、サウシテ市場デハ所謂無記名ノヤウナモノハ國債トシテ賣買サレテ居ル、ソレヲド云フ譯デ物納デ御取リニナラヌノデアリマセウカ、其ノ理論ガ私ニハ分ラナイノデス

○政府委員(池田勇人君) 財産税ノ物納ハ、課税ニナツタモノノ納メルノガ原則デゴザイマス、課税ニナツタモノノ以外ノ物デ納メルト云フコトニナリマス、評價ノ問題モ出デ参リマスノデ、凡ソ物納ハ相續税ニ於キマシテモ、課税ニナツタ財産カラ納メルノガ課税ノ原則デゴザイマス、其ノ外色々ナ御話ガゴザイマシタガ、私ハサウ云フコトハ末節ノコトデ、財産税ノ物納ハ課税ニナツタモノノ納メルト云フノガ原則ト考ヘマス

○慶松勝左衛門君 強ヒテ私等フノヂヤアリマセウカ、今ノ私ノ言フ國債ト雖モ、一應ハ全部課税ノ對象ニナツタモノデヤナイデセウカ、詰リ三月三日ニ全部政府ガ一應證券ヲ貼ツテ、悉クソレハ政府ニ届出タ價值ノアルモノガ、偶ハ甲ノ者カラ乙ノ者ノ手ニ移ツタト云フデケデアツテ、ソレガ政府デハ三月三日ノ詰リ届出ノ國債ト何等價値ハ變ラナイト思フノデスガ、其ノ點ニ付テ偶ハ甲カラ乙ニ移ツタ、又甲カラ乙ニ移ルト云フコトヲ政府ハ禁ジテ居ル譯デモ何デモナシニ、一般ニ例ヘバ先ニ申シタ家屋ノ賣買ノ場合デモ、紙幣ヲ受取ル代リニ國債ヲ受取ルト云フコトハ一般ノ國民ノ經濟觀念ニ於テ行ハレテ居ルコトダラウト思フ、ドウシテ三月三日ニ證券ヲ貼ツタ國債ガ何故本人デナケレバイケナイ、他ノ者ガ持ツテ居ルカラ取ラナイ、或意味ニ於テハ無價値……無價値トハ申シマセウカ、差別待遇ヲスルト云フコトハドウ云フ理論デアリマセウカ

○政府委員(池田勇人君) 三月三日ニ納税者ガ實際御持チニナツテ居ツタ財産ニ對シテ課税スルノデゴザイマス、從ツテ其ノ財産ニ課税スルヤウニナツ

タ財産税デゴザイマスカラ、其ノ時ノ財産デ納メテ戴クノガ原則デゴザイマス、從ツテ其ノ場合ニ現金デ持ツテ居ラレタ、ソレガ家屋買ツタト云フ時ニハ、後カラ買ツタ家屋物納ガ出來ルカト申シマス、是ハ物納ノ觀念ニハ入レテ居リマセヌ、サウ云フ場合ニハ其ノ家屋御買リニナツテ、現金デ納メテ貰フ、斯ウ云フ建前デゴザイマス

○慶松勝左衛門君 例ヘバ然ラバ書畫骨董ノヤウナモノデモ届出ハシテナイノデスガ、三月三日以前ニ所有シテ居ツタ物ト、三月三日以後ニ買得シタ物トノ區別ハ、唯申告者ガ自ら良心的ニヤルダケノ話ニナリマスノデスカ、ソレハ何等ノ證據モ何モナイ譯デスカ、伺ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 去ル三月三日ニ届出ラレタ財産ニ付キマシテハ、調査ガ出來テ居リマス、又届出ノナイ財産、即チ不動産等ニ付キマシテハ、土地家屋帳、家屋家帳デ三月三日ノ所有者ガ分リマス、御話ノ不動産殊ニ骨董品ニ付キマシテハ、三月三日現在ノ財産ナリヤ否ヤト云フコトハ分リマセヌ、是ハ飽ク迄納税者ノ申告ニ依リマシテ、其ノ時ニ御持チニナツテ居ツタカドウカト云フコトヲ見ルヨリ外ニハ仕方ガナイト思ヒマス

○慶松勝左衛門君 多少私意見ガアリマスガ、唯質問デスカ此ノ位ニシテ置キマシテ、モウ一ツ、最後ニ一ツ御尋ネシタモノハ、例ノ六十四條度々皆樣カラ御質問ノアル密告制度デアリマスガ、マア私自身ト致シマシテモ、意見ヲ申セバ、斯様ナ密告制度ハ我が國ノ善良ナル習慣ニ反スルコトト思ツガ、六十四條ノ分ノヲ見マスルト、

「納税義務があると認められる者が申告書を提出しなかつた事實又は課税價格に脱漏があると認められる事實を、政府に報告」スル、斯ウ云フ者ガ世ノ中ニ現レテ來ル時、斯ウ云フコトヲ假定シタノデアリマスガ、左様ナ者ガドウ云フ工合ニシテ現レテ來ルノデセウカ、是ガ我々ガ申告致シマス云フコトハ、我々ガ申告書ニ書イテ之ヲ適當ナル稅務署或ハ稅務監督局ヘ持ツテ行クト云フノデアリマシテ、是ハ公ニ私共ガ申告スル場合ニ貼出スモノデモナシ、皆ニ示スモノデモナシ、申告者ガ郵便カ何カデ以テ稅務署ヘ持ツテ行クモノデアリマス、其ノ途ニ於テ申告者トソレカラ其ノ當該官吏トノ外ニ、斯様ナドレダケ申告ヲシタカ或ハシナイトカ、課税價格ガドレダケ誰ガアルトカナイトカ云フコトハ、誰ガ見テモ分ラヌ管デアリマスガ、然ルニソレガドウシテサウ云フ事實ヲ「政府に報告」した者がある場合」ト云フコトヲ御假定ニナツタノデアリマスガ、ソレカラ其ノ次ニ、此ノ前項ノ規定ハ官吏又ハ待遇官吏デアツテハイケナイト書イテアル、官吏並ニ待遇官吏ハ此ノ事實ヲ知り得ル機會ガアリマスガ、他人ニテハ斯クノ如キ事實ヲ知り得ル機會ガ如何ナル場合ニアリマセウカ、御伺ヒ致シタイ

○政府委員(池田勇人君) 今回ハ六十二條ノ規定ニ依リマシテ、納税者ノ申告ガアリマシタ場合ニハ、「申告期限後四箇月以内に、申告書の記載に従ひ、氏名、課税價格、税額並びにその財産及び債務に關する事項を公告する。」コトニ致シテ居リマス、此ノ公告ガアリマスシ、一般人ハ又六十三條ノ規定ニ依リマシテ、其ノ稅務署ノ帳簿

書類ニ付キマシテ閲覧、申出デ閲覧スル機會ヲ拵ヘテゴザイマス、併シ第六十四條第二項ノ規定ニ付キマシテハ、官吏ヤ待遇官吏ハ、是ハ稅務官吏モ含マレテ居ルノデゴザイマスガ、サウ云フ者ガヤツタ場合ニハ報償金ヲ出サナイ、斯ウ云フ規定ナンデゴザイマス

○慶松勝左衛門君 私ノ解釋シタコトガ、ソレハ私ノ解釋ハ誤リデアリマスガ、六十三條ノ納稅義務者ガ提出シタ申告書トカ、更正トカ、決定トカ、修正ニ關シテ閲覧スルト云フガ、是ハ其ノ自身デナイノデスカ、他人ガサウ云フコトヲヤルト云フ規定ナンデスカ、六十三條ハ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス

○慶松勝左衛門君 私質問ヲ終リマス

○委員長(三土忠造君) 今通告シタル方ハ大體濟ンダンデスガ、マダ片岡君ナド厚生大臣ヘノ御質問デスカ

○板谷順助君 イヤ、私ハ黒田君ノ質問ニ關聯スル質問デ

○委員長(三土忠造君) 片岡君ノハ

○片岡直方君 幣原國務大臣デアリマス

○委員長(三土忠造君) 財産税ニ對スル質問ハ、是迄デ通告ハ濟ンダンデスガ、委員外ノ方デ

○板谷順助君 マダ濟ミマセヌ

○子爵大河内輝雄君 私ノハマダ

○委員長(三土忠造君) チヨツト濟ンダ恰好ナルノデスガ、後デ大河内委員ガ何カアルノデス、一番終ヒニ

○板谷順助君 私ハ黒田君ノ質問ニ對シテ、マダ不徹底アルカラ、委員長ニ通告シテアリマス

○委員長(三土忠造君) ソレデヤ板谷君、ソレカラ大河内委員ニ行キマス

○慶松勝左衛門君 左様デゴザイマス

○委員長(三土忠造君) 今通告シタル方ハ大體濟ンダンデスガ、マダ片岡君ナド厚生大臣ヘノ御質問デスカ

○板谷順助君 イヤ、私ハ黒田君ノ質問ニ關聯スル質問デ

○委員長(三土忠造君) 片岡君ノハ

○片岡直方君 幣原國務大臣デアリマス

○委員長(三土忠造君) 財産税ニ對スル質問ハ、是迄デ通告ハ濟ンダンデスガ、委員外ノ方デ

○板谷順助君 マダ濟ミマセヌ

○子爵大河内輝雄君 私ノハマダ

○委員長(三土忠造君) チヨツト濟ンダ恰好ナルノデスガ、後デ大河内委員ガ何カアルノデス、一番終ヒニ

○板谷順助君 私ハ黒田君ノ質問ニ對シテ、マダ不徹底アルカラ、委員長ニ通告シテアリマス

○委員長(三土忠造君) ソレデヤ板谷君、ソレカラ大河内委員ニ行キマス

○慶松勝左衛門君 左様デゴザイマス

○板谷順助君 壓、立ツテ相濟ミマセヌガ、先程黒田委員ノ質問ニ對シテ、財産稅ノ見積リガ四百三十五億、是ハ大體ニ於テ見込ガ違ハナイ積リダト云フ御答辯ガアツタノデアリマスガ、恐ラケハ之ヲ標準トシテ各管内ニ割當テラレルヤウナコトガ若シアリトスレバ、從ツテ苛斂誅求ガ起ルコトデナイカト思フノデアリマス、ソレデ東京都ニ於ケル大體ノ御説明ガ先程アリマシタガ、マダ私能クハハツキ致シマセヌノデ、東京都ニ於ケル土地家屋ハドウ云フヤウナ標準デ此ノ算定ヲナスツタカ、ソレヲモウ一遍御聽カセテ願ヒタイ

○政府委員(池田勇人君) 東京都ニ於キマシテモ各區々デゴザイマシテ、實際ノ倍數ハ土地ノ種類ト家屋ノ種類トニ依ツテ、或程度變ツテ來ルト思ヒマス、全體ノ家屋ニ付キマシテ平均賃賃格ハ、東京都ハ十六圓三十八錢ニ相成ツテ居リマス、從ヒマシテ之ニドレデケル倍數ヲ掛ケルカト云フコトハ、餘程ムツカシイ問題デゴザイマス、デ、個々ノ例デ申シマス、銀座邊ノ店ハ家屋ノノ造作ハ惡ウゴザイマシテモ、利用價值ガ非常ニ高イノデ、一坪當リ三、四十圓、或ハ四、五十圓ノ賃賃格ガ附イテ居リマス、又新市ノ方ニテリマス、相當ノ良イ住宅デゴザイマシテモ、賃賃格ハ十五、六圓位ニナツテ居リマス、マア非常ニ惡イ長屋ニ付キマシテハ、是ハ相當低イ賃賃格ガ附イテ居リマス、而シテ實際ノ倍數ハ、目拔ノ商ヒノ能ク利ク所ハ、昔カラ賃賃格ヲ相當強クテ行ツテ居リマスガ、先程申シマシタヤウエ、新市ノ方ハ餘リ強ク行ツテ居リマセヌ、斯ウ云フ場合ニ付キマシテ

ハ、其ノ倍數ヲ餘程變ヘテ行カケレバナラス、斯ウ思ツテ居リマスノデ、五十倍位カラハ、九十倍、或ハ所ニ依ツテハ百倍ト云フ倍數ヲ家屋ニ付テ使フヤウナコトガアルト思ヒマス、併シ其ノ倍數ハ飽ク迄土地家屋ノ所謂調査委員會デ公正ニ決メテ行キタイ、サウシテ又同ジ區デモ最高、最低、中庸、斯ウ云フヤウニ決メテ參リマシテ、サウシテ此ノ區域ハ最高ノ區域ヲ使ハス、此ノ區域ハ最低ノ區域ヲ使ハス、斯ウ云フ風ニ決メザルヲ得ナイト思フノデゴザイマス、土地ニ付キマシテモ同様デゴザイマシテ、實際ノ時價ガ非常ニ區々ニナツテ居リマスカラ、倍數ハ餘程違ツテ行ク、然ラバ東京ノ全體ノ倍數ハドノ位ニ見ルカ、斯ウ云フコトニナリマス、之ヲ見積リマス場合ニハドチラカト云フト、私ハ低目ニ行ツテ居ルンデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 實ハサツキ千圓ト仰シヤツタノガ、土地デアルカ家屋デアルカハツキリシナカツタノデアリマスガ、ツイ最近ニ魚籃坂通りノ電車通りデ、土地ガ三百二十圓デ出來テ居リマス、デアルカラシテ、現在ノ狀況デハ家屋ハ成程高イケレドモ、土地ハ高グナツテ居ラナイ、ダカラ此ノ點ハアタ方、餘程實際ニ就イテ御調査ニナツテ、苛斂誅求ニナラナイヤウニ一ツ能ク各方面ノ實情ヲ御調査願ヒタイ、而モ先程アタ方ハ公定價格ニ依ツテヤルト云フコトデアツタカラ、サウ云フ點ハ御配慮願ヒタイト思ヒマス、更ニ御願ヒシタイノハ、株ノ評價ノ問題デアリマス、株ノ評價ガ出來マシタ場合ニ於テ、色々株ヲ持ツテ居リマス、例ヘバ貴下ノ方デ調査ヲナサル、或ハ

審査委員會ニ於テ調査ヲシテ、其處ニ大體評價額ガ決ル、其ノ場合ニ於テ、ドノ株ヲ以テ納稅シテモ宜イカ、或ハ又評價委員會ニ於テ決ツタ株ハ、稅務署長ガ確認シタ株デナケレバイカヌト云フ命令事項ガアリマスガ、其ノ場合ニ於テハ評價委員會デ決ツタ株ハ、所謂稅務署長ガ確認シタル株ト看做シテ差支ナイカ、此ノ點一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 株ノ評價ニ付キマシテハ、先程來申上デマシタヤウニ、政府デ決メテ全部公告致シマス、全國各會社ノ株ヲ此ノ會社ハ舊株幾ラ、新株幾ラト公告スル、ソレニ依ツテ納稅者ガ物納ニ當アルコトガ出來ルノデアリマス、唯物納ニ當アル時ノ價格ハ、政府デ決メテ價格ニ依リマス、甲乙丙ノ株ノ中デラ先ツ取ルカト云フコトハ、納稅者ノ稅務署長ト協議シテ決メタイ、命令ニ於テハ、稅務署長之ヲ決定スルノナツテ居リマスガ、實際ハ納稅者ノ意見ヲ聽イテ稅務署長ガ決メルヤウニシタイト思ツテ居リマス

○板谷順助君 其處ガ問題デ、稅務署長ト協議スルト云ツテモ、ナカノ圓滑ニ行カドウカ分ラナイガ、要スルニ政府ト委員會ニ於テ決メテ評價ニ依ツテ、納稅者ガドノ株デモ構ハヌ、納メルト云フコトニ一ツ御了解ヲ得ンデ置キマセヌト、稅務署長ガ自分ノ考デ以テ、此ノ株ハイカヌ、是ハイカヌト云フコトニナルト、第一納稅者モ迷惑スルシ、又例ヘバ自分ガ會社ノ社長デアルトカ、或ハ役員デアルトカ、其ノ株ヲ放ス譯ニ行カヌト云フ場合モ起ルト思フ、ダカラ評價委員會ニ於テ決メタモノガ、所謂公定價格デアルトスレ

バ、其ノ選擇ハ納稅者ニ委セルト云フ方針ヲ御執リニナラス、色々私ハ問題ガ起キルト思フノデアリマス、署長ト協議シロト云ツテモ、署長ガソレハイカヌト言ヘバドウナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 政府デ決メマシタ株價ガ絕對ノ適正デアルコトヲ望ンデ居リマスガ、株價ト云フモノハ、市場ノ狀況ニ依リマシテ、其ノ後相當動クト思ヒマス、其ノ後ノ株價ノ動キニ依リマシテ、價段ノ違ツタモノヲ納稅者ハ納メタガデアリマセウ、又稅務署ハ價段ノ上ツタモノヲ取リタガデアリマセウ、ソコハ矢張り兩者協調デ行ツタ方ガ適當デナイカト考ヘテ居リマス

○板谷順助君 其ノ點ハ能ク御研究ニナツテ、民間ノ納稅者ノ不便ニナラスヤウナ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラサツキノ三月三日以後ノ公債ノ問題、是ハドウモ私ハ此處デ聽イテ居リマス、アタ方ノ御意見ガ少シ無理デヤナイカト思フ、課稅ノ對象ニナツタモノヲ以テ納メ、課稅ノ對象ニナツタモノヲ以テ納メ、ソレガ政府ノ方針ト云ハレバ、三月三日以後論物デハアリマセヌガ、三月三日以後ニ於ケル新タニ發行サレタ所ノ紙幣ガアル、之ヲ取ルト云フ、之ヲ取ルコトニナレバ、公債ハ從來ト雖モ、殆ド金同様ニ、何時デモ通貨ニ換ヘ得ルト云フ、政府ガ責任ヲ持ツテ、公債ノ信用ヲ維持シテ來テ居ル、ダカラ是ハ價格ノ査定如何ニ依ツテ、或ハ其ノ後ニ公債ヲ安ク買ツタモノモアル、納稅シヨウト云フヤウナ目的ニ於テ、是ハ、ダカラ價格ノ査定ハ適當ニ按配ナサツテモ課稅ノ對象ニナルモノ以外ハ納メチヤイカヌト云フコトハ、私ハ先程ノ質問應答ヲ聞イテ居リマス間ニ、アタ方

ノ意見ガ少シ弱イヤウニ思ツタガ、是ハドウデス、御取リニナツタラ

○國務大臣(石橋湛山君) ソレハ矢張り主稅局長ノ申ス方ガ宜イト思ヒマス、實際問題トシテ、色々國債ニ付テハ、御承知ノヤウニ、殘念ナガラ、價格ノ點デ好マシクナイ現象ガ起ツテ居リマス、サウカト云ツテ政府ガ其ノ價格デ國債ヲ取ルト云フコトハ、實際上政治的ニ出來マセヌ、通貨ノ方ハチャント如何ナル取引ニモ差引ナク受取ルト書イテアルカラ、問題ナイガ、國債ノ方ハサウ書イテナイカラ、ダカラ是ハ矢張り處分シテ納メテ戴クト云フコトニ御了解願ヒタイノデアリマス

○岸本彦衛君 昨今度ノ財産稅ノ徵收ガ、非常ニ困難デアルト云フコトヲ感ジマスガ、若シ財産稅ガ政府ノ豫期セラレル金額ニ達シナイ時ハ、其ノ大キナ差額ニ付テ、政府ハドウ云フ御考ヘデオイデナイリマス、ソレカラ次ニ先程御尋ノアツタ物納ノ場合、國債ヲ使フ、國債ヲ茲デ第一順位ト見テアリマスガ、三月三日以後ニ保有シテ居ル國債、此ノ物納ノ第一順位ノ中ニ入レルコトガ私ハ絕對ニ必要デアリ、又方法トシテ最モ良イ方法デハナイカト思ヒマス、ト申シマスノハ、元此ノ財産稅ノ目的ハ、國債ノ償還スルト云フ目的ガアツタヤウニ思ヒマス、併シ今ハソレハゴザイマセヌ、ゴザイマセヌケレドモ、政府ノ意圖トシテハ成ルベクサウ云フ風ニ行キタカツタコトハ事實ダラウト思ヒマス、ソレカラ國債ガ今日非常ニ下落シテ居リマスガ、下落ハシテ居ルケレドモ國債ヲ今日ノ財産稅ノ中ニ御含ミガナカツタト云フコトハ、恐ラク銀行ノ他金融機關集ツテ居ルノ此ノ際、若シソ

レヲ入レタラ混亂ヲ來スト云フ御考カ
ラト思ヒマスガ、若シ國債ノ價格ガ此
ノ爲ニ上ツタラ、政府トシテモ喜ビ、
國民トシテモ喜フコトニナルデヤナ
カト思フ、上ルト云フテモ、此ノ財産
税ニ、自分ノ祖先傳來ノ土地、或ハ家
屋、或ハ色々ノ財産ヲ人手ニ渡スト
カ、或ハソレヲ擔保ニスルトカ言フコ
トヲ避ケテ、若シ公債ヲ買フコトガ出
來レバ、公債ヲ買フ納メルト云フ
コトハ、萬人ノ望ム處ダラウト
思フノデアリマス、サウ云フ場
合ニ此ノ方法ガ一番宜イコトニ
ナルデヤナカト思ヒマス、サウシテ
其ノ萬人ノ望ム方法ニ依ツテ國債ハ上
ルカモ知レマセヌ、一時上ツテモ、上
ツタモノニ對シテハ、今日新圓ヲ出來
ルダケ各自ガ獲得シテ買フ外ハナイ
ノデアルカラ、一面ニ於テハ矢張り國
債ヲ持ツテ居ル銀行ニ、其ノ金ガ集ル
カラ「インフレーション」防止ト云フ
點ニ於テモ、有效ナ勸キヲナスモノト
思ヒマス、ソレデ若シ相場ガ上ル爲
ニ、一部利得スルモノガ起ルカモ知レ
マセヌケレドモ、全體ノ利益カラ考ヘ
レバ、ソレハ僅カノコトデハナイカト
思フノデアリマス、公平不公平ト云フ
點カラ考ヘレバ、一部ノ人ガ、今迄買
ツテ居ルモノハ、或ハ利スルカモ知レ
マセヌケレドモ、又是カラ徵稅ニ之ヲ
充當スルコトガ出來ルコトニナレバ、
恐ラク相當ノ價格ガ上ルト思ヒマス
ケレドモ、今日何百億トアル國債ガ全
買ハレル譯デモアリマセヌカラ、其ノ
中ノ一部デアルカラ、上ツテモ其ノ程
度デ止マルト思ヒマス、サウシテ將來
此ノ金額ガ取レナイ場合デモ、國債ヲ
銷却スルト云フ政府ノ目的ニ達スル
コトガ出來ルノト、ソレカラ徵稅上不動

産、或ハ財寶ヲ處分スル場合、非常ニ
混亂ガ起ル、ソレヲ避ケルコトガ出來
ルコトガ第一ニ國トシテ簡單ナ方法デ
ヤナイカト思ヒマス、サウ云フ風ニ考
ヘマスルノデ、私ハ三月三日後ニ獲得
シタモノデモ、其ノ國債ヲ以テ物納ニ
代ヘ得ルト云フコトニナサルコトニ考
ヘテ戴ケナイダラウトカト思ヒマス
○國務大臣(石橋湛山君) 第一段ノ、
此ノ四百三十五億ニ非常ニ足リナイ場
合ト云フ、是ハ先程カラ色々應答ガア
リマシタヤウニ、政府トシテハ、左様
ナ非常ニ足リナクナル場合ガアルトハ
想像シテ居リマセヌ、併シナガラ萬一
左様ナコトガアレバ、ソレハ十萬圓以
下五萬圓ノ又財産稅ヲヤラナレバナ
ラヌ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマ
スルガ、是ハ無論此ノ法律デハヤレル
譯デアリマセヌカラ、改メテサウ云
フ必要ガアレバ、法律ノ御審議ヲ願ハ
ナケレバナラヌ譯デアリマス、ソレカ
ラ第二段ノ國債ノ問題ハ、矢張りソレ
デナクテモ、是ハマア僅カノコトカモ
知レマセヌガ、近頃ノ世相トシテ、兎角
金持ガドウ、資本家ガドウト云フ時
ニ、ドレ程ノ取引ガアリマシタカ知ラ
ヌケレドモ、財産稅ヲ納メル爲カナン
カニ、安イ價格デ公債ヲ買ヒ漁ツタ者
ガアルト云フ噂ガ傳ルダケデモ、世間
ノ響キガアル譯デス、我々ハ實際ニ國
家ノ爲ニ必要ナコトデアルナラバ、世
ノ中ノ評判ナンカト云フコトハ問題ニ
致シマセヌガ、是ハ矢張り問題ニシタ
方ガ宜イト思フ、デスカラ、此ノ際三月
三日現在ニ持ツテ居ラナカタ、其ノ
後ニ取得シタ國債デ物納ヲ認メルト云
フコトハ、是ハ矢張り認メナイ方ガ全
體ノ爲ニ利益デアリマス、ソレカラ御
話ノヤウニ、國債ヲ買ヒ得ル人ガアレ

バ、現金デ納メテ戴ケバ宜イノデアリ
マスカラ、國債ヲ買フト云フコトハ、
現金ガナレバ國債ハ買ヘナイノデア
リマスカラ、ソレナラバ現金デ納メテ
戴ケバ宜イノデアリマス、別段其ノ後
ノ國債デ取ルト云フコトハ、利益ハナ
イト思ヒマス
○岸本善衛君 今公債ヲ買ヘバ宜イト
仰シヤイマシタケレドモ、若シ三月三
日以後ニ獲得シタ公債ヲ以テ税金ヲ納
メルコトガ出來ルト云ヘバ、是カラ買
フノデゴザイマスカラ、出來ルダケ金
ヲ作ツテ買フノニモ、諸リ價格ノ點デ
段々上ツテ行キマシテモ、發行價格ノ
百圓ナラ百圓ヲ納メル必要ハナイノデ
アリマスカラ、自然納メル人ニ取ツテ
モ安イモノガ買ヒ得ルノデゴザイマス
カラ、其處ニ私ハ非常ニ惹キ附ケルモ
ノガアルノデハナイカト思フ居リマ
ス、自然徵稅ガ圓滿ニ行ク上ニ於テ非
常ニ助カルフデハナイカト、斯ウ存ジ
マス
○國務大臣(石橋湛山君) ソレハ非常
ニ困ルト思ヒマス、サウ云フ御話ノヤ
ウニ、成ル程、或程度納稅者ハ安イ金
デ納稅ガ出來ルコトニナル譯デアリマ
スカラ、ソレハ惹キ附ケル力ハアラウ
ト思ヒマスケレドモ、是ハ矢張り今ノ
世ノ中ニ於テ、サウ云フコトヲ國家ガ
認メルト云フコトハ全體トシテ不利益
デアルト思ヒマス
○中島徳太郎君 先刻同族會社ノ株主
ノ納稅ニ付、ドナタカノ御尋ガアリ
マシタ時、會社ガ減資ヲシテ、ソレ
デ納メレバ宜イト云フヤウナ御答ガア
ツタヤウニ私ハ御聽キシテ居リマス
ガ、ソコデ此ノ稅率ガ非常ニ大キナモ
ノデスカラ、之ニ應ヘルダケノ財産ヲ
分配スルトスレバ、其ノ會社ノ仕事ハ

到底出來ヌコトニナルト思ヒマス、又
同族會社ノ株主以テ物納スルト云フコ
トニナレバ、是亦同族會社トシテノ意
味ガナクナルコトニナリマス、一方ニ
田畑ヲ所持シテ居ル、之ヲ賣却スルナ
リ、或ハ物納ニスルノハ結構デアリマ
スガ、ソレヲ賣却シテ税金ヲ納メルト
云フコトニスレバ、至ツテ簡單ト思ヒ
マスガ、斯様ノ場合ニハ、順位ガ有價
證券、不動産ト云フコトニナツテ居リ
マス時、一方ノ田畑ハ今日賣ルコト
ハ停止ニナツテ居リマスカラ、ドウシ
テモ取ツテ戴クニハ物納ヨリ仕方ガナ
イ、其ノ場合ニ、同族會社ノ株主ドウ
ニカシテ殘スコトニシテ、代リニ田畑ヲ
以テ物納スルト云フコトハ出來ルモノ
カ、出來ヌモノデスカラ、是ガ賣却ヲ停
止ニナツテ居ラナレバ賣却シテ納メ
レバ何デモアリマセヌガ、今日ノ場合
デハ賣却スルコトハ出來マセヌカラ、
此ノ順位ヲ變ヘテ戴クコトニナレバ、
會社事業ハ完全ニ續ケテ行クコトガ出
來マス、其ノ順位ヲ變ヘテ戴クコト云フ
コトガ出來ナレバ、同族會社ハ殆ド
解散スルヨリ外ナイト云フ立場ニナル
ト思ヒマスガ、其ノ點如何デアリマセ
ウカ
○政府委員(池田勇人君) 物納ヲ致シ
マス場合ニ、有價證券ト不動産トノ順
位ハ大體私ハ同列ニ考ヘテ居リマス、
御話ノヤウナ場合ニ、同族會社ノ株主
ト市場性ナイカラ、ナカ／＼賣リニ
タイ、他ニ田畑ヲ御持チデアリマスレ
バ、田畑ノ物納ヲシテ戴キマス、今
朝申上デマシタノハ、田畑モ何モナイ
ト云フ場合ニ、同族會社ノ株主デシカ
モウ無イノダト云フ場合ニ、ドウシヨ
ウカト云フ問題ガゴザイマシタカラ、
サウ云フ場合ニ付キマシテハ、同族會

社ノ資産ヲ賣リ、サウシテ減資、拂戻
シヲシテ納稅ニ當テルノモノツノ方法
ダト申上ゲタ次第デアリマス
○中島徳太郎君 モウ一ツ御尋ネシマ
スガ、同族會社ノ株主ニ付、市場
性ノナイモノデスカラ、資産ト負債ト
差引シタモノヲ株數デ割ツテ價值ヲ出
ストカ何ト云フコトガ萬一アリトシ
マス、殆ド解散價值ニナリマシテ、非
常ニ高イモノニナルト思ヒマスガ、其
ノ邊ニ付テハ、市場性ノナイ同族會社ノ
株主ノカノ評價額ハドウ云フヤウナ方
針デ御定メニナルノデアリマスカ
○政府委員(池田勇人君) 同族會社ニ
付キマシテモ、是ハ色々種類ガゴザ
イマシタ、同族會社事業シテ居ルモノ
モアリマスシ、單ニ資産、財産ヲ保
有スル保全會社のモノモゴザイマ
ス、保全會社のモノニ於キマシテ
ハ、昔カラノ資産デ非常ニ値上リシテ
居ルト云フヤウナ場合ニハ、株價ガ高
クナルノデゴザイマスルガ、實際其ノ
會社ノ資産ノ内容、或ハ配當ノ狀況、
ソレカラ他ノ會社ガ資産デ按分シタ場
合ノ一株ニ對スル價值ト、ソノ取引價
額ト、之ヲ比ベテ見マシテ、サウ云フ
ヤウナ比率ヲ類推シテ行ケバ、適當ナ
價格ガ見出し得ルノデハナイカト考ヘ
テ居リマス、今ノ問題ハ、財産稅ノミ
ナラズ、相續稅ニ付キマシテモ、常ニ
起ツテ居ル問題デゴザイマシテ、適正ナ
課稅價格ガ見出し得ルト考ヘテ居リマ
ス
○中島徳太郎君 結構デアリマス
○子爵大河内輝雄君 私ハ大藏大臣ニ
伺ヒマスガ、今物納ノ順位ノ問題ガ出テ
大變ナンデスガ、私ハモウ少シ廣ク見
タイノデス、ソレハ何ハウト思ヒマシ
タケレドモ、時間モナシ、何ダカ議

論ガマシヤウナコトニナリマスカラ、差控ヘテ居ツタノアリマスガ、大分時間モマ御許シテ願ヘルヤウデスカラ同ヒマスガ、一體現金、國債、社債、株式、動産、不動産ト、斯ウ云フヤウニ順位ヲ御決メニナツタノデアリマスガ、コナナ酷イ財産税ノ徴ル時ニハ、斯ウ云フ決メ方ヲナサヌデモ、何デモ構ハヌカラ持ツテ來タ物ハソレデ納メテ宜イト云フコトニナスツタラ宜イト思フ、政府ノ方カラ言ヘバ、面倒ダト云フコトハ分リ切ツテ居リマスケレドモ、納税者ノ方カラハナカク苦痛ナシデスカラ、ドレデモ都合ノ好イ物ヲ持ツテ來テ納メテモ宜イト云フコトニナサルト非常ニ便利ナシデスカ、例ヘバ、現金ハ少シ必要ダト思ヘバ、不動産ヲ持ツテ行ツテ先ハ納メルノモ宜イシ、不動産ガ必要デ、骨董ノ方ヲ先ニ持ツテ行キタケレバソレモ宜イ、妙ナ話デアリマスガ、人ハ困ツタナラバドウスルカ、一番初メ骨董ヲ賣レ、ソレデ困ツタ家ヲ賣レト云フコトハ能ク言フコトナシデ、一番先ニ現金ヲ持ツテ行クト云フ人ハアリヤシマセヌ、其處ヲノ點モアリマスカラ、此ノ順位ハ、サウ云フコトヲ言ツテモ、制度ヲ御立ニテツテシマツタ後デ無理カモ知レマセケレドモ、私ノ考トシテハ、ドレデモ持ツテ行ツタ物ハ政府ハ受ケルノダト云フヤウニオヤリニナルベキデヤナカッタカト思ヒマスガ、ドウデゴザイマセウ、其ノ位ノ餘裕ハ斯ウ云フ稅ヲ課ケニナル場合ニハ御覽下スツテモ宜イト思フ

ベク換價ノ樂ナモノト云フノヲ望シテ居リマスノデ、是ハ少シ自分勝手ニ論デアリマスガ、大體斯ウ云フ風ニ決メマシタノガ、實際問題トシテ適當デハナイカ、相續稅デモ斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

所謂時價見テ行クト云フコトニ相成ツテ居リマス、モウツノ戰災者ト非戰災者ノ區別ヲドウスルカ、一律ニ見ルノハ不公平デハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマス、又實際問題ト致シマシテ、我々ノ調査デモ非戰災者ト戰災者トハ可ナリ違ツテ居リマス、此ノ率ヲ違ヘルカドウカト云フコトニ付キマシテ、只今關係方面ト折衝中デゴザイマス

リマシテ計算シタ場合ヨリモ懸ケ離レテ居ル時ニハ、原則ニ立退ツテヤラナケレバイケナイト考ヘテ居リマス

ハ納税者ト常ニ接觸シ、納税者ノ意見ヲ十分聽イテ行カケレバ相成ラヌト思ヒマス、殊ニ骨董物ニ付テハ、其ノ感ヲ深ク致シテ居ル次第デゴザイマス

○政府委員(池田勇人君) 物納ニ付キマシテ順位ハ、只今ノ相續稅ニ於キマシテモ、斯ウ云フヤウニ順位ニ相成ツテ居リマス、政府ト致シマシテハ成ル

○政府委員(池田勇人君) 二項ノ規定ニ依リマシテ、五「パーセント」計算出シタ金額ヲ、一萬圓以上超過スル場合ニ於キマシテハ、二項ノ規定ニ依ラズニ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 結論ダケ申上ゲルト誤解ガアルカモ知レマセヌガ、財産稅全體ノ問題トシテ稅務署長

ハ納税者ト常ニ接觸シ、納税者ノ意見ヲ十分聽イテ行カケレバ相成ラヌト思ヒマス、殊ニ骨董物ニ付テハ、其ノ感ヲ深ク致シテ居ル次第デゴザイマス

○政府委員(池田勇人君) 全國的ニ五十萬圓以下十萬圓ヲ超ユル財産家ノ職業別ノ區分ニ依リマシテ調査致シマシタ平均價額ハ、只今ノ處、大體家庭用動産以外ノ財産ニ對シマシテ五「パーセント」餘リニ相成ツテ居リマス、其ノ平均率ノ五「パーセント」ヲ使ツテ算定シヨウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(池田勇人君) 是ハ一項ノ規定ニ依ツテ算出シタ金額ヨリモ、實際ノ家庭用動産ガ非常ニ多クテ、其ノ差額ガ一萬圓以上デアツタ時ニハ、三十六條一項ノ規定ヲ適用セズニ、所謂時價ニ依ツテ評價ヲ變ヘルト云フコトデゴザイマス

○政府委員(池田勇人君) 是ハ納税者ノ評價ニ俟タナケレバナリマセヌ、專門家ノ意見ヲ徵シマスルト云フコトハ、大體稅務當局トシテ骨董ニ對スル評價ニ付テノ心構ヘ、又ドウ云フ方が最近骨董ヲ買入レタカト云フヤウナコトハ、業者ノ中デ調べルト云フ點デゴザイマシテ、此所ニ權威アル評價ヲナサル方ハナカク見當リナキイト思ヒマス、從ツテ是ハ矢張り納稅義務者ノ誠實ナル申告ヲ飽ク迄俟ツヨリ外仕方ナイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 結局サウスルト、稅務署ノ認定ト云フモノ、結果ニ於テ同ジニナルノデ、誠意アル認定ト仰シヤルカラ、稅務署長ガ誠意ガナイト認メレバ増サセルコトニナリマセウガ、結局惡ク言ヘバ、稅務署長ノ認定デスカ、ナダラカニ言ヘバ、兩方相談シテ決メルト云フコトニ結著シマセウネ

○政府委員(池田勇人君) 結論ダケ申上ゲルト誤解ガアルカモ知レマセヌガ、財産稅全體ノ問題トシテ稅務署長

○政府委員(池田勇人君) 二項ノ規定ニ依リマシテ、五「パーセント」計算出シタ金額ヲ、一萬圓以上超過スル場合ニ於キマシテハ、二項ノ規定ニ依ラズニ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 結論ダケ申上ゲルト誤解ガアルカモ知レマセヌガ、財産稅全體ノ問題トシテ稅務署長

○政府委員(池田勇人君) 結論ダケ申上ゲルト誤解ガアルカモ知レマセヌガ、財産稅全體ノ問題トシテ稅務署長

○政府委員(池田勇人君) 結論ダケ申上ゲルト誤解ガアルカモ知レマセヌガ、財産稅全體ノ問題トシテ稅務署長

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス、是ハ四十七、八萬ノ納税者ガ申告ナサイマス時ニ、或程度便宜ヲ考ヘルト云フ一ツノ腰ダメノ制度デゴザイマス、實際斯ウ云フ一項ノ規定ニ依

フノハ「交付する」トヤツテモ結果ハ同
ジニナリハシナイカ

○政府委員(池田勇人君) 執行上ノ問
題ト致シマシテハ「交付す」トシマス
ト交付シナケレバナラヌヤウニ聞エマ
スガ、「交付すること」が出来る「トシマ
ス」ト、大蔵大臣ノ勝手デヤラナイ場
合モアリ得ルノデ、斯様ニ書キ分ケタ
次第デゴザイマス

○子爵大河内謙雄君 ソレガ我々外
カヲ見テカシイノデス、ドウ云フ
デ交付シナイ場合ガ起ルノカ、ドウ云
フ場合ニハ交付サレル場合ガ起ル
カ、此ノ法律ノ表面、命令ノ何デハ、
能クハツキリシナイガ、良イノハ交付
スルト仰シヤルガ、ソレハ甚ダ分ラ
イノデス、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云
フ場合ハ交付スル、斯ウ云フ場合ハ交
付シナイト、斯ウ云フコトハ言ヘナイ
モノデセウカ

○政府委員(池田勇人君) 其ノ報告ハ
ナクテモ、當然後カラ稅務署ノ調査デ
分ル、斯ウ云フモノニ付テハヤラナイ
場合モ起リ得ルト思ヒマス、是ハ實際
問題トシテ個々ノ事例デ考ヘテ行カ
ナケレバ決メラレヌト思フノデアリ
マス、斯ウ云フ規定ハ稅ノ方デハ別ニ又
設ケテアルヤウデゴザイマスガ、此ノ
程度ノ裕リヲ持ツタ方ガ宜イノデハ
イカト思ヒマシテ、斯ク規定ヲ設ケ
タ次第デアリマス

○子爵大河内謙雄君 大分、分ツテ來
マシタガ、話リ效果ガアルカナイカデ
決メル、ソレデ分リマシタ、ソレカラ
次ニ伺ヒタイノハ、財産稅ト云フモノ
ハ色々御尋ガアリマシタケレドモ、結
局財政ノ稅ト云フコトニナツテ、ソ
レガドウ云フ目的ヲ達シテ來テ居ル
カト云フコトヲ、モウ少シ實ハ時間ガ

アレバ伺ヒタイノデスガ、ソナコト
ヲヤツテ居ルノモ如何カト思ヒマス
カラ

○委員(三土忠雄君) チョット大河
内君ニ御相談致シマスガ、周布君ガ聽
キタイサウデ、先ニシテ宜シウゴザイ
マセウカ

○子爵大河内謙雄君 ソレデハ後デ宜
シウゴザイマス

○男爵周布兼道君 私ハ只今迄、色々
御質問ヲ伺ヒマシタノデ大體分リマシ
タケレドモ、時間モゴザイマセマス、
二、三極ク簡單ニ御手間ハ取ラセナイ
積リデ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ財產
稅ノ法案ノ如キハ、極メテ重要ナモノ
デアルコトハ勿論デアリマス、ソレニ
付テ考ヘマスノハ、先刻モ御話ガゴザ
イマシタヤウニ、一月ノ十五日ヲ申告
期限トスル豫定デアル、尙一箇月置イ
テ二月十五日ニ納期ヲ豫定シテ居ル
ト、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、其
ノ間一箇月デアリマス、是ハ新聞等ニ
於テモ相當ナ工合ニナルト云フコトハ
承認シテ居リマシタケレドモ、伺ツテ
ソレガ確實デアルコトハ承認シタノデ
アリマスガ、斯ウ云フ込ミ入ツタモノ
ヲ一箇月間ニ果シテ完全ニ行カヤ否ヤ
ルノデアリマス、所得稅トカ營業稅ト
カ既ニ稅ノ年々アリマスモノハ、自
ゾト其ノ間取扱ヒ其他ニ付テモ、一ツ
ノ空氣ガ出來テ居リマスガ、斯ウ云フ
特別ノモノニ付キマシテハ、非常ニ違
フト思フノデアリマス、ソレニ依リマ
シテ、平タイ言葉デ言ヒマス、宜イ
加減ニ之ヲヤラレマス、國民ハ非常
ナ痛手ヲ蒙ル、政府トシマシテモ事情
已ムヲ得ズ斯ウ云フ稅ヲ設ケラレタ
ノデ、ソレハ分ツタノデアリマスガ、ソ

レナラバ尙更價重ニヤツテ戴キタイ、
斯ウ思フノデアリマス、四百三十五億
ト云フヤウナ目標ガ示サレマス、云フ
ト、又一方ニ於キマシテハ、從來ニア
リ勝ノコトデゴザイマスガ、各稅務署
ニ於キマシテハ政府ノ命令ト申シマス
カ、中央ノ方針ニ忠義ナルガ爲ニ、ソ
レヲ徹底シタイト申シマス、履キ違
ヘト申シマス、ドウモ酷ニナリタガ
ル、其ノ目標ニ近附キタル、是ガ實
際ノ所ナンデアリマス、サウシマス
今同此ノ稅ニ付キマシテモ、サウ云フ
風ナ手心デヤラレマス、國民ハ非常
ナ痛手ヲ蒙リマス、極メテ圓滿ニ折衝
ヲシテ、サウシテ落着ク所ニ落着イテ
稅ヲ出ス者ハ出スト、斯ウ云フ方針デ
一ツヤツテ戴キタイト思ヒマス、ソレ
デ中央カラ末端ノ方ニ今同ノコトハ徹
底スルヤウニヤツテ戴キタイト、其ノ
點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 今同ノ財產
稅法ガ國民ノ利害休戚ニ非常ナ影響ガ
アルコトハ、我々モ十分承認致シテ居
ルノデアリマスガ、今回ハ申告納稅ヲ
採リマシタ關係上、納稅者ハ自分デ調
査致シテ申告ササルノデゴザイマス、
サウシテ自分デ計算シテ、自分デ申出
ルノデアリマス、從ツテ所得稅ノ如ク
稅務署ノ調査デ、所得ノ調査委員會ニ
諮問シマシテ、コツチカラ決定シテ通
知ヲ出スト云フノデハナイノデゴザイ
マシテ、サウ云フ意味カラ申シマス
ト、今迄ノヤウナ若シ弊害ガアリト致
シマシテモ、是ハ申告納稅ト云フノデ
餘程緩和出來ルト思ヒマス、稅務署ハ
申告ガアツツカラ後ニ、ソレカラユツ
クリ調査スルノデアリマス、ダカラ期
間ガ申告後一箇月デアリマシテモ納稅
者ノ數カラ申シマシテ、大體賄ヒ得ル

ノデハナイカト思ヒマス、サウシテ色
色ナ評價ニ關シマスルコトハ、法案ガ
通過致シマシテ、即座ニ著手致シマシ
テ、大體十一月ノ末迄迄ニハ不動產ノ
倍數ハ決メテ發表致シタイト思ヒマ
ス、サウ致シマス納稅者ハ不動產ヲ
澤山御持チデゴザイマシテモ、何處ノ
土地ガ幾ラデアルト云フ風ニ、直ク評
價シ得ルヤウニ手配致シ得ルト思ヒマ
ス、唯問題ハ、株價ノ評價ハ先般申上
ゲマスヤウニ、企業再建整備法ノ評價
基準ガゴザイマシテ、是ハ少シ遅レテ
居リマス、ソレガナケレバ、私ハ十一
月ノ中頃迄ニ申告シテ戴イテモ、結構
ノヤウニ考ヘテ居ツタノデアリマスル
ガ、株價ノ問題ガ出マシタノデ、一月
十五日ニ致シマシタ、從ヒマシテ一月
十五日迄ニ納稅者ノ方々ハ、ソレ迄ニ
十分申告出來ルヤウニ早ク準備ヲシテ
戴キタイ、我々ハソレニ付キマシテノ
宣傳其ノ他ニ付キマシテハ、萬全ヲ盡
ス考ヘデ居リマス

○男爵周布兼道君 只今ノ萬全ヲ盡
スト仰シヤイマシタガ、何カド
ウ云フ方法デナサイイマスガ、各
個人ガ一月十五日ガ期限ト云フ
コトヲ伺ツテ、前カラヤレバ宜ウゴザ
イマスケレドモ、ナカ／＼兎角物事
ハ間際ニナリ勝チナモノデアリマシ
テ、何カノ方法デ具體的ニソレヲ從
テササスト云フト、結局又申告ガナ
ナカヤル方モ面倒ニナリマスシ、又ソ
レモ杜撰ニナリ勝チト云フコトモアラ
ウト思ヒマスガ、モウ少シ具體的ニ何
カ御腹案ガゴザイマスカ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ノ納
稅義務者ハ五十萬人位デゴザイマス、
全國ニ稅務署ガ二百七十幾ツゴザイマ
スカラ、稅務署デ千二百三十人ト考ヘテ

居リマス、所ニ依リマス西ノ宮ト
カ、東京ノ麹谷ニハ相當ノ納稅者ガ
ルト思ヒマスルガ、斯カル場所ニハ、熟
練ノ經驗ガアル職員ノ臨時的ニ増員致
シマシテ、納稅ニ付キマシテ、所謂不
動產ノ倍數ナドガ定マリマシタ時ニハ
御通知申上ゲルトカ、出來ルダケ早ク
準備ノ出來ルモノハ準備シテ戴キヤウ
ニ、指導ト申シマス語弊ガゴザイマ
スガ、注意ヲ喚起スルヤウニ致シタイ
ト思ヒマス、申告書等ニ付キマシテ
モ、早カラ印刷致シマシテ、御手許
ニ配ルヤウニ致シマシテ、評價等ノ分
ツテ居ルモノハ出來ルダケ早く出シテ
貰フ、又事情ニ依リマシテハ株式ノ申
告ヨリハ別ニ不動產ノ申告ヲナサルノ
モノ一ツノ方法カト考ヘマシテ、申告用
紙ハ株式ノ申告ト不動產ノ申告用紙ト
別ニシヨウカト、斯ウ考ヘマシテ、折角
各財務局ノ擔當者ヲ集メテ研究致シテ
居リマス

○男爵周布兼道君 今御話モアリマシ
タケレドモ、尙モウ少シ詳シク承リタ
イト思ヒマス、稅務署ハ一體人員ガ誠
ニ不足ト現狀デアリマスガ、今回此ノ
法案ガ出マシタニ付テ、今モ御話ガゴ
ザイマシタガ、特ニ人員ヲ増サレルヤ
ウデアリマスガ、事實現狀ニ於キマシ
テハ、稅務署ニ行キマシテモ、女學生
見タイナ、或ハ極ク年ノ若い男子ノ連
中ガ居ルノデ、ナカ／＼何ラシマスノ
ニモ要領ヲ得ナイ、窓口デ到頭要領ヲ
得ナイデ歸ツテ來ル、其ノ間無駄ナ時
間ヲ往キ返リマシテ、結局ドウモ思フ
ヤウニナラヌト云フノガ現狀ナンデ
ス、今回ハ人員ヲ増サレルト言ヒマシ
テモ、經驗アル者ト申シマス、頭ノ
アル適當ニ者ヲ増シテヤツテ戴カヌ
ト、非常ニ困ルコトダト思ヒマス、尙

序二伺ヒマスガ、先程不動産ノ御話ガ
出マシタガ、進駐軍ノ方デ今使ツテ居
ルモノガアリマス、斯ウ云フモノハ所
有權ハマダ移轉ハシテ居リマセヌ、サ
ウ云フモノハドウ云フ風ニ致シマス
カ、ソレヲ以テ出スト云フコトニナル
ト、ドウ云フ風ニナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅法施
行ニ付キマシテ事務管掌ノ陣容ニ付キ
マシテハ十分考慮致シマシテ、適當ナ
人ノ採用並ニ配置ヲ致シタイト考ヘテ
居リマス、第二段ノ進駐軍ニ徵用サレ
タ家屋ニ付キマシテハドウ云フ御
質問デゴザイマスルガ、飽ク迄三月三
日ノ狀況ニ依ツテ課稅致スノデゴザ
イマス、從ツテソレガ課稅ニナリマシ
テ、物納ト云フ場合ニ付キマシテハ、
政府ハ其ノ家屋ノ物納ヲ認メルコトニ
致シテ居リマス

○委員(三土忠造君) チョット御話
リ致シマスガ、議員渡部信君ガ皇室財
產ノ課稅ト優秀古美術品ニ對スル課稅
ノ二件デチョット聽キタイト云フノデ
昨日カラ待ツテ居ラレノデスガ、私
機會ガアツタラ御許シタイト思ツテ
居ツタノデスガ、委員外デスガ、御許
シタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○委員(三土忠造君) ソレデハ、此
ノ際御許シ致シマス、渡部君
○委員外(渡部信君) 貴重ナ時間
ヲ特ニ御許シ得マシテ、一ツハ優秀ナ
ツテ見タイト思ヒマス、一ツハ優秀ナ
我が國ノ古美術品、ソレニ對スル課稅
ノコトヲチョット御伺ヒシタイノデゴ
ザイマス、尤モ、優秀古美術品ト申シ
マシテモ、餘リ漠ト致シテ居リマスカ
ラ、其ノ内特ニ法律上國家ガ日本ノ優
秀ナル古美術品タルコトヲ正式ニ認メ

ラレテ居ル國寶ト重要美術品、此ノ二
ツノモノヲ中心ニシテ御伺ヒシタイト
思ヒマス、若シ皇室財產ニモ課稅セラ
レマスコトニナリマスレバ、皇室デハ
御物トシテ非常ニ優秀ナ、御物デナクテ
モ優秀ナモノヲ御持チニナリマスカラ、
ソレ等モ矢張り含シテモトシテ御聽キ
テ願ヒタイ、日本ガ軍國主義ニ別レテ
告ゲマシタ今日、將來我が國ノ立ツベ
キ途ト申シマスカ、進ムベキ途、是ハ
文化ノ力ヲ以テスル外ニナイヤウニ考
ヘマス、武力ニ對スル文力トモ言ヒ
マスカ、文化ノ力ヲ以テ行ク外ナイノ
デハナイカ、其ノ文化ノ力ノ基礎ト云
フモノハ、文學トカ、藝術トカ、宗教
トカ、道德トカ、其ノ外精神ノナ科學
ノ各方面ニ求メナケレバナラヌノデヤ
ナイカト思ヒマスガ、其ノ内殊ニ今申
上ゲタイノハ、日本ノ優秀美術ノ保
存發達ト云フコトガ文化新日本ノ平和
的ナ委ヲ世界ニ示ス上ニ於テ、非常ニ
重要ナルト考ヘルノデアリマス、殊
ニ我が國ノ古美術ハ外國ノ古美術ニ比
較致シマシテモ優秀ナルモノコトハナ
イヤウニ存ジマスシ、又此ノ古美術
ハ、我が國ノ現代美術ニ比較致シマシ
テモ、優秀ナルモノヲナイヤウニ存ジマ
スシ、又古美術ノ優秀ナルモノハ、是ハ
マア何處ノ國デモサウデアリマスガ、
海外ニ散逸シテ居リマスガ、併シ割合
ニ能ク我が國デハ保存セラレテ居ルノ
デアリマス、皇室ノ寶庫デアル正倉院
ノ御物ヲ御覽ニナツタ方ハ、今申上ゲ
タ日本ノ古美術品ガ外國ニモ劣ラナ
イ、又現代ノモノニモ劣ラナイシ、比
較的散逸シタモノガ少ク能ク保存セラ
レテ居ルコト云フコトハ、恐ラク御分リ
ダラウト思ヒマス、外國人モ日本ノ飛
行機ヤ潜水艦、色々ナ機械類ナドヲ見

テモ大シテ驚キハシマセヌガ、日本ノ
優秀古美術品ニハ驚キ、舌ヲ卷イテ居
ルヤウニ思ヒマス、日本ノ美術ト云フ
モノヲ能ク理解スル外國人、是ガ本當ニ
日本ヲ能ク理解シテ親日ニナルヤウニ
思ハレノデアリマス、日本デハ、甚
ダ相濟マヌコトデアリマスガ、率直ニ
申シマシテ割合ニ官民ヲ通ジ一般ニ古
美術ト云フモノノ分ル人ガ多クナイヤ
ウニ思ハレマス

○委員(三土忠造君) 渡部君、理由
ハ大抵分ツテ居ルカラ、餘リ長クナラ
ナイヤウニ

○委員外(渡部信君) 勿論私モ古
美術ハ能ク分ラナイ一人デアリマスガ、
外國ノ人ノ中ニハ非常ニ能ク日本ノ古代
美術ノ時代特徵ナカテ專門的ニ研究シ
テ、其ノ方面ニ一雙眼ヲ持ツテ居ル者ガ
少クナイデアリマス、ソレデ本論ニ入リマ
スガ、今ノ我が國ノ優秀美術品ノ中デ
法規ヲ以テ正式ニ認メラレタモノハ國
寶ト重要美術品デアリマス、此ノ國寶
ト重要美術品ハ、美術ノ模範トナリ歷
史ノ徽章トナルト云フヤウナモノデ、
法律ニ依ツテ文部大臣ガ指定サレノ
デ、先程カラ伺ツテ居リマス骨董ト云
フモノトハ少シ趣ガ違フデアリマシ
テ、往々低級ナ道具屋ナンカガ扱フゲ
テ物式ノ下品ナモノトハ違ヒマシテ、
國寶ヤ重要美術品ハ、ソレハ「美術ニ
對スル學術的鑑識力ノアル專門家ヤ碩
學ノ士ガ大勢集ツテ決メル」デアリマ
シテ、其ノ品質、由緒、品格ナドハ外
國人デモ日本人デモ、玄人デモ素人デ
モ驚嘆スルヤウナモノガ多イデアリ
マス、而モ國寶、重要美術ハ法律的ニ
モ色々制限ヲ受ケルノデアリマシテ、
御承知ノ通り外國ニ輸出スルコトモ出
來ズ、或ハ移出スルコトモ出來ナイ、

又國寶ハ博物館ナリ美術館ニ出陳シナ
ケレバイケナイ、蓋シ其ノ現狀ノ變更
モ許サレナイシ、ソレカラ又國寶ヲ讓
リ渡シマシタリ、或ハ壞シタリシマシ
タラ届出ナケレバイケナイ、或ハ神社
ヤ寺院ガ持ツテ居リマス國寶ハ、之ヲ
處分シタリ、擔保ニ供シタリ、若シク
ハ差押ヘタリスルコトハ出來ナイ、又
國寶ハ自分ノ物ト雖モ、勝手ニ壞シタ
リ隱匿シタリ、又ハ現狀ヲ變更シタリ
致シマスルト、懲役ニ處セラレルト云
フヤウナ規定モアルノデ、斯ウ云フ風
ニ自由ニ使用、收益處分出來ルト云フ
ヤウナ純然タル私有財產デハナイノデ
アリマシテ、歷代天皇ノ宸筆トカ其ノ
仙貴重ナル古文書ノ如キハ、實ニ金錢
ニ見續リ得サル歷史的精神的ノ價值モ
アルノデアリマス、サウ云フ風ニ國寶
類ハ、本當ニ文字通り國ノ寶デアリマ
スカラ、其ノ所有者ナドハ本當ニ公共
的ノ御預リ物トシテ能ク保存ニ注意ラ
拂ヒ來レル爲、前申シタヤウニ割合
ニ能ク保存サレテ居ツタノデアリ
カト思ヒマス、然ルニ此ノ度國寶、
重要美術ニ對シテ、全ク自由ニ扱フ
コトモ處分スルコトモ出來ル一般
ノモノト同ジヤウニ重イ稅ヲ課スル
ト云フコトハ、ドウモ不公正ガ澤山ア
ルト云フコトハ大藏大臣モ仰シヤツテ
居ラレマスガ、餘リニ不公正デアルバ
カリデナク、其ノ爲ニ自然ニ是ガ散逸
致シマシテ、ソレヨリ利潤追求專門ノ
古道具屋トカ闇商人トカ、更ニ第三國
人等ノ手ニ迄陷ツテ、サウシテ遠ク海
外ニ迄密輸出セラレルト云フ心配モア
ルノデヤナイカト思ヒマス、色々ナ貴
重ナ古文書、古イ書籍ナドハ觸ツテ居
テコソ、特殊ナル歷史的價值ガアリマ
スノニ、心ナキ儲ケ主義ノ商人等ガ之

之ヲ數行ツツニ分割シマシテ、一行何
千圓何萬圓ノ割ニ依リ高イ値段デ賣ツ
テ、遂ニ惜シクモ滅失分散シタ例ハ澤
山アルノデアリマス、殊ニ今日ハ密輸
出ノ取締ト云フモノハ非常ニ困難ナ事
情ニアルノデヤナイカト思ヒマス、
デ、日本人ノ手ニ再ビ戻ツテ來ナイヤ
ウナ危險モアリマシテ、一層憂慮ニ堪
ヘナイノデアリマス、今次ノ戰爭ニ當
ツテ、米國モ帝國博物館ガ奈良トカ京
都トカ爆發シタナカツタト云フコト
モ、日本ノ古文化古美術ノ破壞、滅失
ト云フコトヲ惜シンデ、ソレヲ保護ス
ルト云フ爲デハナイカト思ヒマスガ、
然ルニ今日日本ガ幾ラカ知レマセヌガ、
御見續リガオアリニナルカドウカ知レ
マセヌケレドモ、大シタ税金デモナイ
カト思ハレル、其ノ利益 得ル爲ニ、
貴重ナ古美術品ヲ善良ナ保管者カラ手
離サシメ、サウシテ散逸セシメルコト
ガアツテハ、本當ニ惜シイト思ヒマ
ス、色々稅法ニモ見マスルト、教育用
ノ材料ハ登録稅ヲ免ズル、學校博物館
館ノ陳列、美術館ナドノ陳列ノ標本ナ
ドハ關稅ヲ免ズルトカ、學術研究用、
教育用ノ品物ハ物品稅ヲ免ズルトカ云
フ、色々稅法ノ中ニハ精神的文化的の方
面ニ意ヲ用ヒテ、租稅ヲ減免シテ居ル
例モアルヤウニ思ハレマスルノニ、此
ノ法案ハ非常ノ際ノ非常ノ措置デア
ルトハ能ク分リマスル、全クト申シ
テハドウカ知レマセヌ、文化ト云フ
コトヲ無視シテ、殆ド一顧モ與ヘナ
イ結果デヤナイカト云フヤウナ感ガア
リマスノデスガ、此ノ臨時措置法案ナ
ドハ文部大臣ガ副署シテ居リマスノ
ニ、財産稅法案ニ付テハ文部大臣ノ副
署モナイト云フ風ニ、何カ文化ト云フ
モノニ付テハ全ク御考ヘノ下ニ置カナ

昭和二十一年十月九日【貴族院】

昭和二十一年十月九日【貴族院】

昭和二十一年十月九日【貴族院】

昭和二十一年十月九日【貴族院】

カツタヤウナ感ガアリマスカラ、何モ
總テノ美術品ヲ免稅シテタレトカ、サ
ウ云フ無理ナコトハ申シマセウガ、今
申上ゲタ國寶トカ、重要美術品トカト
云フ風ニ、國家ガ公ニ決メテ居リマス
物ハ、我が國ノ美術振興ノ爲ニ、國民
ノ情操教育ノ爲ニモ非常ニ大切デアリ
マシテ、又今申上ゲタ通り法律上ニモ
實際上ニモ、色々制限ヲ受ケテ、純然
タル私有財産トハ違ツテ居ルノデアリ
マスカラ、ドウカ特別ノ御考慮ヲ拂ッ
テ戴ケナイデアリマセウカ、殊ニ國
寶重要美術品ノ中デ、個人ノ所有ニナ
ツテ居ルノモ幾ラモナイカト思ヒマス
ノデ、此ノ法案ノ十條ニ免稅ノ場合ヲ
規定シテ居リマスガ、「その他命令ヲ
定めるもの」ト云フコトモアリマスノ
デ、其ノ中ニ特ニ國寶トカ重要美術品
トカ云フヤウナ物ハ、免稅ナリ減稅ナ
リノ處置ヲ御執リニナツテ戴ク御考
ハナイデアリマセウカ、尤モ何カサウ云
フ恩典ヲ戴ケルナラバ、國寶ヤ重要美
術品ニ付テハ、今後尙一層ソレハ公共
的ノ義務ヲ其ノ所有者ニ負擔サセルコ
トハ結構デヤナイカト思ヒマスガ、若
シ皇室財産ニモ財産稅ヲ課セラレハ
ラバ、皇室ノ優レタ古美術ニ付テモ矢
張り同ジヤウニ御考ヘ願ヒタイト思ヒ
マスガ、一言其ノ事ヲチヨツト申上ゲ
テ御伺ヒシタイノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 美術ノ必要
ナルコトハ御話ノ通りデゴザイマス、
殊ニ現下ノ我が國トシテ美術ヲ大切ニ
シナケレバナラヌコトモ亦御話ノ通り
デアリマシテ、唯ソレガ非常ニ必要デ
アルト云フ理由デ、個人ノ所有ノ國寶、
重要美術品ヲ課稅外ニ置クト云フコトハ
適當デナイト考ヘテ居リマス、一般ノ
財産稅ニ付キマシテハ、名目的ノ財産

稅ニ付テ國寶、重要美術品ヲ除外スル
ト云フコトハ從來モ考ヘラレテ居リマ
シタ、併シ今回ノヤウナ財産稅ニ付キ
マシテ、國寶、重要美術品ヲ除外スル
ト云フコトハ、負擔ノ衡平ト云フ點カ
ラ申シマシテ、出來ナイコトダト考ヘ
テ居リマス、唯國寶、重要美術品ガ色
色ナ制限ヲ受ケテ居リマス關係ト、又
美術保存ト云フ色々ナ點カラ申シマシ
テ、評價ニ付キマシテハ出來ルダケノ
考慮ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス、尙
最後ニ皇室財産ニ付キマシテノ課稅
ハ、昨日大藏大臣カラ御話ニナリマシ
タ通りニ、正倉院、皇室博物館ノ課稅
ニ付キマシテハ、只今關係方面ト交渉
中デゴザイマス

○委員外議員(渡部信君) 只今ノ御答
辯ニ依リマシテ、免稅ハ不當デアル
ガト云フ御話モゴザイマシテ、是以上
ハ意見ノ相違デゴザイマスカラ、私ト
シテハ是非ソレヲ御願ヒシテ、セメテ
今ノ評價ニ付キマシテ、何カ特別ノ御
處置ヲ願ヒタイ、我が國ノ國寶、古美
術ノ爲ニ特ニ御願ヒシテ置キタイト云
フコトヲ申上ゲテ置キマス、今一ツ御
伺ヒシタイノデアリマスガ、ソレハ八
十二條デゴザイマスガ、「皇室ノ財産
ニ對する財産稅に關シ、是ハ昨日モ
チヨツト皇室財産稅ノコトニ付テ御話
ガアリマシタガ、必要ニ事項は、この
法律の定めるところに準じ、皇室令を
以て、これを定める。」斯ウ云フヤウ
ニ皇室令ヲ以テ皇室ノ財産ニ課稅スル
ト云フ明文ヲ認メタ例ハ、ドウモ寡聞
デアリマスガ、初メテノヤウニ存ジマ
ス、斯ウ云フ法律ヲ以テ皇室令ニ委任
シタト云フコトハ、外ニ例ガアルヤウ
デアリマスガ、斯ウ云フ課稅ヲ認メル
ト云フコトハ初メテノヤウニ思ヒマ

スガ、ソレハ初メテモ別問題トシ
テ、此ノ皇室令ト云フモノハ政府デ立
案サレルノデアリマセウカラ、サウ云
フコトモアリマスマイガ、強制シテ出
方ト十分御打合ガアルノデアリマセウ
カ、詰リ皇室令ヲ出サナイハ、宮
内省ノ問題デアリマシテ、強制スル譯
ニ行カナイト思ヒマスガ、其ノ點ハ十
分ノ御打合ガアルノデゴザイマスガ、
チヨツト御伺ヒシテ置キタイ

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ御話ノ
通り、十分打合セガアリマスノデス
○委員外議員(渡部信君) ソレデハモ
ウ一ツ序ニ、其ノ問題ニ關聯致シマシ
テ、此ノ財産稅法案ノ理由ヲ見マスル
ト、個人ノ財産ニ付高率ノ課稅ヲス
ル、斯ウ云フコトガ舊イナアルヤウデ
ゴザイマスガ、皇室財産ハ天皇個人ト
シテノ御財産ト見テ、財産稅ヲ課サウ
ト云フ御考ナンデデアリマセウカ、憲法
ノ委員會ニ傍聴致シテ居リマシタラ、
「すべて皇室財産は、國に屬する。」ト
云フコトガ憲法ニ書イテアルノデアリ
マス、其ノ憲法ノ說明ニ依レバ、皇室
ノ財産ハ大部分ハ天皇一個人ノ御財産
デハナイ、殆ド皆天皇皇族ノ公的御財
産ト見テ、從ツテ財産ハ殆ド全部國ニ
屬スルノダト云フヤウナ御話ヲ伺ツテ
居ツタノデアリマスガ、若シソレガ天
皇ノ個人ノ御財産、個人的ノ財産トシ
テ財産稅ヲ課スルストレバ、憲法實施後
國ニ屬スルト云フ皇室財産ハナクナツ
テシマフヤウニ思ハレルノデスガ、其
ノ點ハドウ云フ風ニ御考ニナツタイラ
ツシヤイマセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) ソレハ新憲
法ガ實施サレ、バ、皇室ノ御財産ノ中、
マア大部分デアリマセウガ、國ニ屬ス
ルノデアリマスガ、マア新憲法ガ實施
サレマセウカラ、ソコデ皇室ノ一種ノ
私有財産ト同ジヤウニ考ヘテ、サウシ
テ財産稅ガ課セラレルノデアリマス
○委員外議員(渡部信君) サウ致シマ
スト、新憲法ノ實施前ニ於テハ、此ノ
皇室ノ御財産ハ、天皇ノ個人的ノ御財
産ト見テ、新憲法ガ實施サレ、バ、公
的ノ御財産ト見テ全部徵ツデシマフ、
斯ウ云フ風ナ御解釋ニナルノデゴザイ
マスガ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザ
イマス
○委員外議員(渡部信君) 其ノ公的財
産トカ個人的財産トカ云フコトハ、是
ハマア議論ハ別ト致シマシテ、モウ數
箇月後ニ全部國ニ屬スル皇室御財産デ
アリマスノニ、未ダ曾テ規定シタコト
ガナイヤウナ立法例ヲシテモ、今日急
イデ皇室財産ノ大部分ヲ財産稅トシテ
御徵リニナルト云フコトハ、如何カト
思ハレルノデアリマスガ、憲法實施ノ
前ニ皇室カラ何カ自發的ニ何十億カノ
御財産ヲ國ニ無償デ下サルト云フコト
ハ、別問題デアリマスケレドモ、神社
トカ寺院トカノ財産ニ對シテサヘ
モ、公的ノ性質ヲ酌マレマシテ、課
稅シナイデ、天皇ニ對シテハ財産稅
ノ關係ニ於キマシテ、御財産ノ公的
性質ハ認メナイ、個人ノ御財産トシ
テ徵レダケ徵ツデシマフ、今度憲
法ガ實施サレ、バ、急ニ皇室御財産
ハ公的財産デアルトナツテ全部徵リ
上ゲテシマフト云フコトハ、何カ皇室
ニ對シテ御痛ハシイヤウナ感ジガチヨ
ツト、私一個人カモ知レマセウガ、致
スノデアリマスガ、寧ロドウセ、サウスル
ノデアリマスカラ、皇室御財産ハ個人
的ノ御財産デナイモノ、此ノ憲法ノ御

說明ノ時ノヤウニ公的財産ガ主ナモノ
トシテ、此ノ際ハ皇室財産ニ對シテハ
財産稅ノ徵收ヲ御止メニナツテ、憲法
實施後有難ク皇室財産ヲ一括シテ全部
頂戴スルト云フ方ガ宜シイヤウニ思ハ
レルノデスガ、如何デアリマスガ
○國務大臣(石橋湛山君) アナタノ仰
シヤルコトモ御意見デアリマスガ、斯
クスルコトガ今日ノ内外ノ情勢上、皇
室ノ爲ニモ、日本ノ爲ニモ宜シイト考
ヘテヤツタ次第デアリマス
○子爵大河内輝雄君 私ノ質問ハ甚ダ
冗長デアリマシテ、遅クナツタ時ニ皆
様ニ恐縮アリデスガ、重要ナ問題デゴ
ザイマスカラ、少シ時間ヲ與ヘテ戴
キタイ、私ハ此ノ財産稅ト財政計畫
ノ關係ヲ伺ヒタイ、ソレヲ伺ツテ居ル
ト大變ナコトニナリマスカラ、一部分
省略致シマシテ、詰リ此ノ稅ガドラダ
ケ財政ニ役ニ立ツカト云フコトヲハッ
キリサセルノニハ、臨時ノ經費ノ大キ
ナモノガ何年續クカト云フコトヲ大概
見當ガ附ケバ自分ツテ來ルモノデア
リマス、ソレデ甚ダ一々御面倒聞イ
テイラツシヤル方ニハ、殊ニ御氣ノ毒
スカラ、茲ニチヨツト費目ヲ指摘シマ
スカラ、ソレノ性質トソレカラ大概ノ
算出ノ根據ヲ極ク簡單デ宜シイノデゴ
ザイマスカラ、御述ヲ願ヒタイ、ソレ
ハ主ニ大藏省所管デアリマス、大キ
ナ費目ダケデ、復員諸費、終戰處理
費、特別住宅建設費、日本銀行政
府債務償還費、經濟安定費、ソレカラ
文部省ヘ來テ國民學校職員給與特別措
置費補助、厚生省ノ引揚民對策諸費、
ソレカラ民生安定諸費、是等ニ付キマ
シテ極ク簡單デ宜シウゴザイマスガ
ラ、算出ノ根據ト性質ヲ伺ヒタイ
○政府委員(野田卯一君) 只今御話ニ

說明ノ時ノヤウニ公的財産ガ主ナモノ
トシテ、此ノ際ハ皇室財産ニ對シテハ
財産稅ノ徵收ヲ御止メニナツテ、憲法
實施後有難ク皇室財産ヲ一括シテ全部
頂戴スルト云フ方ガ宜シイヤウニ思ハ
レルノデスガ、如何デアリマスガ
○國務大臣(石橋湛山君) アナタノ仰
シヤルコトモ御意見デアリマスガ、斯
クスルコトガ今日ノ内外ノ情勢上、皇
室ノ爲ニモ、日本ノ爲ニモ宜シイト考
ヘテヤツタ次第デアリマス
○子爵大河内輝雄君 私ノ質問ハ甚ダ
冗長デアリマシテ、遅クナツタ時ニ皆
様ニ恐縮アリデスガ、重要ナ問題デゴ
ザイマスカラ、少シ時間ヲ與ヘテ戴
キタイ、私ハ此ノ財産稅ト財政計畫
ノ關係ヲ伺ヒタイ、ソレヲ伺ツテ居ル
ト大變ナコトニナリマスカラ、一部分
省略致シマシテ、詰リ此ノ稅ガドラダ
ケ財政ニ役ニ立ツカト云フコトヲハッ
キリサセルノニハ、臨時ノ經費ノ大キ
ナモノガ何年續クカト云フコトヲ大概
見當ガ附ケバ自分ツテ來ルモノデア
リマス、ソレデ甚ダ一々御面倒聞イ
テイラツシヤル方ニハ、殊ニ御氣ノ毒
スカラ、茲ニチヨツト費目ヲ指摘シマ
スカラ、ソレノ性質トソレカラ大概ノ
算出ノ根據ヲ極ク簡單デ宜シイノデゴ
ザイマスカラ、御述ヲ願ヒタイ、ソレ
ハ主ニ大藏省所管デアリマス、大キ
ナ費目ダケデ、復員諸費、終戰處理
費、特別住宅建設費、日本銀行政
府債務償還費、經濟安定費、ソレカラ
文部省ヘ來テ國民學校職員給與特別措
置費補助、厚生省ノ引揚民對策諸費、
ソレカラ民生安定諸費、是等ニ付キマ
シテ極ク簡單デ宜シウゴザイマスガ
ラ、算出ノ根據ト性質ヲ伺ヒタイ
○政府委員(野田卯一君) 只今御話ニ

ナリマシタコトノ御答ノ中、漏レルコトガアルカモ知レマセヌガ、先ヅ大藏省ノ所管ノ方カラ申上ゲタイノデアリマスガ、御手許ニハ、此ノ前ノ改定豫算ノ順序ニ依ツテ御説明申上ゲル方ガ便利カト思ヒマス、只今御示シノ復員諸費ハ、陸海軍ノ軍人ガ海外カラ引揚ゲテ参リマス、ソレニ要スル經費ナノデアリマス、是ハ本年ノ三月末ニ要スル昭和二十一年度、開始ノ當時デアリマスガ、其ノ當時陸海軍人ガ海外ニ約二百五十萬人居ルト云フ計算デ、其ノ二百五十萬人ノ軍人ガ、本年九月乃至十一月ノ間ニ復員ヲ終了スルト云フ豫定デ組ンダ經費デゴザイマス、金額デ約四十億圓近クノ金ニナツテ居ルト思ヒマス、ソレハ其ノ後ノ狀況ヲ見テ居リマス、御承知ノ通りニ、ソノ勢リマセ下ノ地域カラハ軍人ハ歸ツテ参リマセヌ、ソレデ最近デハマダ百萬ハニ近イ軍人ガ海外ニ残ツテ居リマス、此ノ者ガ何時迄ニ歸リマスカ、是ハ今後ノ情勢ニ俟タナイトハツキリ致サナイト思ヒマス、來年ニモ是ガ相當後ヲ引イテ出テ來ルノデハナイカト豫想シテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 四十億圓ト云フノハ百萬ハニ對スルモノデスカ

○政府委員(野田卯一君) 先程申シマシタ三月末ニ二百五十萬人位ノ軍人ガ海外ニ居ル、ソレガ本年九月乃至十一月位ノ間ニ引揚ヲ完了シテシマフト云フ豫定デアツタノデアリマス

○委員長(三土忠造君) 定足數ヲ缺イテ参リマシタカラ、是デ今日ハ終リマス、明日ハ午前十時カラ開キマス

午後四時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長
副委員長
委員

委員長
副委員長
委員

國務大臣
大藏大臣
國務大臣

三土 忠造君
男爵高崎 弓彦君
侯爵池田 宣政君
侯爵鍋島 直泰君
伯爵二荒 芳德君
伯爵黒田 清君
子爵大河内輝耕君
子爵京極 高修君
子爵龍脇 宏光君
子爵綾小路 護君
子爵梅溪 通虎君
慶松勝左衛門君
男爵周布 兼道君
長谷川 越夫君
男爵中村 貫之君
男爵林 忠一君
男爵倉富 鈞君
男爵宮原 旭君
黒田 英雄君
板谷 順助君
橋本辰二郎君
河西豊太郎君
西山 完吾君
高橋龍太郎君
有馬忠三郎君
中島徳太郎君
片岡 直方君
片倉兼太郎君
河端作兵衛君
岸本 彦衛君
松岡 潤吉君
小汀 利得君
上野喜左衛門君
渡部 信君

政府委員

大藏事務官 福田 越夫君
同 野田 卯一君
同 池田 勇人君
同 河野 通一君
司法事務官 奥野 健一君
商工事務官 三木 秋義君

昭和二十一年十一月十二日印刷

昭和二十一年十一月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局